

令和3年度 埼玉県小・中学校
働き方改革に関する実態調査

調査報告書

令和4年2月

埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課

目 次

I	はじめに	1
II	成果 ～働き方改革を促進する効果の高い取組～	1
III	調査の概要	10
IV	調査結果	14
1	調査A	14
(1)	学校種別・職名別に見た勤務日1日あたりの在校時間の内訳	
(2)	学校種別に見た始業前後及び始業から終業までの教諭等の業務内容	
(3)	学校種別・職名別・担任別に見た業務の持ち帰りの状況	
(4)	週休日等の業務内容	
(5)	学校規模別に見た勤務日の業務内容	
(6)	年代別に見た勤務日の業務内容	
2	調査B	40
(1)	職名別時間外在校等時間の平均	
(2)	男女別に見た時間外在校等時間の平均	
(3)	学級担任別に見た時間外在校等時間の平均【教諭等】	
(4)	年代別に見た時間外在校等時間の平均	
(5)	中学校における部活動顧問別に見た時間外在校等時間	
(6)	負担軽減に効果があると思う取組について	
(7)	仕事に対する今の心理状況について	
3	調査C	56
(1)	基礎データ	56
①	児童生徒数	
②	平均持ち時数	
③	その他	
(2)	働き方改革に関する取組状況	60
①	各学校における在校等時間の把握方法について	
②	長時間勤務者に対する管理職の働きかけについて	
③	長時間勤務者に対する教職員同士の声かけについて	
④	長時間勤務者に対する産業医との面談の実施について	

- ⑤ノー残業デー、ふれあいデーの実施について
 - ⑥退校時間の目標設定、徹底の取組について
 - ⑦年休の計画的な取得の取組について
 - ⑧衛生推進者等を活用した業務改善の取組について
 - ⑨行事の精選や運営方法の工夫・改善の取組について
 - ⑩業務改善に係る会議の実施について
 - ⑪給食費および学級・学年費の銀行口座への振り込みについて
 - ⑫校内研修等の精選や工夫への取組について
 - ⑬日課表の見直しへの取組状況について
 - ⑭出張回数の見直しや偏りの解消など出張に関する取組について
 - ⑮職員会議等の効率化について
 - ⑯校務支援システムの導入・活用状況について
 - ⑰学年だよりや通知表の見直しなど学年・学級事務の工夫・改善について
 - ⑱持ち時数の見直し等の指導体制の工夫・改善について
 - ⑲担任の負担軽減への取組について
 - ⑳教科担任制や交換授業などの導入状況について（小学校）
 - ㉑部活動補助員や外部指導者の導入状況について（中学校）
 - ㉒働き方改革について学校運営協議会で話し合っている割合について
 - ㉓留守番電話の導入・活用状況について
 - ㉔地域行事等への教職員の参加についての精選や工夫について
 - ㉕登校時の児童生徒の見守り活動等の体制について
 - ㉖学校応援団等による教職員の負担軽減について
 - ㉗PTA 活動への教職員の参加についての精選や工夫について
- (3)勤務時間の縮減や負担感の軽減に効果のあった取組について・・・ 76

4 その他の分析（取組と時間外在校等時間等の相関）・・・・・・・・・・ 78

- ①年間予定授業時数について
- ②職員会議等の効率化が時間外在校等時間に与える影響について
- ③小学校における教科担任制の導入の効果について
- ④中学校における部活動・朝練習が時間外在校等時間に与える影響について
- ⑤退勤時刻の目標設定を行うことの効果について
- ⑥留守番電話の導入・活用の効果について
- ⑦登下校の見守りに保護者・地域の力を活用することの効果について
- ⑧長時間勤務者に対する同僚職員の声かけの効果について
- ⑨業務改善会議の実施の効果について
- ⑩学校運営協議会の活用による効果について

- ⑪小学校における担任の負担軽減に向けた取組の効果について
- ⑫学年・学級事務の改善への取組の効果について
- ⑬教員業務支援員（スクール・サポーター・スタッフ）の導入の効果について
- ⑭通常学級の数と平均持ち時数の関係について
- ⑮平均持ち時数と時間外在校等時間との関係について
- ⑯児童生徒数と時間外在校等時間との関係について

V 働き方改革が進んでいる学校の取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 94

VI 有識者による考察（明星大学 神林寿幸先生）・・・・・・・・ 102

VII おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116

○ 参考資料

- 調査A個人調査票
- 調査B個人調査票
- 調査C学校質問紙

I はじめに

埼玉県では、令和元年9月に「学校における働き方改革基本方針」を策定し、学校における働き方改革を推進する上で取り組むべき道筋を示した。また、文部科学省は、令和元年12月に給特法を改正したことを受け、令和2年1月、『「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針」の告示等について（通知）』を発出し、1か月の在校等時間の上限を示した文科省ガイドラインを法的根拠のある指針として定めた。

埼玉県では、平成28年度に教職員の勤務状況調査を実施しているが、当時の調査は「土日を除く在校時間」の調査であった。文部科学省のガイドラインは、土日を含んだ在校等時間を上限の目安としていること、また、令和2年1月の指針においては、サービスを監督する教育委員会が講ずべき措置において、「業務の持ち帰りについては、行わないことが原則」としながらも「仮に業務の持ち帰りが行われている実態がある場合には、その実態把握に努める」とあることから、今回の調査は、土日を含んだ県内の小中学校教職員の勤務状況の傾向及び持ち帰り業務の実態を把握し、今後の負担軽減に係る施策及び次期「学校における働き方改革基本方針」の参考資料とするため、調査を実施した。

II 成果 ～働き方改革を促進する効果の高い取組～

本調査結果をもとに、各学校が行っている取組の中から、時間外在校等時間などとの相関が高かった10の取組を抽出し、「埼玉県業務改善スタンダード」としてまとめた。市町村教育委員会及び各学校の管理職が学校における働き方改革をさらに加速させ、実効性、そして実感のあるものとするための資料として活用しやすいよう、本調査から明らかとなったエビデンスと取組を見やすい形にまとめた。

Ⅲ 調査の概要

1 目的

本調査は、県内の小中学校教職員の勤務状況の傾向及び業務の持ち帰りの実態、学校の取組の状況を把握し、今後の負担軽減に係る施策及び次期「学校における働き方改革基本方針」の参考資料とする。

2 調査の方針

- (1) 業務の持ち帰りを含めた教職員の勤務実態を明らかにするとともに、働き方改革基本方針（令和元年9月）及び小・中学校における働き方改革「取組事例集」（令和3年1月）を基にした学校質問紙調査により各学校の働き方改革に係る取組状況を把握するために行う。
- (2) これらの結果を合わせて分析することで、実効性のある取組を明らかにし、現行の働き方改革基本方針の検証を行うとともに「埼玉県小・中学校業務改善スタンダード」を提示する。
- (3) 「埼玉県小・中学校業務改善スタンダード」を市町村教育委員会及び管理職へフィードバックし、各学校で実践することで働き方改革の実現につなげる。

3 対象

(1) 対象校

小学校及び中学校（さいたま市を除く）を対象とし、各市町村において、小学校1校、中学校1校を無作為に抽出。（小学校62校、中学校62校、計124校）

(2) 対象者

- ・対象校に在籍する常勤教職員（校長、教頭、主幹教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師、事務職員、学校栄養職員）

※調査対象期間の全期間を在職し、かつ勤務実績のあった教職員とする。

※本調査報告書においては、教諭、助教諭、講師を「教諭等」、養護教諭、養護助教諭を「養護教諭等」とまとめている。

※県費負担教職員（常勤）に限る。臨時的任用教職員を含む。

4 調査結果の活用

- ・「学校における働き方改革基本方針（令和元年9月策定）」の検証資料とする。
- ・次期「学校における働き方改革基本方針」策定に向けた基礎資料とする。
- ・「埼玉県業務改善スタンダード」作成のための基礎資料とする。

5 調査内容

【基本情報】

- ・職名、勤続年数、性別、年代、担任、持ち時数等

【調査 A：業務内容調査】

- ・対象：教職員 期間：7日間
- ・1日の業務内容の把握（業務の持ち帰りも含む）

【調査 B：在校等時間調査】

- ・対象：教職員 期間：4週間
- ・調査対象者の出勤から退勤までの在校等時間の把握

【調査 C：学校質問紙調査】

- ・対象：校長
- ・「学校における働き方改革基本方針」及び小・中学校における働き方改革「取組事例集」を基にした調査により調査対象校の働き方改革に係る取組状況を把握

6 調査期間

【調査 A】

令和3年6月14日（月）～令和3年7月11日（日）の期間における連続する7日間

【調査 B】

令和3年6月14日（月）～令和3年7月11日（日）までの4週間

【調査 C】

令和3年6月現在の状況について回答

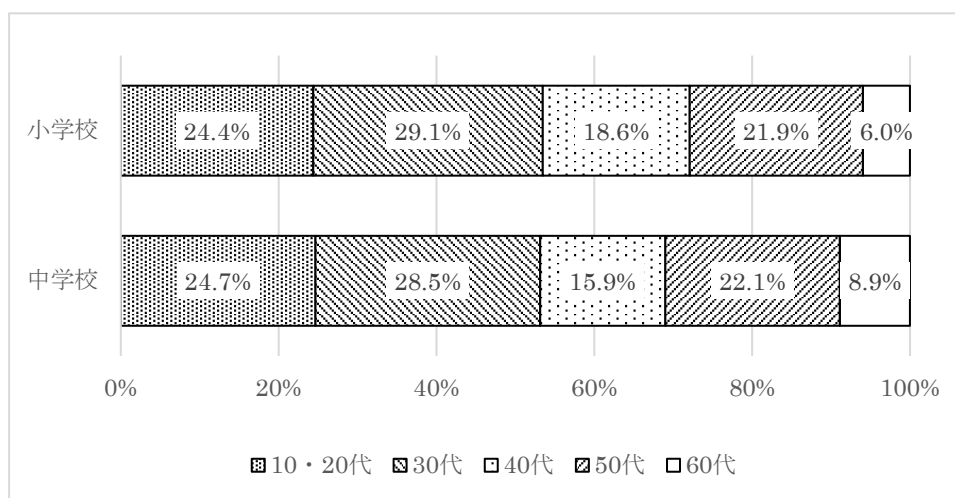
7 回答数

	小学校	中学校	合計
調査 A	1368 人	1683 人	3051 人
調査 B	1386 人	1722 人	3108 人
調査 C	62 校	62 校	124 校

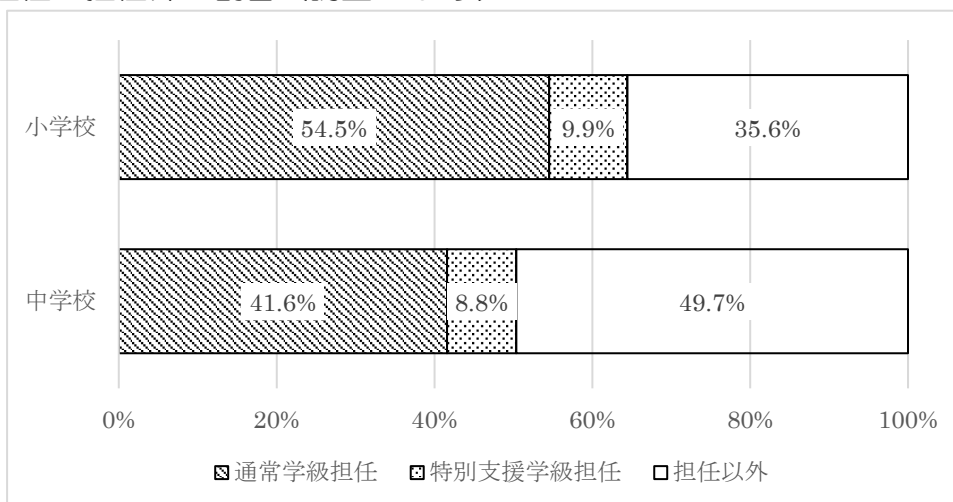
※調査 A・B とともに、記入漏れ等、回答が不十分なものを除いた有効回答数

8 回答者属性について（調査B・調査Cより）

(1) 年齢構成（調査Bより）



(2) 担任・担任外の割合（調査Bより）



(3) 学級数から見た学校の規模（調査C）より

学校規模	小学校	中学校
5学級以下	5校	4校
6～11学級	20校	29校
12～18学級	27校	23校
19～24学級	8校	6校
25学級以上	2校	0校

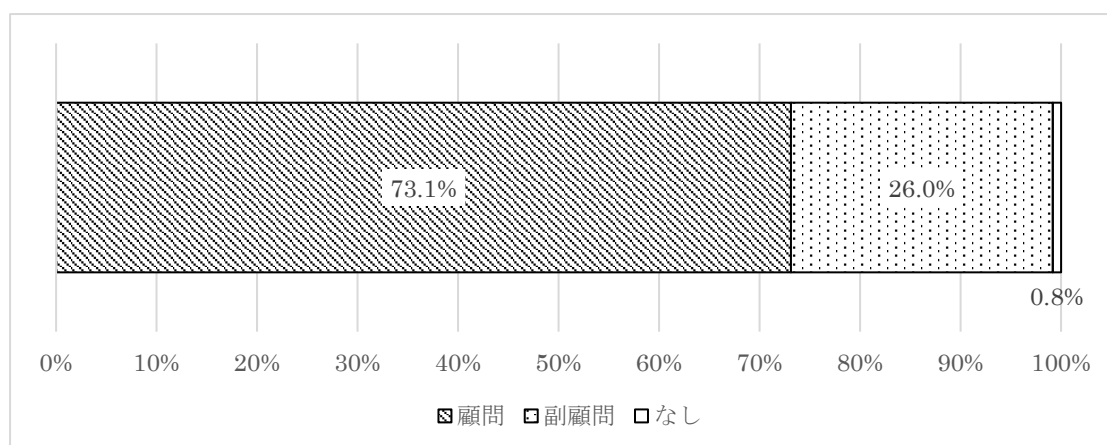
※特別支援学級の数を除いた学級数。

※（参考）学校教育法施行規則で示されている適正規模：12～18学級

(4)職名別人数（B調査より）

	小学校	中学校
校長	62 人	62 人
教頭	64 人	66 人
主幹教諭	27 人	23 人
教諭・講師・助教諭	1086 人	1414 人
養護教諭・養護助教諭	63 人	67 人
栄養教諭	11 人	14 人
学校栄養職員	4 人	5 人
事務職員	69 人	71 人
合計	1386 人	1722 人

(5)中学校の主幹教諭・教諭等における部活動顧問の割合



Ⅳ 調査結果

1 調査A（業務の持ち帰りも含めた7日間の業務内容調査）

(1) 学校種別・職名別に見た勤務日1日あたりの在校時間の内訳

○本調査結果は、勤務日における在校時間の内訳について、1日あたりの平均時間を算出し、職名別にまとめたものである。

※各項目の平均には、表示しきれない端数があるため、合計とは一致していない部分がある。

【結果の概要】

- 小学校においては、校長の登下校指導等の時間が平均約52分となっており、他の職種と比較して長い傾向にある。
- 教頭の書類作成の時間が非常に長くなっており、一日の仕事の大半を占めているだけでなく、在校時間の合計も教諭などと比較して1時間以上長くなっている。
- 養護教諭等・栄養教諭については、他と比較してコロナ対応業務が負担となっている。
- 教諭等については、児童生徒の指導に直接関わらない業務内容の内、小学校では、授業準備（94分）、成績処理（34分）、会議・打合せ（21分）、その他書類作成等（33分）に比較的長い時間を割いている。中学校でも同様に、授業準備（99分）、成績処理（47分）、会議・打合せ（29分）、その他書類作成等（27分）となっている。
- どの職においても平均すると校内研修時間は10分前後となっている。
- 中学校の主幹教諭・教諭等については、部活動にかける時間が平均50分前後となっている。

表 A1-1 職名別に見た勤務日1日あたりの在校時間の内訳【小学校】

(校長・教頭・主幹教諭・教諭等)

業務内容	全職種	校長	教頭	主幹教諭	教諭等
在校時間	10:44	10:36	12:04	11:15	10:49
授業	4:01	0:09	0:44	3:01	4:58
登下校指導等	0:18	0:52	0:22	0:20	0:18
部活動・各種大会練習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01
補習	0:02	0:04	0:01	0:01	0:02
生徒指導（集団）・集会	0:37	0:13	0:15	0:30	0:43
個別の面談等	0:04	0:10	0:08	0:02	0:02
生徒会指導	0:03	0:00	0:01	0:00	0:04
行事（準備・練習を含む）	0:07	0:08	0:07	0:01	0:07
授業準備	1:16	0:00	0:09	0:40	1:34
成績処理	0:27	0:00	0:01	0:10	0:34
学年・学級経営	0:37	0:02	0:01	0:09	0:45
会議・打合せ	0:23	1:00	0:37	0:38	0:21
会計処理	0:03	0:01	0:03	0:01	0:02
校内研修	0:12	0:30	0:16	0:17	0:12
その他事務（書類作成等）	1:42	4:58	7:22	3:52	0:33
保護者・PTA活動対応	0:05	0:12	0:18	0:17	0:03
地域対応	0:01	0:12	0:10	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:02	0:19	0:17	0:07	0:00
校務としての研修（校外）	0:05	0:09	0:04	0:12	0:05
部活動・各種大会関係	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
会議・打合せ・その他（校外）	0:05	0:22	0:10	0:04	0:03
出張に伴う移動	0:02	0:09	0:06	0:03	0:01
コロナ対応業務（消毒等）	0:04	0:01	0:05	0:00	0:03
その他	0:12	0:31	0:26	0:26	0:06
休憩・補食等	0:10	0:25	0:24	0:24	0:06

表 A1-2 職種別に見た勤務日1日あたりの在校時間の内訳【小学校】

(養護教諭等・栄養教諭・学校栄養職員・事務職)

業務内容	全職種	養護教諭等	栄養教諭	学校栄養職員	事務職員
在校時間	10:44	10:01	10:00	9:08	9:05
授業	4:01	0:03	0:20	0:00	0:00
登下校指導等	0:18	0:06	0:00	0:00	0:00
部活動・各種大会練習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
補習	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
生徒指導（集団）・集会	0:37	0:22	0:33	0:00	0:03
個別の面談等	0:04	0:27	0:00	0:00	0:00
生徒会指導	0:03	0:03	0:02	0:00	0:00
行事（準備・練習を含む）	0:07	0:11	0:00	0:00	0:00
授業準備	1:16	0:05	0:06	0:00	0:00
成績処理	0:27	0:00	0:00	0:00	0:00
学年・学級経営	0:37	0:10	0:03	0:00	0:00
会議・打合せ	0:23	0:19	0:18	0:07	0:10
会計処理	0:03	0:00	0:00	0:00	0:30
校内研修	0:12	0:09	0:06	0:00	0:01
その他事務（書類作成等）	1:42	6:04	6:31	5:46	6:47
保護者・PTA活動対応	0:05	0:03	0:02	0:00	0:10
地域対応	0:01	0:00	0:01	0:00	0:01
行政・関係機関対応	0:02	0:05	0:01	0:34	0:06
校務としての研修（校外）	0:05	0:03	0:16	0:09	0:05
部活動・各種大会関係	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
会議・打合せ・その他（校外）	0:05	0:03	0:10	0:19	0:14
出張に伴う移動	0:02	0:02	0:06	0:01	0:05
コロナ対応業務（消毒等）	0:04	0:28	0:12	0:00	0:04
その他	0:12	0:55	0:37	1:52	0:22
休憩・補食等	0:10	0:18	0:18	0:34	0:29

表 A1-3 職種別に見た勤務日1日あたりの在校時間の内訳【中学校】

(校長・教頭・主幹教諭・教諭等)

業務内容	全職種	校長	教頭	主幹教諭	教諭等
在校時間	11:00	10:44	11:24	10:46	11:10
授業	3:02	0:03	0:15	2:33	3:38
登下校指導等	0:15	0:25	0:09	0:18	0:16
部活動・各種大会練習	0:44	0:04	0:03	0:47	0:52
補習	0:02	0:00	0:00	0:01	0:02
生徒指導（集団）・集会	0:36	0:11	0:10	0:17	0:41
個別の面談等	0:06	0:06	0:04	0:00	0:05
生徒会指導	0:04	0:02	0:00	0:00	0:04
行事（準備・練習を含む）	0:07	0:02	0:07	0:04	0:07
授業準備	1:23	0:00	0:07	0:53	1:39
成績処理	0:39	0:00	0:00	0:31	0:47
学年・学級経営	0:58	0:00	0:04	0:05	1:10
会議・打合せ	0:32	1:16	1:05	0:51	0:29
会計処理	0:03	0:00	0:05	0:02	0:01
校内研修	0:04	0:17	0:11	0:04	0:04
その他事務（書類作成等）	1:24	5:15	6:51	2:58	0:27
保護者・PTA活動対応	0:06	0:14	0:23	0:07	0:05
地域対応	0:00	0:05	0:09	0:03	0:00
行政・関係機関対応	0:03	0:31	0:18	0:06	0:00
校務としての研修（校外）	0:04	0:05	0:04	0:07	0:03
部活動・各種大会関係	0:10	0:16	0:04	0:22	0:10
会議・打合せ・その他（校外）	0:05	0:33	0:12	0:05	0:03
出張に伴う移動	0:03	0:15	0:06	0:01	0:02
コロナ対応業務（消毒等）	0:04	0:01	0:06	0:00	0:04
その他	0:11	0:40	0:26	0:12	0:06
休憩・補食等	0:11	0:25	0:24	0:25	0:07

表 A1-4 職種別に見た勤務日1日あたりの在校時間の内訳【中学校】

(養護教諭等・栄養教諭・学校栄養職員・事務職)

業務内容	全職種	養護教諭等	栄養教諭	学校栄養職員	事務職員
在校時間	11:00	9:45	10:06	9:53	8:47
授業	3:02	0:03	0:11	0:04	0:00
登下校指導等	0:15	0:06	0:04	0:02	0:00
部活動・各種大会練習	0:44	0:01	0:00	0:00	0:00
補習	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
生徒指導（集団）・集会	0:36	0:12	0:07	0:04	0:01
個別の面談等	0:06	0:47	0:00	0:01	0:00
生徒会指導	0:04	0:05	0:04	0:00	0:00
行事（準備・練習を含む）	0:07	0:15	0:00	0:00	0:00
授業準備	1:23	0:00	0:42	0:00	0:00
成績処理	0:39	0:00	0:00	0:00	0:00
学年・学級経営	0:58	0:01	0:00	0:00	0:00
会議・打合せ	0:32	0:30	0:15	0:12	0:15
会計処理	0:03	0:00	0:00	0:00	0:52
校内研修	0:04	0:03	0:01	0:13	0:02
その他事務（書類作成等）	1:24	5:24	6:06	8:06	6:14
保護者・PTA活動対応	0:06	0:02	0:01	0:04	0:07
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:03	0:06	0:00	0:06	0:05
校務としての研修（校外）	0:04	0:03	0:06	0:00	0:06
部活動・各種大会関係	0:10	0:04	0:00	0:00	0:00
会議・打合せ・その他（校外）	0:05	0:05	0:18	0:00	0:11
出張に伴う移動	0:03	0:02	0:10	0:12	0:03
コロナ対応業務（消毒等）	0:04	0:26	0:00	0:15	0:01
その他	0:11	0:55	1:36	0:03	0:13
休憩・補食等	0:11	0:22	0:27	0:36	0:32

(2) 学校種別に見た始業前後及び始業から終業までの教諭等の業務内容

○本調査結果は、8：30より前の時間帯、8：30～17：00の時間帯、17：00より後の時間帯について、どのような業務を行っていたかについてまとめたものである。

○表 A2-1 及び表 A2-2 は、調査期間内すべての勤務日について、その時間帯に勤務していた者が該当業務に当たっていた時間の平均である。

○表 A2-3 から表 A2-8 は調査期間内のすべての勤務日について、その時間帯に勤務していた者の合計勤務時間と、該当業務に当たっていた時間の合計から、どのくらいの割合で当該業務を行っていたか算出したものである。

(例) 8：30より前の授業準備の割合

$$\frac{\text{8:30より前に勤務していた者が授業準備にかけていた時間の合計}}{\text{8:30より前に勤務していた者の勤務時間の合計}} \times 100 (\%)$$

【結果の概要】

- 8：30より前については、小学校では、授業準備にける割合が一番高く（46.4%）、次いで登校指導（14.2%）、学年・学級経営（14.1%）となっている。中学校においても授業準備の割合（25.6%）が一番高いものの、会議打ち合わせ（15.8%）、学年・学級経営（15.5%）、部活動（12.7%）の順となっている。児童生徒の授業に直結しない業務では、小学校の登校指導、中学校の会議・打合せと部活動に割かれる時間が長いことがわかる。
- 17：00より後については、小学校では、授業準備（34.4%）、成績処理（17.2%）、その他書類作成等（15.9%）、学年・学級経営（15.0%）となっている。中学校でも授業準備の割合（24.0%）が一番高いが、成績処理（19.8%）、部活動（19.4%）などの割合も高くなっている。小学校と比較して中学校では成績処理や部活動に充てられる時間の割合が高くなっていることがわかる。小学校と比較して中学校では教員一人当たりの持ち時数が少ないことから8：30～17：00の時間における成績処理や授業準備の時間が小学校よりやや多くなっていると考えられる。

表 A2-1 各時間帯に在籍していた教諭等の業務内容と平均業務時間の内訳【小学校】

※表の時間帯の在籍時間が0だったものは除いた平均時間

業務内容	8：30 より前	8：30～17：00	17：00 より後
授業	0：02	4：54	0：00
登下校指導等	0：08	0：09	0：00
部活動・各種大会練習	0：00	0：00	0：00
補習	0：00	0：02	0：00
生徒指導（集団）・集会	0：03	0：39	0：00
個別の面談等	0：00	0：01	0：00
生徒会指導	0：00	0：04	0：00
行事（準備・練習を含む）	0：00	0：03	0：03
授業準備	0：28	0：31	0：34
成績処理	0：01	0：16	0：17
学年・学級経営	0：08	0：22	0：15
会議・打合せ	0：00	0：16	0：04
会計処理	0：00	0：00	0：01
校内研修	0：00	0：11	0：01
その他事務（書類作成等）	0：03	0：14	0：16
保護者・PTA活動対応	0：00	0：01	0：01
地域対応	0：00	0：00	0：00
行政・関係機関対応	0：00	0：00	0：00
校務としての研修（校外）	0：00	0：05	0：00
部活動・各種大会関係	0：00	0：00	0：00
会議・打合せ・その他（校外）	0：00	0：02	0：00
出張に伴う移動	0：00	0：01	0：00
コロナ対応業務（消毒等）	0：01	0：02	0：00
その他	0：00	0：04	0：01
休憩・補食等	0：00	0：06	0：00

表 A2-2 各時間帯に在籍していた教諭等の業務内容と平均業務時間の内訳【中学校】

※表の時間帯の在籍時間が0だったものは除いた平均時間

業務内容	8：30 より前	8：30～17：00	17：00 より後
授業	0：00	3：38	0：00
登下校指導等	0：07	0：05	0：03
部活動・各種大会練習	0：08	0：20	0：23
補習	0：00	0：02	0：00
生徒指導（集団）・集会	0：01	0：38	0：01
個別の面談等	0：00	0：03	0：01
生徒会指導	0：00	0：03	0：00
行事（準備・練習を含む）	0：00	0：04	0：02
授業準備	0：16	0：53	0：29
成績処理	0：02	0：21	0：24
学年・学級経営	0：09	0：52	0：07
会議・打合せ	0：10	0：15	0：03
会計処理	0：00	0：01	0：00
校内研修	0：00	0：04	0：00
その他事務（書類作成等）	0：03	0：13	0：11
保護者・PTA活動対応	0：00	0：02	0：03
地域対応	0：00	0：00	0：00
行政・関係機関対応	0：00	0：00	0：00
校務としての研修（校外）	0：00	0：03	0：00
部活動・各種大会関係	0：01	0：08	0：01
会議・打合せ・その他（校外）	0：00	0：03	0：00
出張に伴う移動	0：00	0：02	0：00
コロナ対応業務（消毒等）	0：01	0：01	0：01
その他	0：00	0：03	0：02
休憩・補食等	0：00	0：06	0：01

図 A2-3 8:30 より前の教諭等の業務内容(割合)【小学校】

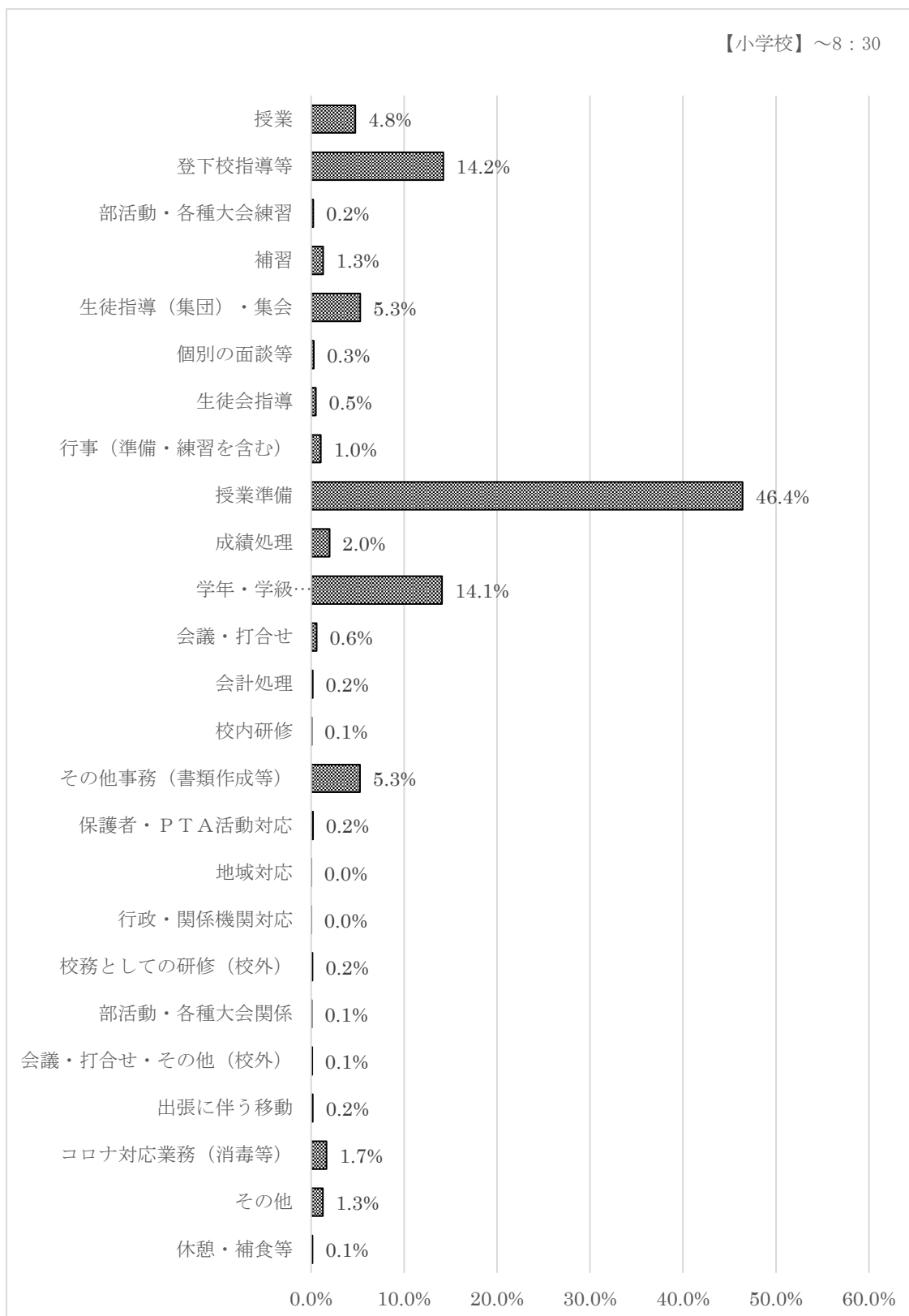


図 A2-4 8:30~17:00 の教諭等の業務内容(割合)【小学校】

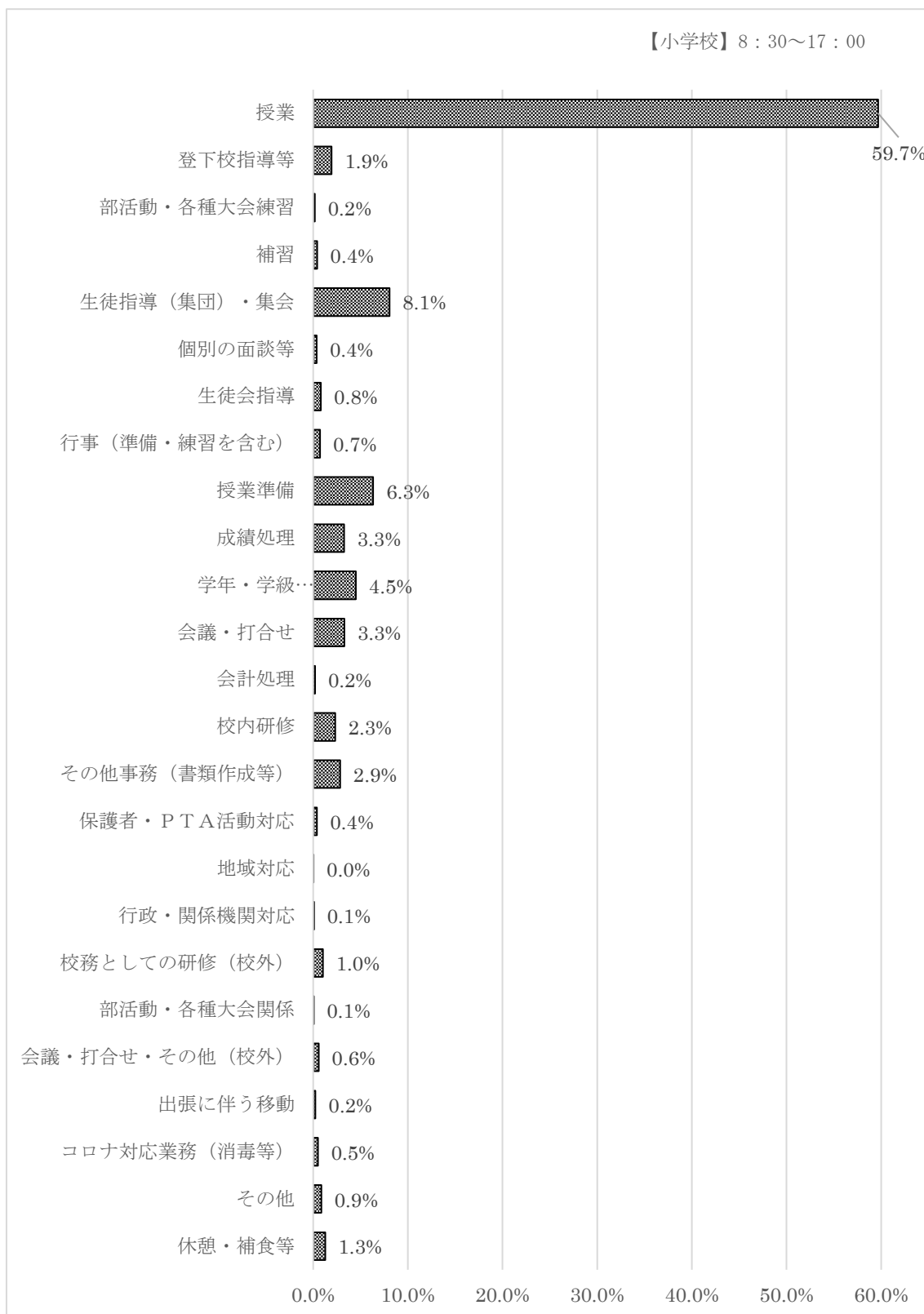


図 A2-5 17:00 より後の教諭等の業務内容(割合)【小学校】

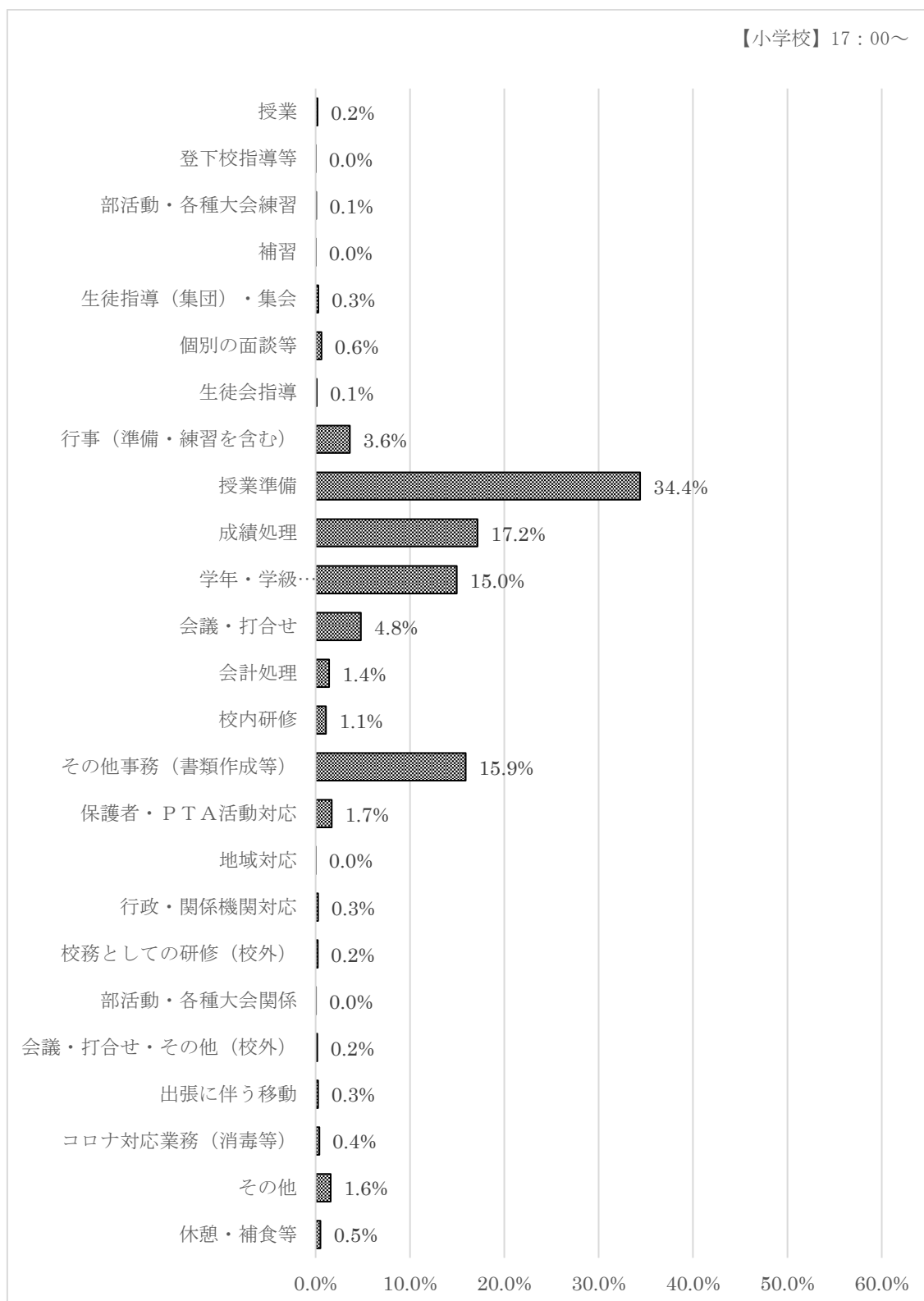


図 A2-6 8:30 より前の教諭等の業務内容(割合)【中学校】

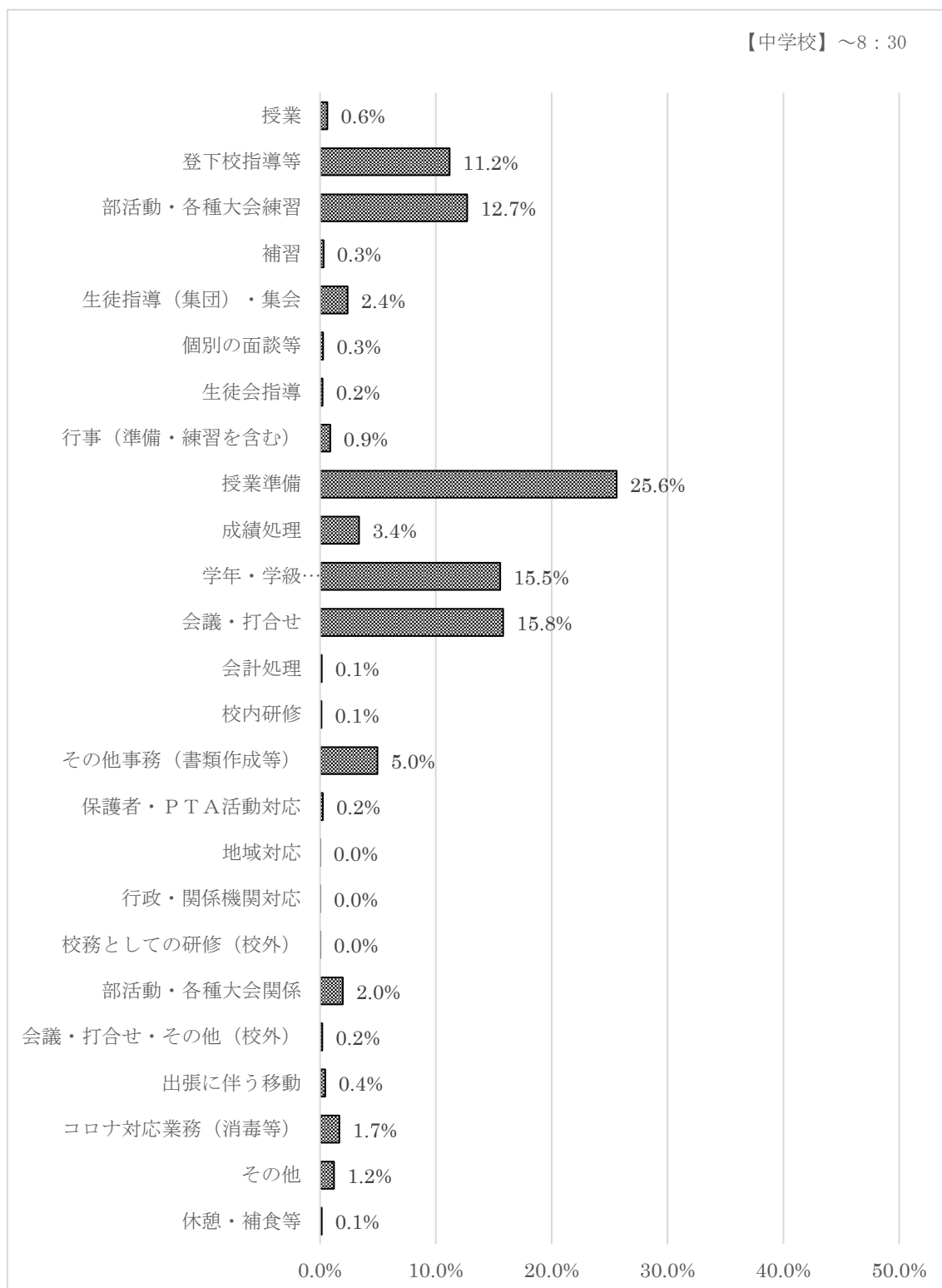


図 A2-7 8:30~17:00 の教諭等の業務内容(割合)【中学校】

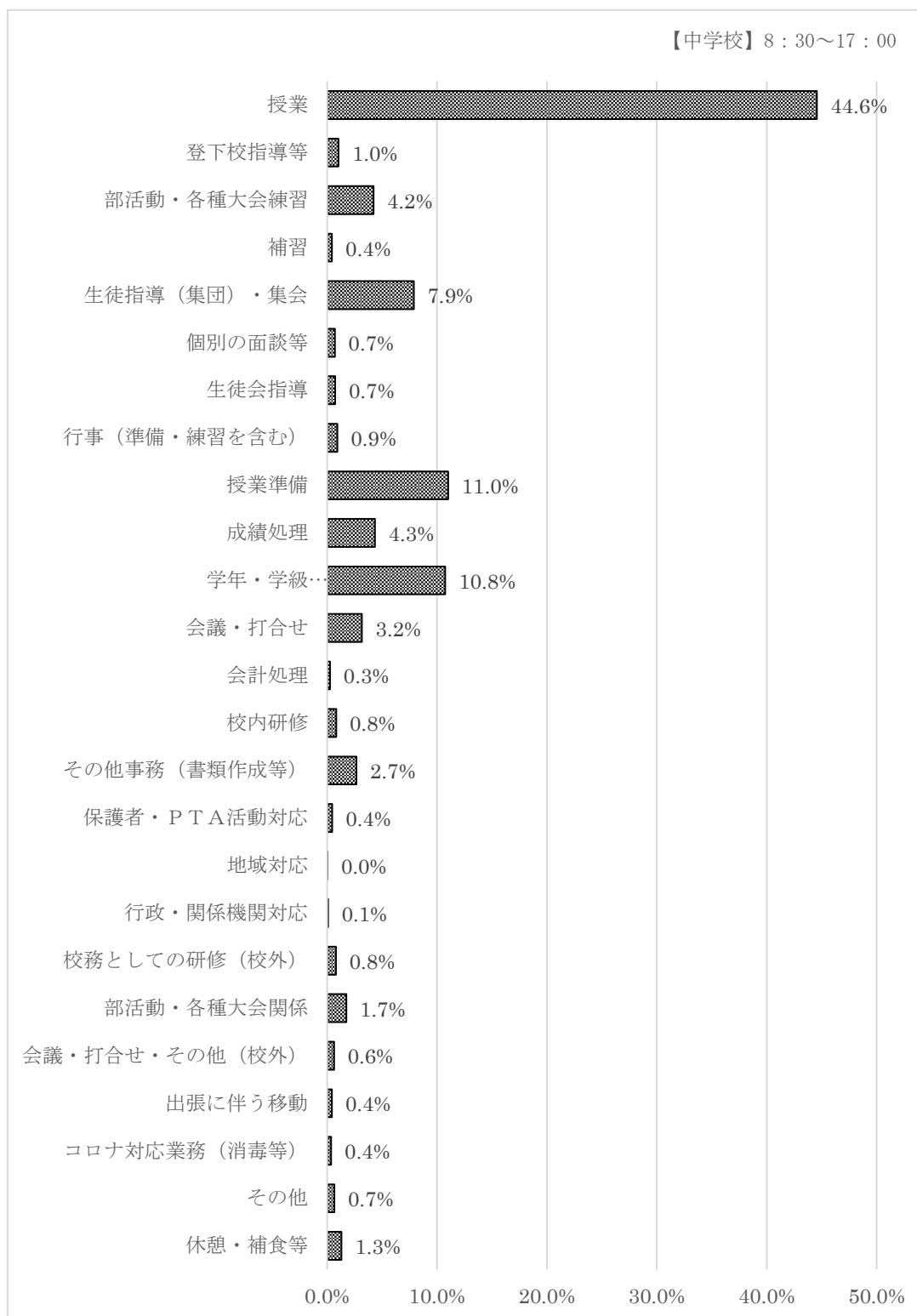
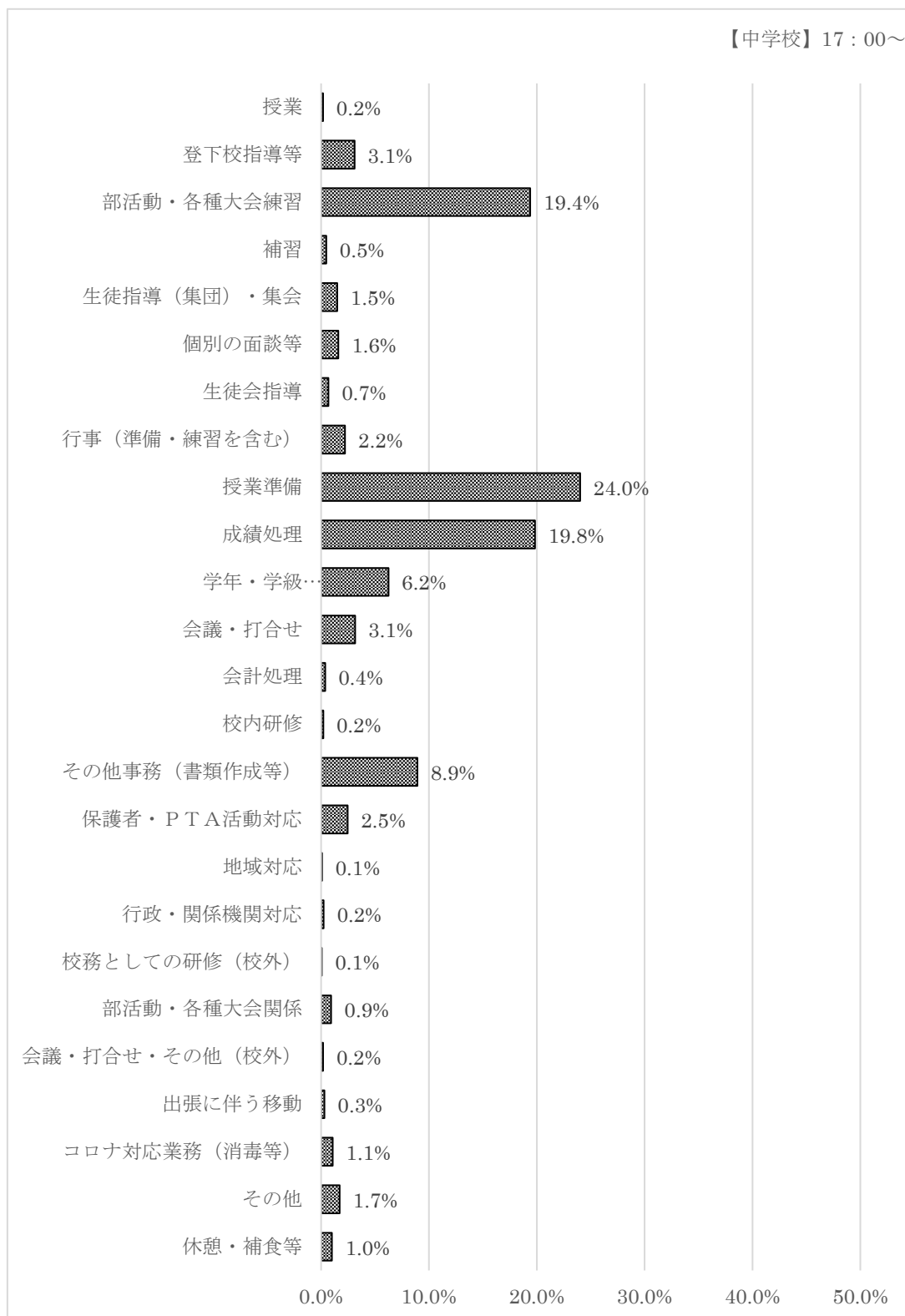


図 A2-8 17:00 より後の教諭等の業務内容(割合)【中学校】



(3) 学校種別・職名別・担任別に見た業務の持ち帰りの状況

○調査期間すべての業務の持ち帰りの総時間数から1日あたりの平均や業務の割合等を算出したものである。

○表 A3-5、表 A3-6 においては、勤務時間を超えて在校した時間を「勤務時間外在校時間」（自己研鑽等の時間も含んだ在校時間）としてまとめている。

※各項目の平均には、表示しきれない端数があるため、合計とは一致していない部分がある。

【結果の概要】

- 小学校、中学校ともに直接、児童生徒の指導に当たる主幹教諭・教諭等の業務の持ち帰りが他の職種と比較して多くなっている。
- 小学校では約 50%、中学校では約 45%の者が業務の持ち帰りを行っており、約 20%の者が1日平均1時間以上、業務の持ち帰りを行っている。
- 小学校、中学校ともに持ち帰った業務の大半を授業準備と成績処理が占めている。
- 担任と担任外の業務の量を比較すると、小学校においては勤務時間外在校時間、業務の持ち帰りの量ともに担任の方が 1.5 倍以上多くなっており、担任の負担が大きいことがわかる。中学校においては担任外と比較して担任の勤務時間外在校時間が多くなっているものの、小学校ほどの差はなく、業務の持ち帰りの量についてはほぼ同じとなっている。

表 A3-1 職名別業務の持ち帰りの平均時間(1日あたり)

職名	小学校	中学校
全職種	0:27	0:25
校長	0:13	0:06
教頭	0:08	0:08
主幹教諭	0:37	0:35
教諭等	0:32	0:29
養護教諭等	0:03	0:05
栄養教諭	0:02	0:03
学校栄養職員	0:00	0:00
事務職員	0:00	0:00

図 A3-2 校種別に見た教諭等の業務の持ち帰りを行っている状況

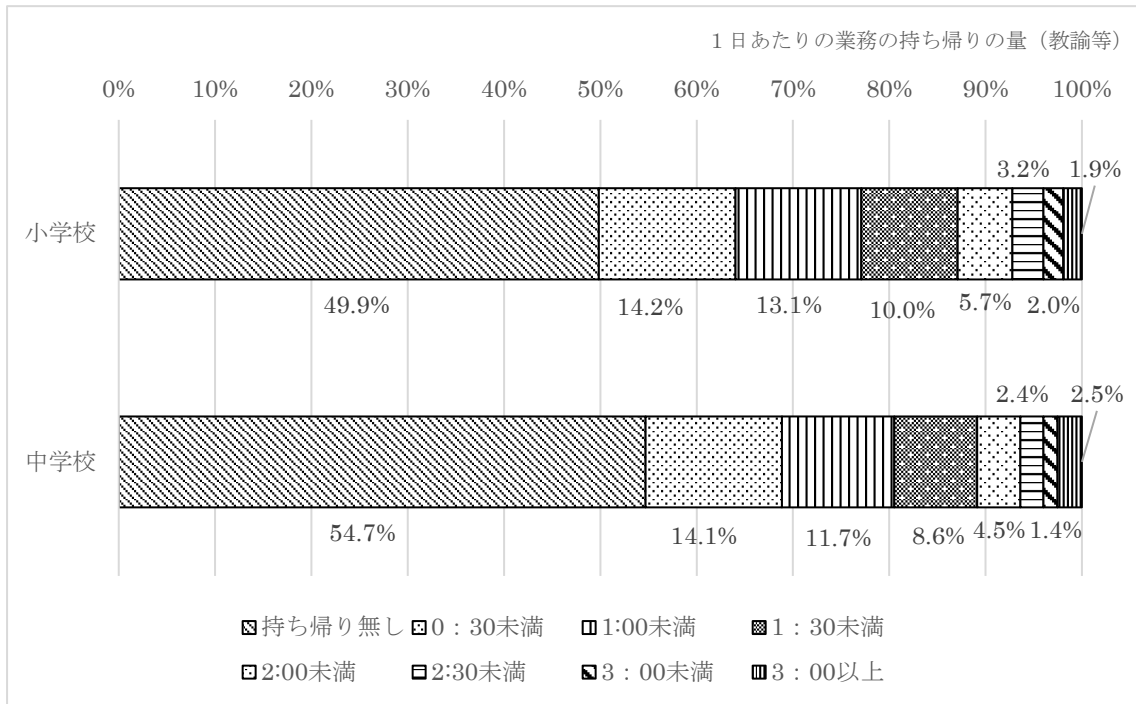


図 A3-3 教諭等の持ち帰った業務の内訳【小学校】

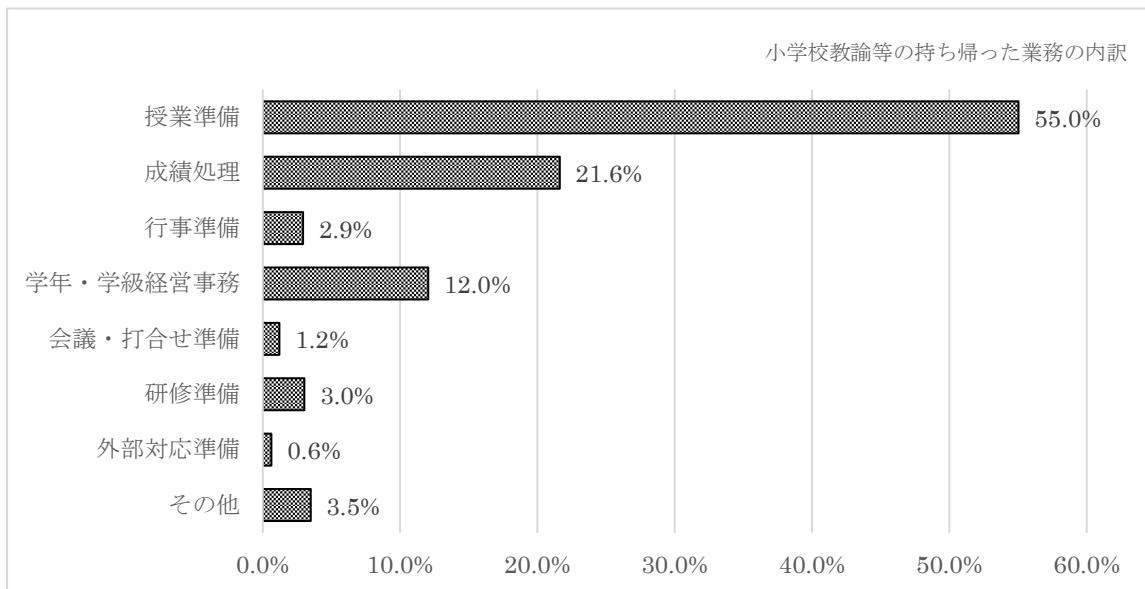


図 A3-4 教諭等の持ち帰った業務の内訳【中学校】

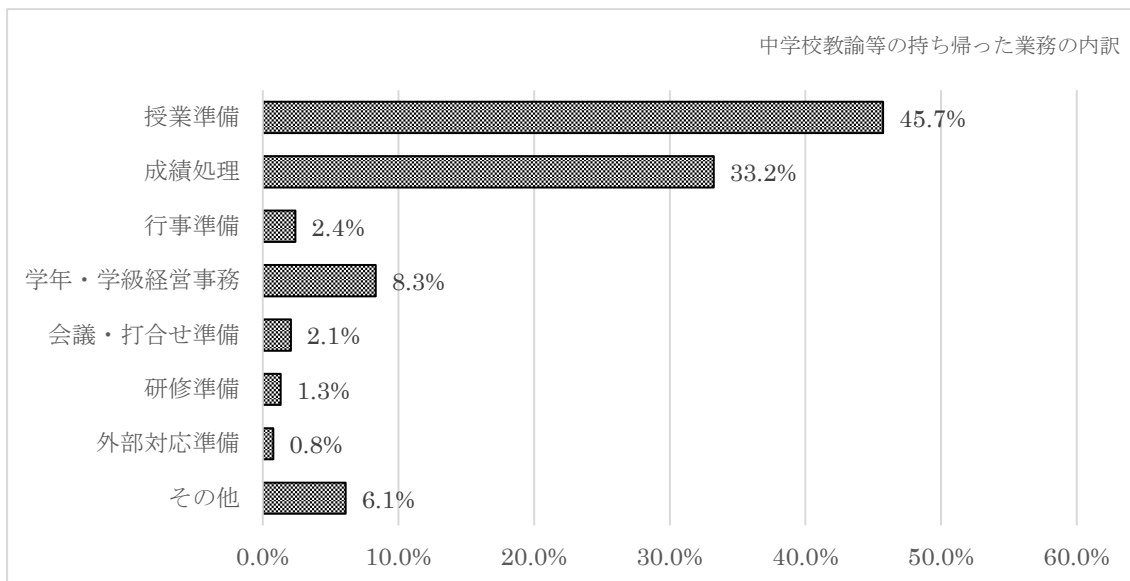


表 A3-5 担任・担任以外の業務量の比較(教諭等)【小学校】

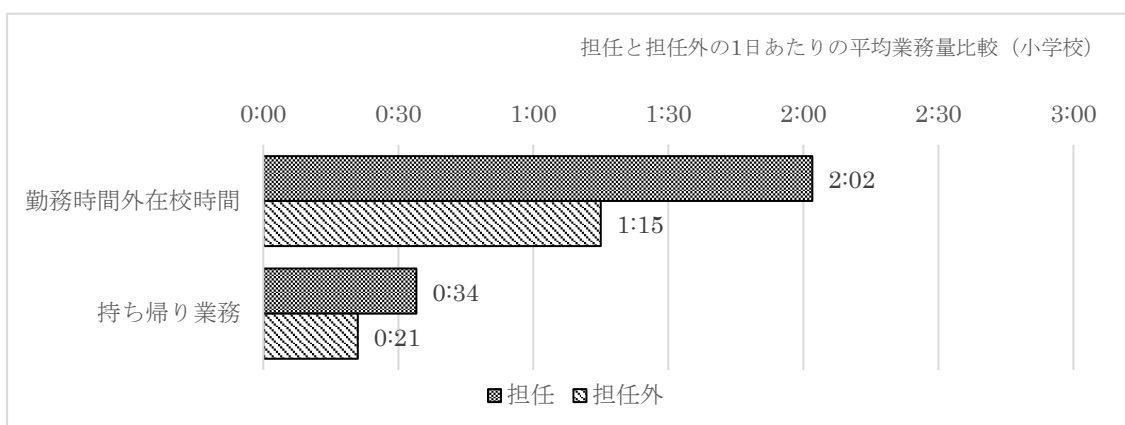
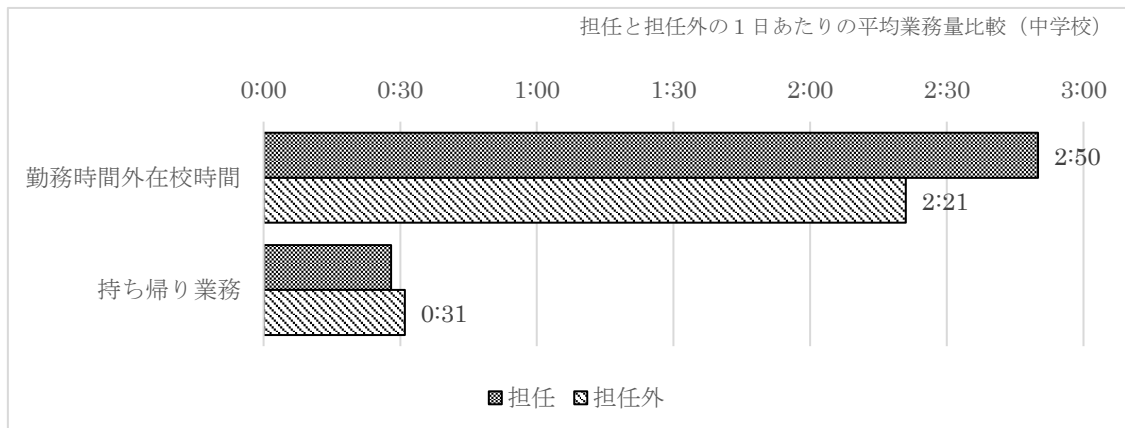


表 A3-6 担任・担任以外の業務量の比較(教諭等)【中学校】



(4) 週休日等の業務内容

○本調査結果はすべての職種について週休日に在校している職員の割合と、週休日に出勤した職員が行った業務内容についてまとめたものである。

【結果の概要】

- 小学校と比較して中学校の方が週休日に在校している割合が高く、31.8%となっている。また、業務内容を見ると中学校においては、部活動が47.8%と他の項目と比較して非常に高くなっており、中学校で週休日の出勤が多い原因となっていると考えられる。
- 小学校においては、授業準備(29.8%)や成績処理(21.6%)の割合が多くなっており、平日に処理しきれない業務を週休日に行っていることがわかる。中学校においても同様に部活動ほどではないが、成績処理(18.9%)、授業準備(9.8%)の割合が多くなっている。

図 A4-1 校種別に見た週休日等の在校状況

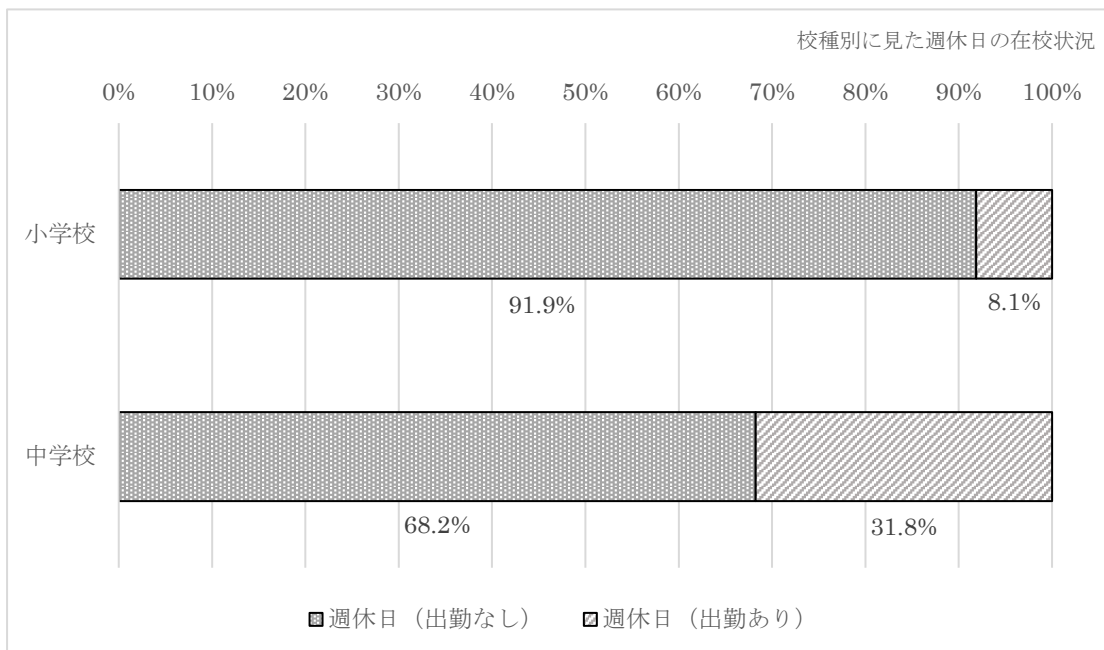
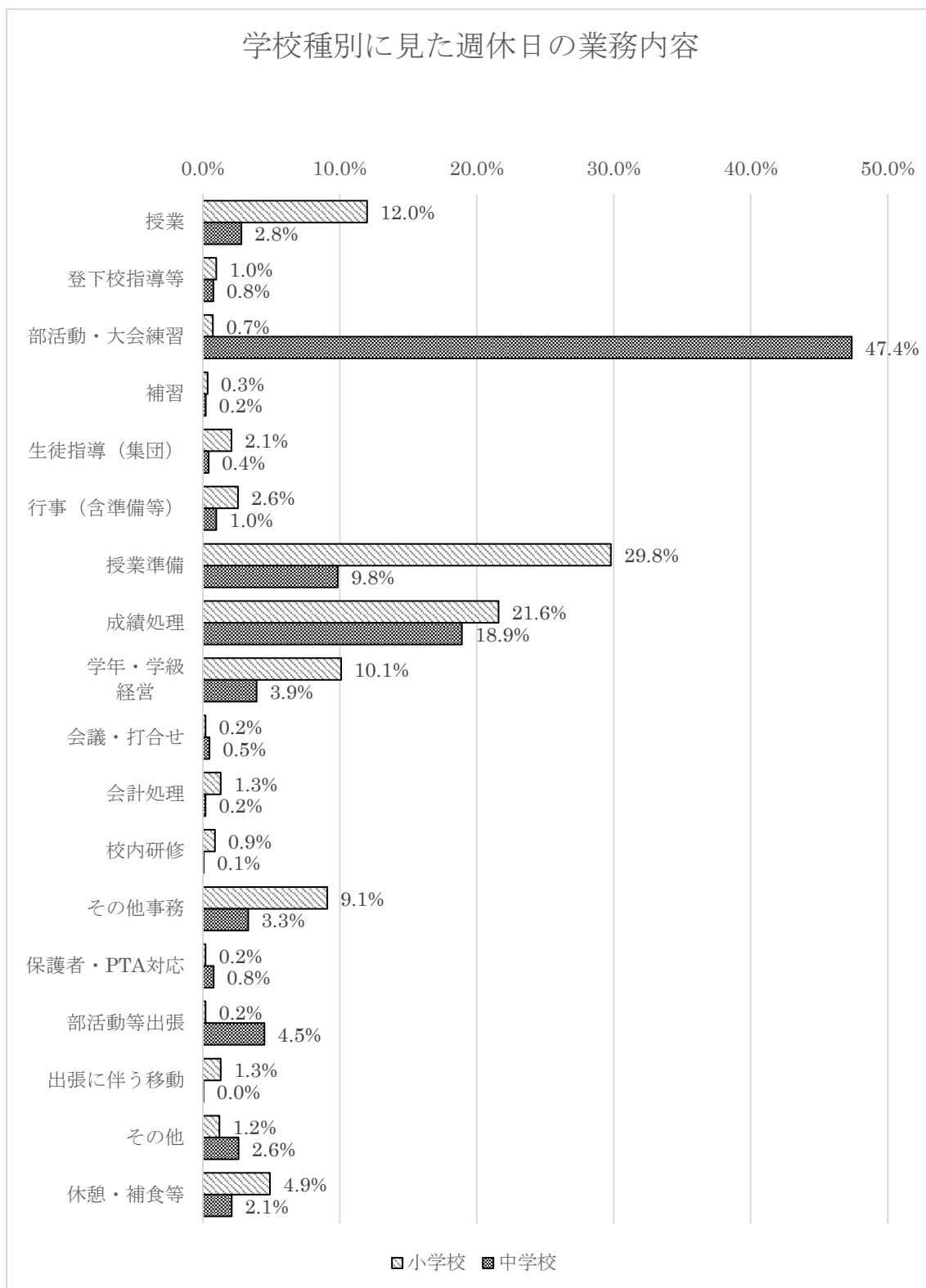


図 A4-2 学校種別に見た週休日の業務内容



(5) 学校規模別に見た勤務日の業務内容

- 本調査結果は、主幹教諭と教諭等の、業務内容別にかかった時間と業務の持ち帰りの時間を学校規模別にまとめたものである。
 - 表 A5-1 から表 A5-4 については、勤務日における1日あたりの平均業務時間、表 A5-5 と表 A5-6 については週休日も含めた業務の持ち帰りの1日あたりの平均時間を算出し、学校規模別にまとめたものである。
 - 表 A5-1 と表 A5-3 については、業務内容を大きく児童生徒と直接関わる「授業・部活動等」とそれ以外の「事務仕事」に分けて、それぞれの業務にかかっている時間を勤務日1日あたりの平均で学校規模別に示したものである。
 - なお、「学年・学級経営」については、児童生徒と関わる「学級活動等」と教室環境の整備や学年・学級通信の作成等事務仕事の両方を含むが、ここでは「事務仕事」に分類することとした。
- ※各項目の平均には、表示しきれない端数があるため、合計とは一致していない部分がある。

【結果の概要】

- 小学校においては、6学級以上の学校と比較して、5学級以下の学校は、「授業・部活動等」の時間および「事務仕事」の時間の両方において短い傾向にある。また、5学級以下の学校では特に「授業」「成績処理」「授業準備」の時間が短くなっている。「成績処理」については、児童数が少なく、その分、採点等に係る時間が短くなるため、このような結果となっていると考えられる。また、5学級以下の学校では、「その他事務」は比較的長くなっているが、小規模の学校では教員の数少なく、一人当たりの校務分掌が多くなるため、このような結果となっていると考えられる。
- 中学校においては、学校規模が大きくなるほど「授業・部活等」の時間が長くなる傾向にあり、反対に「事務仕事」については学校規模が大きくなるほど、短くなる傾向がある。中学校の「事務仕事」については、特に「授業準備」に係る時間が長くなっている。大規模の学校では、各教科担当が各学年にすることが多いが、小規模の学校では、1人で3学年分すべての授業を行うことが多いため、その分、授業準備に時間がかかっていると考えられる。
- 中学校においても、規模が小さくなるほどその他事務が増える傾向にあり、小学校と同様に一人当たりの校務分掌が多くなるため、このような結果となっていると考えられる。
- 業務の持ち帰りについては、小学校では学校規模が大きくなるほど多く、中学校では5学級以下の学校が他と比べて少なくなっている。

表 A5-1 学校規模別に見た主幹教諭・教諭等の勤務日1日あたりの業務内容①【小学校】

	5 学級以下	11 学級以下	18 学級以下	19 学級以上
授業・部活等	5:26	5:54	5:51	5:52
事務仕事	4:18	4:55	5:07	4:59

表 A5-2 学校規模別に見た主幹教諭・教諭等の勤務日1日あたりの業務内容②【小学校】

	5 学級以下	11 学級以下	18 学級以下	19 学級以上
在校時間	9:40	10:54	10:54	10:55
授業	4:19	4:53	4:57	4:56
部活動・各種大会練習	0:00	0:00	0:01	0:01
補習	0:03	0:02	0:03	0:01
生徒指導(集団)・集会	0:58	0:48	0:43	0:45
個別の面談等	0:01	0:02	0:02	0:03
生徒会指導	0:03	0:05	0:04	0:04
登下校指導等	0:09	0:17	0:19	0:17
行事(準備等を含む)	0:03	0:04	0:06	0:09
授業準備	1:21	1:39	1:33	1:34
成績処理	0:14	0:31	0:37	0:34
学年・学級経営	0:39	0:36	0:47	0:50
会議・打合せ	0:20	0:20	0:21	0:25
会計処理	0:03	0:02	0:02	0:01
校内研修	0:10	0:10	0:11	0:14
その他事務	0:52	0:45	0:37	0:31
保護者・PTA 対応	0:03	0:07	0:02	0:03
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:01	0:00	0:00	0:00
出張:研修(校外)	0:04	0:01	0:05	0:03
出張:部活動関係	0:00	0:00	0:00	0:00
出張:会議・他	0:01	0:01	0:03	0:02
出張に伴う移動	0:02	0:01	0:01	0:01
コロナ対応業務(消毒等)	0:01	0:04	0:04	0:02
その他	0:09	0:06	0:07	0:07
休憩・補食等	0:13	0:08	0:08	0:05

表 A5-3 学校規模別に見た主幹教諭・教諭等の勤務日1日あたりの業務内容①【中学校】

	5 学級以下	11 学級以下	18 学級以下	19 学級以上
授業・部活等	5:13	5:30	5:46	5:57
事務仕事	6:12	5:46	5:44	5:27

表 A5-4 学校規模別に見た主幹教諭・教諭等の勤務日1日あたりの業務内容②【中学校】

	5 学級以下	11 学級以下	18 学級以下	19 学級以上
在校時間	11:24	11:17	11:28	11:25
授業	3:20	3:38	3:57	4:04
部活動・各種大会練習	0:52	0:51	0:54	0:54
補習	0:03	0:03	0:03	0:02
生徒指導(集団)・集会	0:51	0:47	0:41	0:44
個別の面談等	0:03	0:05	0:05	0:06
生徒会指導	0:02	0:05	0:04	0:05
登下校指導等	0:17	0:18	0:17	0:10
行事(準備等を含む)	0:09	0:07	0:05	0:06
授業準備	2:30	1:43	1:41	1:44
成績処理	0:39	0:52	0:52	0:37
学年・学級経営	0:55	1:09	1:14	1:23
会議・打合せ	0:26	0:29	0:32	0:27
会計処理	0:03	0:02	0:01	0:01
校内研修	0:14	0:04	0:03	0:01
その他事務	0:35	0:31	0:27	0:26
保護者・PTA 対応	0:06	0:06	0:05	0:03
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:00	0:00	0:00	0:00
出張:研修(校外)	0:00	0:02	0:03	0:01
出張:部活動関係	0:04	0:02	0:03	0:04
出張:会議・他	0:01	0:02	0:02	0:01
出張に伴う移動	0:00	0:02	0:02	0:01
コロナ対応業務(消毒等)	0:02	0:02	0:01	0:11
その他	0:04	0:06	0:06	0:04
休憩・補食等	0:09	0:09	0:06	0:06

表 A5-5 学校規模別に見た主幹教諭・教諭等の1日あたりの持ち帰り業務の内容【小学校】

	5 学級以下	11 学級以下	18 学級以下	19 学級以上
持ち帰り合計	0:08	0:25	0:30	0:35
授業準備	0:06	0:14	0:16	0:20
成績処理	0:00	0:04	0:06	0:05
行事準備	0:00	0:00	0:00	0:01
学年・学級経営	0:00	0:02	0:03	0:04
会議・打合せ準備	0:00	0:00	0:00	0:00
研修準備	0:00	0:00	0:00	0:01
外部対応準備	0:00	0:00	0:00	0:00
その他 2	0:00	0:02	0:01	0:00

表 A5-6 学校規模別に見た主幹教諭・教諭等の1日あたりの持ち帰り業務の内容【中学校】

	5 学級以下	11 学級以下	18 学級以下	19 学級以上
持ち帰り合計	0:10	0:26	0:25	0:22
授業準備	0:05	0:13	0:11	0:11
成績処理	0:02	0:06	0:08	0:05
行事準備	0:00	0:00	0:00	0:00
学年・学級経営	0:01	0:01	0:03	0:02
会議・打合せ準備	0:00	0:00	0:00	0:00
研修準備	0:00	0:01	0:00	0:00
外部対応準備	0:00	0:00	0:00	0:00
その他 2	0:00	0:01	0:00	0:01

(6) 年代別に見た勤務日の業務内容

- 本調査結果は、教諭等の、業務内容別にかかった時間を年代別にまとめたものである。
- 勤務日における1日あたりの平均業務時間を算出し、年代別にまとめている。
- 表 A6-1 と表 A6-3 については、業務内容を大きく児童生徒と直接関わる「授業・部活動等」とそれ以外の「事務仕事等」に分けて、それぞれの業務にかかっている時間を勤務日1日あたりの平均で年代別に示したものである。
- ※各項目の平均には、表示しきれない端数があるため、合計とは一致していない部分がある。

【結果の概要】

- 小学校、中学校ともに20代は他の年代と比較して、在校時間が長くなっており、特に事務仕事の時間が長くなっている。詳細に見ていくと、特に授業準備の時間が長くなっており、30代と比較すると1日あたり小学校で28分、中学校で21分長くなっている。また、小学校においては、学年・学級経営にかける時間についても長くなっている。
- 小学校においては、年代が若いほど、登下校指導等の時間が長くなっている。
- 中学校においては、年代が若いほど、部活動の時間も長くなっており、20代と50代・60代とを比較すると、1日あたり24分の差がある。
- 小学校、中学校ともに年代が高いほど、「その他事務」が多くなる傾向にある。

表 A6-1 年代別に見た教諭等の勤務日1日あたりの業務内容①【小学校】

	20代	30代	40代	50代	60代
授業・部活等	5:57	5:57	5:44	6:02	4:57
事務仕事	5:23	4:46	4:50	4:44	4:38

表 A6-2 年代別に見た教諭等の勤務日1日あたりの業務内容②【小学校】

	20代	30代	40代	50代	60代
在校時間	11:21	10:43	10:31	10:49	9:48
授業	5:02	5:03	4:49	5:05	4:12
部活動・各種大会練習	0:00	0:01	0:00	0:00	0:01
補習	0:03	0:02	0:02	0:03	0:01
生徒指導(集団)・集会	0:45	0:43	0:40	0:45	0:33
個別の面談等	0:02	0:01	0:04	0:02	0:03
生徒会指導	0:02	0:04	0:06	0:05	0:05
登下校指導等	0:23	0:16	0:15	0:17	0:12
行事(準備等を含む)	0:08	0:09	0:05	0:07	0:06
授業準備	1:56	1:28	1:19	1:27	1:19
成績処理	0:35	0:33	0:29	0:44	0:25
学年・学級経営	0:54	0:46	0:47	0:36	0:26
会議・打合せ	0:21	0:20	0:23	0:22	0:16
会計処理	0:03	0:02	0:01	0:02	0:01
校内研修	0:14	0:11	0:11	0:11	0:20
その他事務	0:24	0:31	0:47	0:31	0:50
保護者・PTA 対応	0:03	0:04	0:04	0:02	0:03
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
出張:研修(校外)	0:05	0:05	0:03	0:02	0:14
出張:部活動関係	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
出張:会議・他	0:01	0:02	0:05	0:02	0:06
出張に伴う移動	0:01	0:01	0:02	0:01	0:00
コロナ対応業務(消毒等)	0:01	0:04	0:03	0:05	0:04
その他	0:05	0:05	0:09	0:06	0:10
休憩・補食等	0:06	0:06	0:06	0:07	0:11

表 A6-3 年代別に見た教諭等の勤務日1日あたりの業務内容①【中学校】

	20代	30代	40代	50代	60代
授業・部活等	5:42	5:32	5:12	5:14	5:03
事務仕事	6:04	5:45	5:39	5:20	5:15

表 A6-4 年代別に見た教諭等の勤務日1日あたりの業務内容②【中学校】

	20代	30代	40代	50代	60代
在校時間	11:49	11:18	10:48	10:39	10:21
授業	3:43	3:39	3:34	3:36	3:33
部活動・各種大会練習	1:04	0:56	0:44	0:40	0:40
補習	0:03	0:03	0:02	0:02	0:01
生徒指導(集団)・集会	0:39	0:43	0:40	0:45	0:39
個別の面談等	0:06	0:06	0:05	0:04	0:03
生徒会指導	0:05	0:04	0:05	0:04	0:04
登下校指導等	0:16	0:14	0:16	0:15	0:19
行事(準備等を含む)	0:07	0:10	0:07	0:06	0:02
授業準備	1:56	1:35	1:26	1:36	1:33
成績処理	0:53	0:46	0:48	0:43	0:42
学年・学級経営	1:13	1:20	1:05	1:00	0:48
会議・打合せ	0:25	0:29	0:35	0:32	0:29
会計処理	0:01	0:01	0:01	0:03	0:03
校内研修	0:06	0:03	0:04	0:03	0:02
その他事務	0:22	0:23	0:34	0:31	0:36
保護者・PTA 対応	0:05	0:05	0:06	0:03	0:03
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00
出張:研修(校外)	0:05	0:05	0:02	0:02	0:02
出張:部活動関係	0:13	0:12	0:13	0:04	0:07
出張:会議・他	0:02	0:03	0:04	0:03	0:04
出張に伴う移動	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02
コロナ対応業務(消毒等)	0:04	0:04	0:02	0:02	0:05
その他	0:06	0:05	0:06	0:04	0:08
休憩・補食等	0:06	0:06	0:06	0:09	0:13

2 調査B（4週間の在校等時間調査）

○「時間外在校等時間」について

- 本調査においては、在校時間の中から正規の勤務時間と自己研鑽等の時間を除いた時間を「時間外在校等時間」としてまとめている。

※A 調査においては自己研鑽等の時間の詳細なデータがないため、自己研鑽等の時間を除かない「勤務時間外在校時間」を使用した。本調査においては「時間外在校等時間」を使用している。

(1) 職名別時間外在校等時間の平均

○本調査結果は、調査Bにおいて調査した在校時間の中から正規の勤務時間や自己研鑽等の時間を除いた時間外在校等時間をまとめたものである。

○平日については、平成28年度に同様の調査を実施していることから、その当時の値と比較できるようまとめている。

- 平成28年度と比較して時間外在校等時間が、小学校では1日平均24分、中学校では27分減少している。
- 平日については、時間外在校等時間が減少しているものの、校長、教頭、主幹教諭、教諭等についてはいまだに1日平均2時間を超えている状態にある。また、養護教諭等、栄養教諭、中学校の学校栄養職員についても時間外在校等時間が1時間を超えている。
- 職種別の時間外在校等時間を見ると教頭の時間外在校等時間が他の職種と比較して多く、小学校、中学校とも3時間を大きく超えている。

図 B1-1 【平日】時間外在校等時間(1日平均)

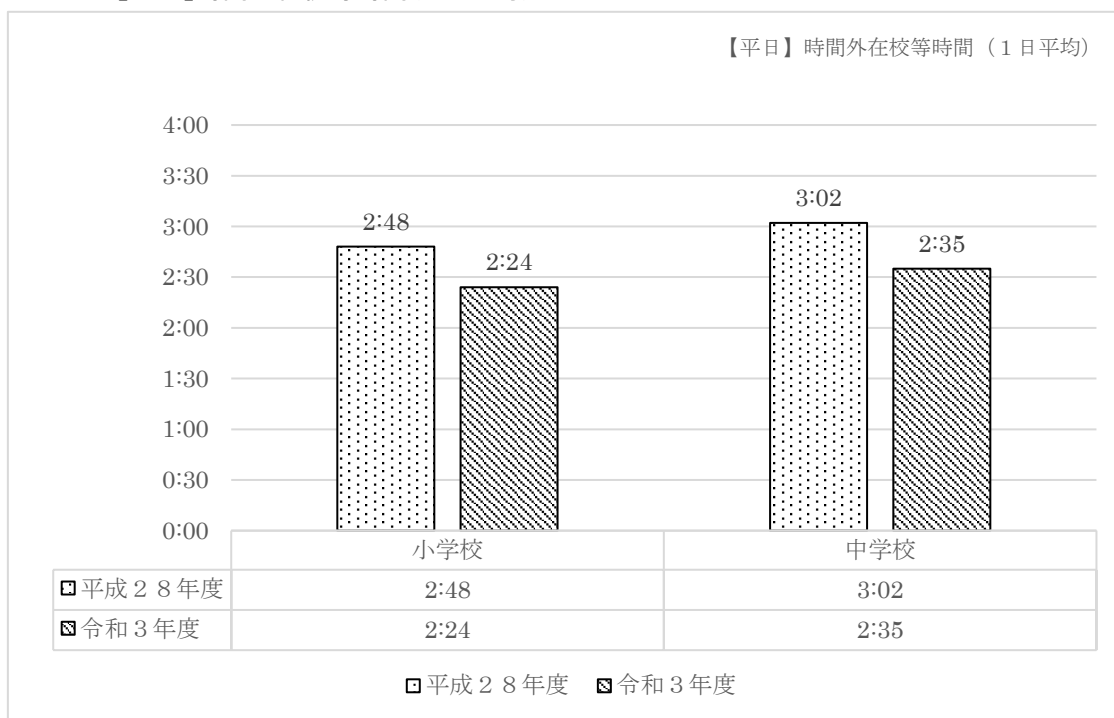


表 B1-2 【平日】時間外在校等時間(1日平均)職名別

	小学校			中学校		
	平成28年度	令和3年度	増減	平成28年度	令和3年度	増減
校長	2時間26分	2時間15分	▲11分	2時間46分	2時間17分	▲29分
教頭	3時間45分	3時間25分	▲20分	4時間1分	3時間14分	▲47分
主幹教諭	3時間42分	3時間8分	▲34分	3時間21分	2時間37分	▲16分
教諭等	2時間57分	2時間28分	▲29分	3時間10分	2時間43分	▲27分
養護教諭等	1時間51分	1時間46分	▲5分	1時間58分	1時間33分	▲25分
栄養教諭	1時間41分	1時間34分	▲7分	1時間26分	1時間14分	▲12分
事務職員	1時間0分	53分	▲7分	1時間4分	57分	▲7分
学校栄養職員	1時間18分	50分	▲28分	50分	1時間15分	25分
平均	2時間48分	2時間24分	▲24分	3時間2分	2時間35分	▲27分

図 B1-3 【平日】職名別時間外在校等時間(1日平均)小学校

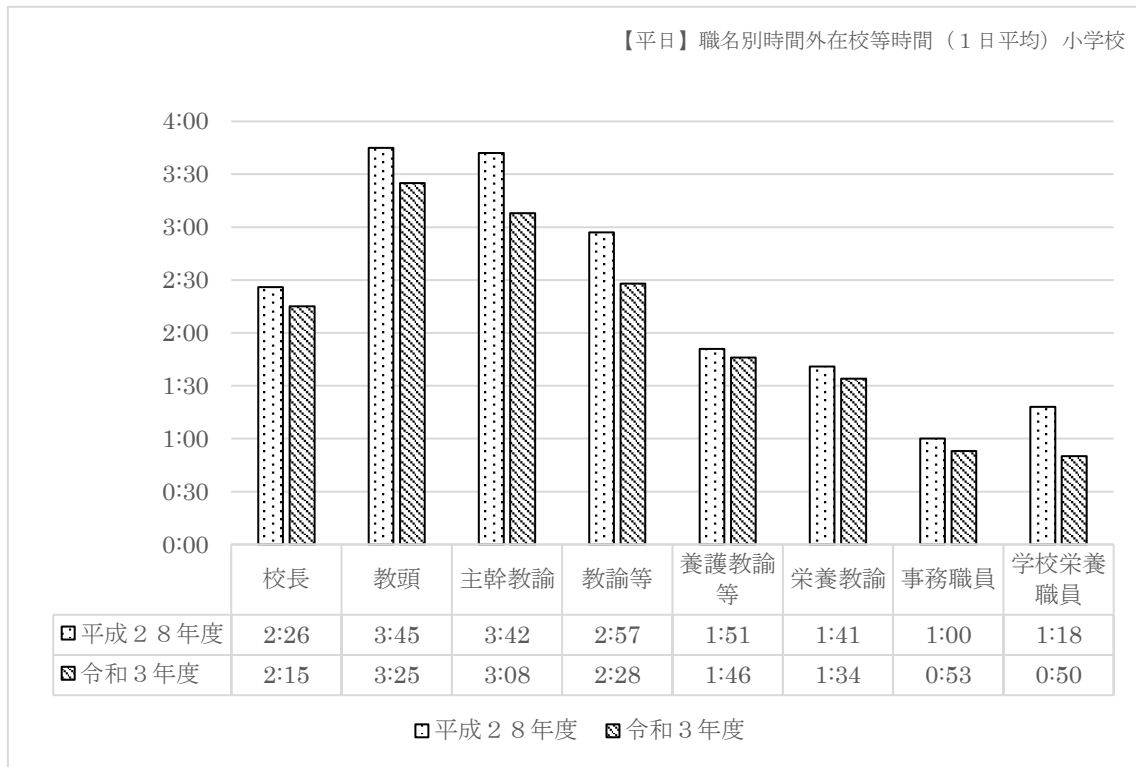


図 B1-4 【平日】職名別時間外在校等時間(1日平均)中学校

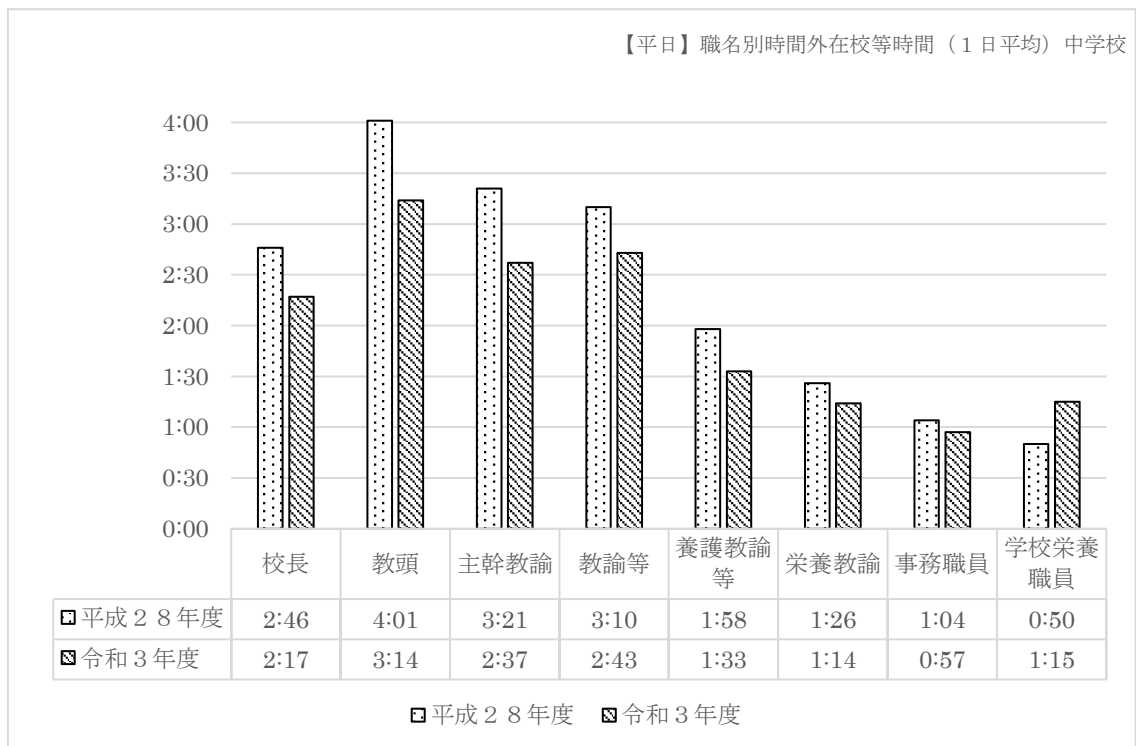


図 B1-5 【週休日】時間外在校等時間(1日平均)

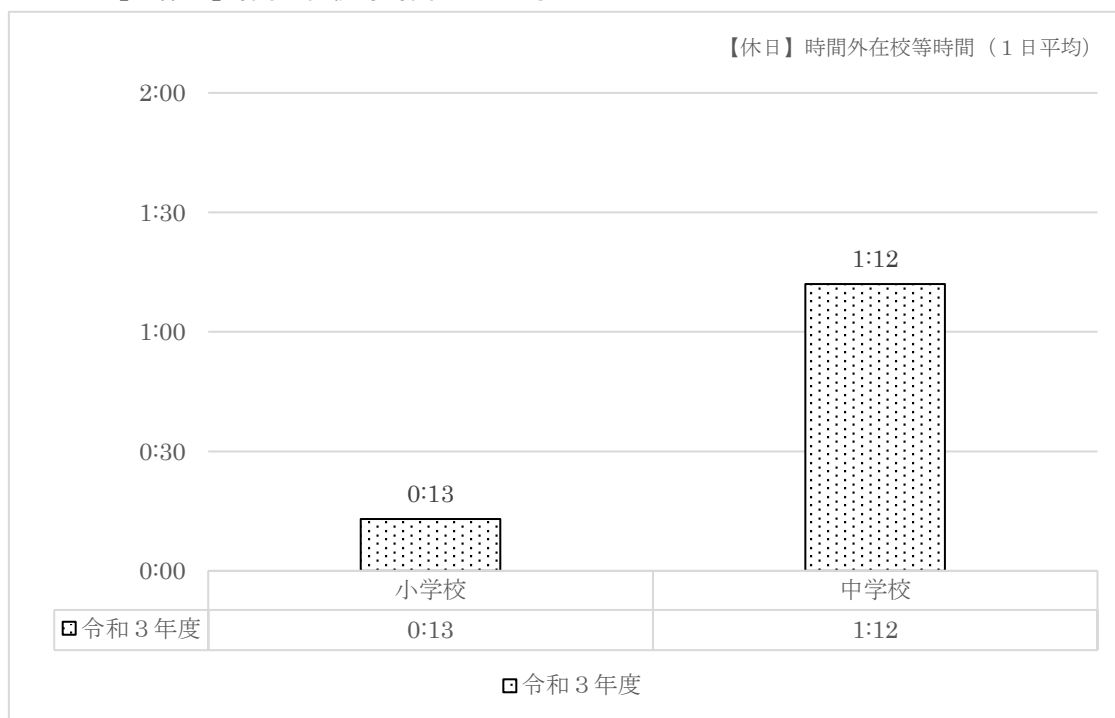


表 B1-6 【週休日】時間外在校等時間(1日平均)職種別

	小学校	中学校
校長	1 3分	2 3分
教頭	2 7分	5 3分
主幹教諭	3 4分	1 時間 1 1分
教諭等	1 3分	1 時間 2 2分
養護教諭等	1 2分	8分
栄養教諭	0分	1分
事務職員	0分	4分
学校栄養職員	0分	0分
平均	1 3分	1 時 1 2 間分

図 B1-7 【週休日】職名別時間外在校等時間(1日平均)小学校

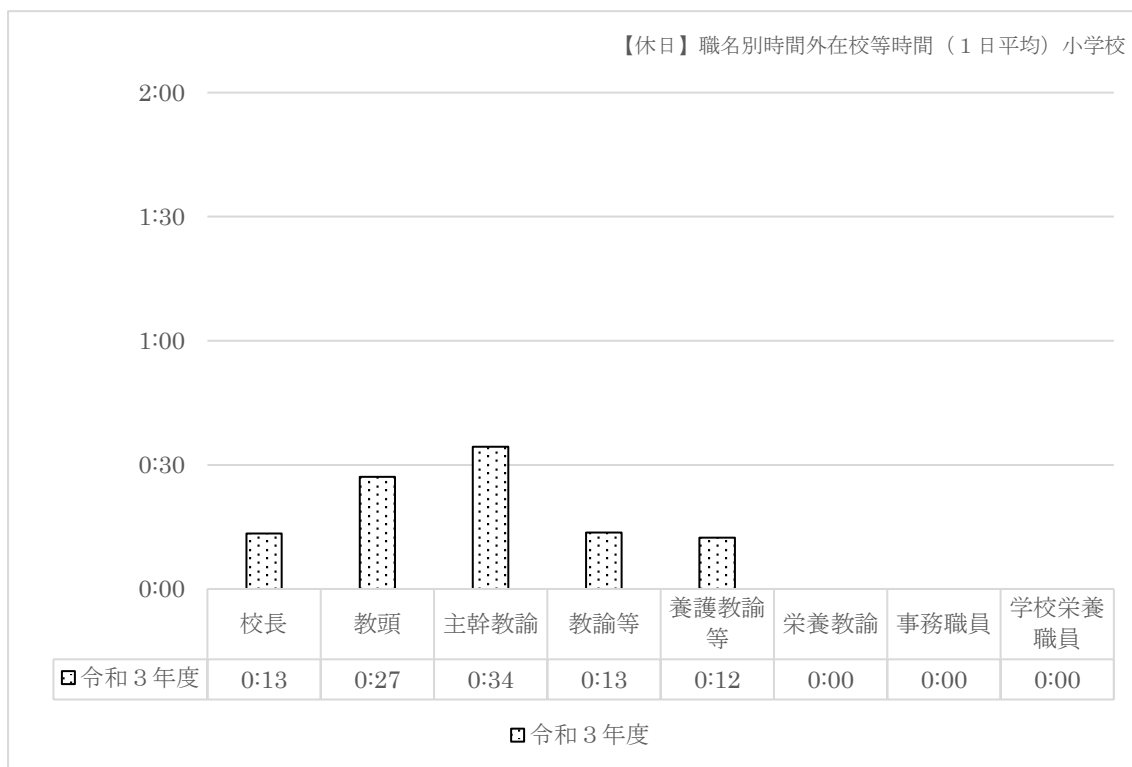
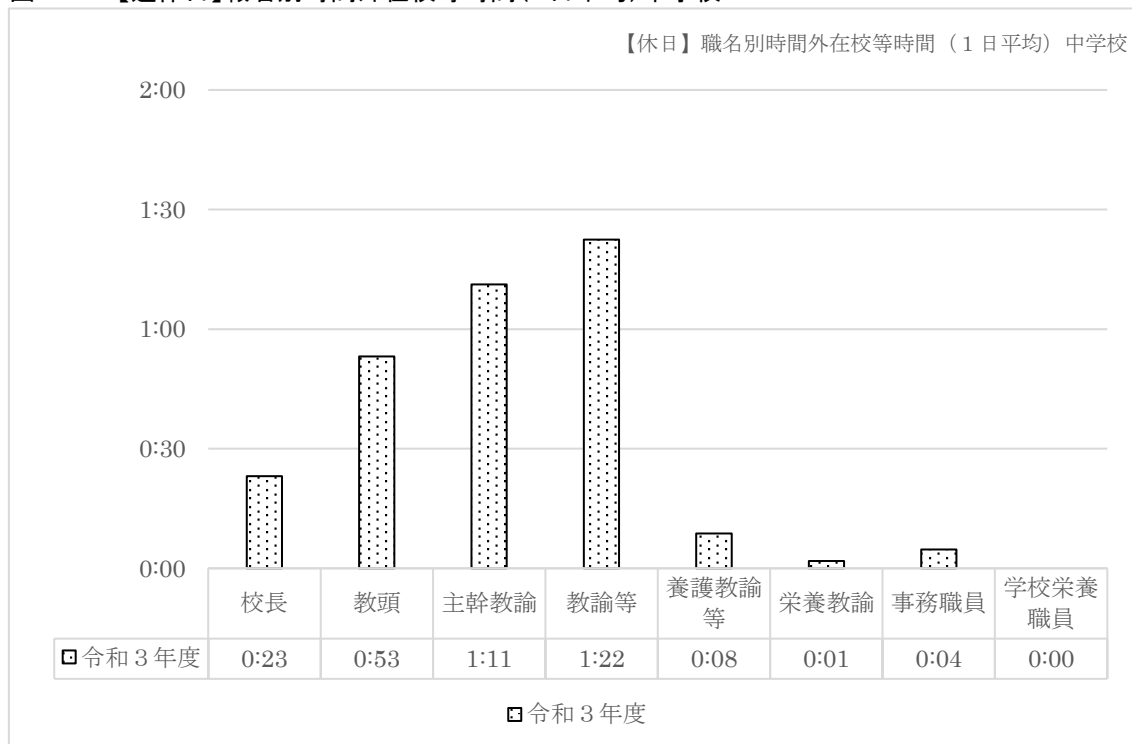


図 B1-8 【週休日】職名別時間外在校等時間(1日平均)中学校



(2) 男女別に見た時間外在校等時間の平均

- 本調査結果は、調査 B において調査した在校時間の中から正規の勤務時間や自己研鑽等の時間を除いた時間外在校等時間を男女別にまとめたものである。
- 平日については、平成28年度に同様の調査を実施していることから、その当時の値と比較できるようまとめている。

【調査結果の概要】

- 男女ともに平成28年度と比較して時間外在校等時間が減少しており、男性で小中学校ともに約30分、女性で小・中学校ともに約20分時間外在校等時間の縮減が見られた。
- 男性の時間外在校等時間の縮減幅が大きく、男女の時間外在校等時間の差が縮まった。
- 小学校においては、週休日の時間外在校等時間の男女差はほとんど見られない。

表 B2-1 【平日】時間外在校等時間(1日平均)男女別

男性

	小学校			中学校		
	平成28年度	令和3年度	増減	平成28年度	令和3年度	増減
平均	3時間 5分	2時間33分	▲32分	3時間15分	2時間42分	▲33分

女性

	小学校			中学校		
	平成28年度	令和3年度	増減	平成28年度	令和3年度	増減
平均	2時間37分	2時間18分	▲19分	2時間43分	2時間25分	▲18分

表 B2-2 【週休日】時間外在校等時間(1日平均)男女別

	小学校		中学校	
	男性	女性	男性	女性
平均	14分	13分	1時間21分	59分

図 B2-3 【平日】時間外在校等時間(1日平均)男女別 小学校

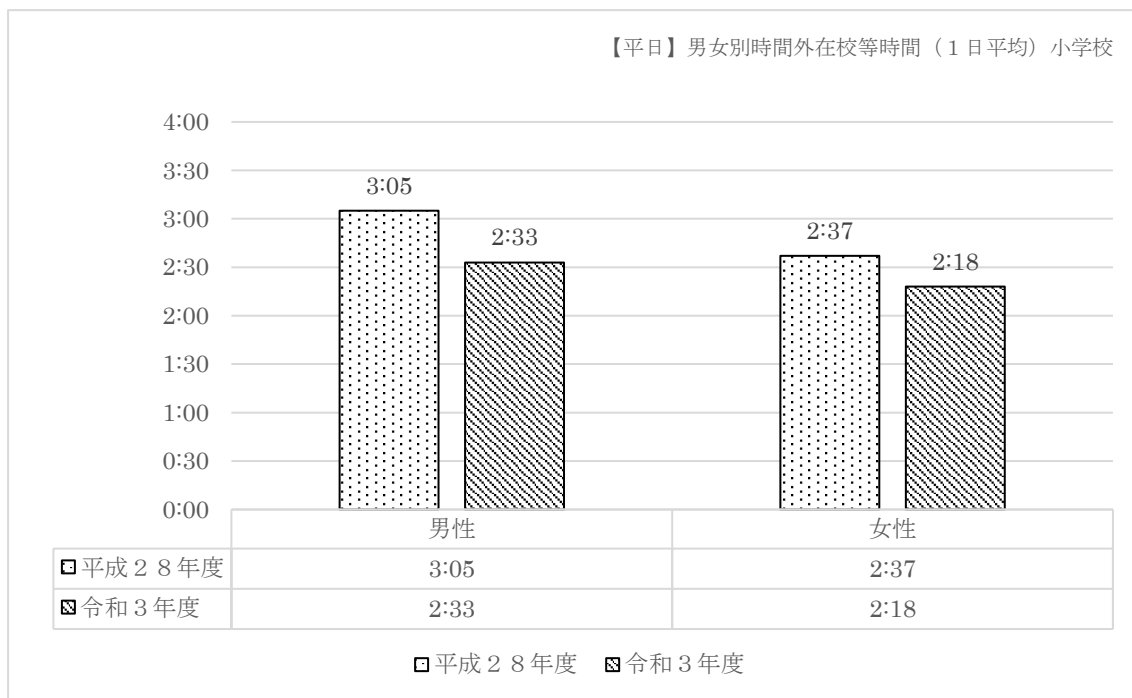
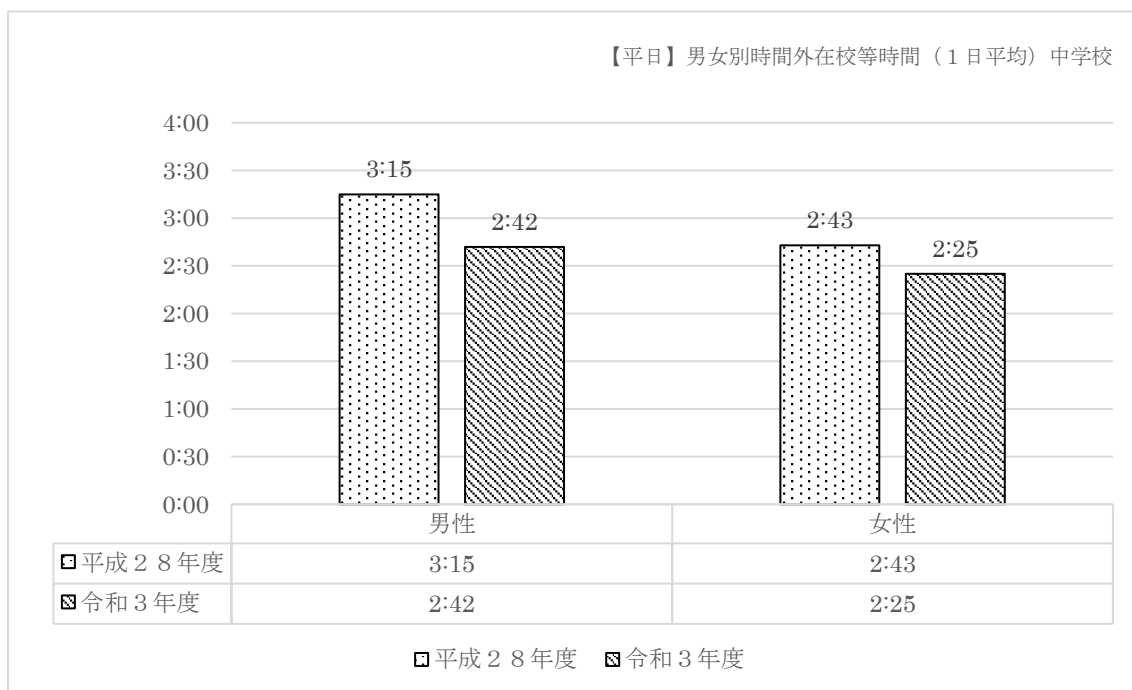


図 B2-4 【平日】時間外在校等時間(1日平均)男女別 中学校



(3) 学級担任別に見た時間外在校等時間の平均【教諭等】

○本調査結果は、調査 B において調査した在校時間の中から自己研鑽等の時間を除いた「時間外在校等時間」を教諭等のみ集計し、学級担任別にまとめたものである。

○本調査については、平成28年度に同様の調査を実施していることから、その当時の値と比較できるようまとめている。

【調査結果の概要】

- ・小学校では、担任学年が上がると持ち時数が増える傾向にある。中学校では、担任学年に関わらず時間外在校等時間が3時間程度であり、比較的平準化が図れていると考えられる。
- ・担任、担任外問わず平成28年度調査に比べると時間外在校等時間が減少している。
- ・時間外在校等時間については、小学校では、通常学級担任＞特別支援学級担任＞担任外となっており、中学校では、通常学級担任＞担任外＞特別支援学級担任となっている。

表 B3-1 【平日】時間外在校等時間(1日平均)学級担任別【教諭等】

	小学校			中学校		
	平成28年度	令和3年度 (平均持ち時数)	増減	平成28年度	令和3年度 (平均持ち時数)	増減
1学年担任	2時間54分	2時間34分 (25.1時間)	▲20分	3時間28分	3時間5分 (19.4時間)	▲23分
2学年担任	3時間5分	2時間41分 (25.0時間)	▲24分	3時間23分	3時間4分 (20.3時間)	▲19分
3学年担任	3時間7分	2時間47分 (24.9時間)	▲20分	3時間29分	3時間00分 (20.1時間)	▲29分
4学年担任	3時間10分	2時間41分 (25.1時間)	▲29分	—	—	—
5学年担任	3時間26分	2時間58分 (24.7時間)	▲28分	—	—	—
6学年担任	3時間20分	2時間43分 (24.7時間)	▲37分	—	—	—
特別支援学級	2時間28分	2時間10分 (27.0時間)	▲18分	2時間46分	2時間6分 (21.1時間)	▲40分
担任平均	—	2時間39分 (25.3時間)	—	—	2時間53分 (20.1時間)	—
担任外(教諭、 助教諭、講師のみ)	2時間21分	1時間43分 (19.7時間)	▲38分	2時間51分	2時間28分 (18.6時間)	▲23分
教諭、助教諭、 講師 平均	—	2時間28分 (24.3時間)	—	—	2時間43分 (19.5時間)	—

図 B3-2 【平日】時間外在校等時間(1日平均)学級担任別【教諭等】小学校

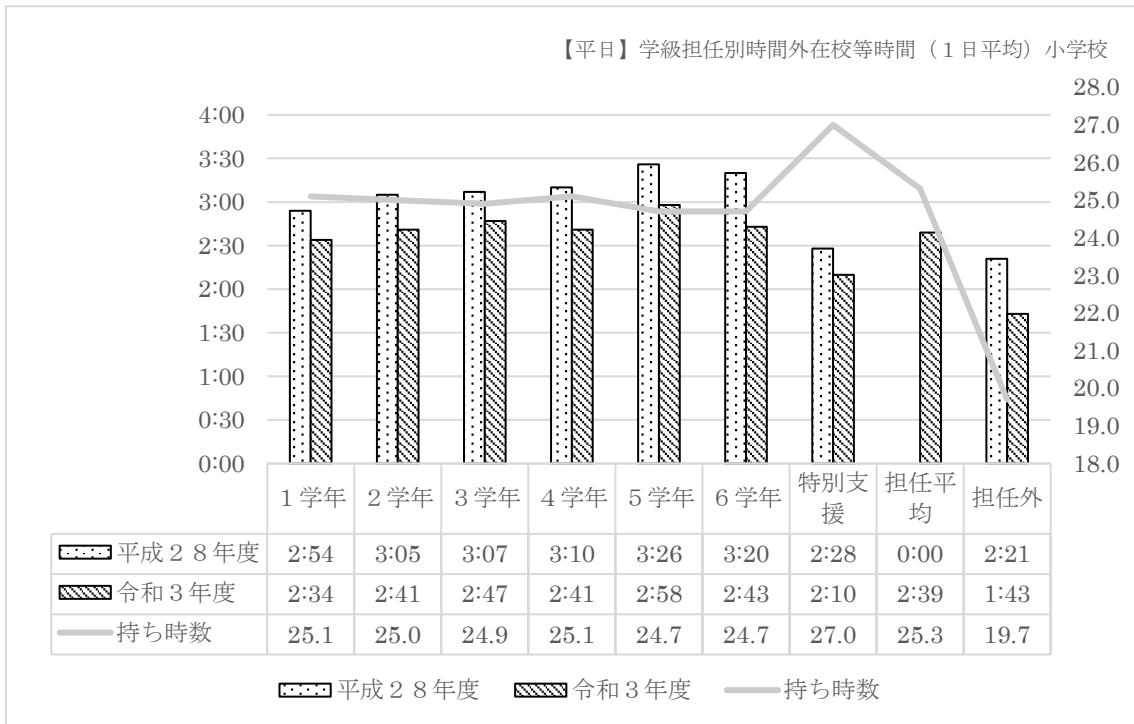


図 B3-3 【平日】時間外在校等時間(1日平均)学級担任別【教諭等】中学校

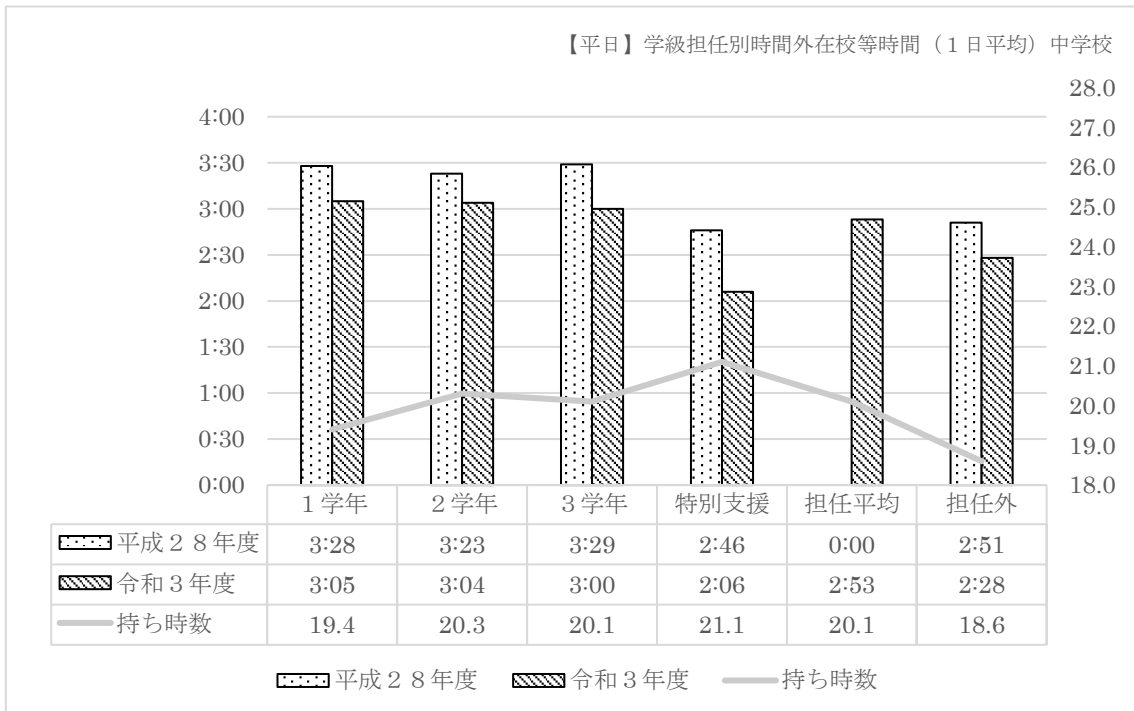


表 B3-4 【休日】時間外在校等時間(1日平均)学級担任別【教諭等】

	小学校	中学校
1 学年担任	1 6 分	1 時間 4 6 分
2 学年担任	1 4 分	1 時間 4 2 分
3 学年担任	1 4 分	1 時間 3 0 分
4 学年担任	1 5 分	—
5 学年担任	1 2 分	—
6 学年担任	1 9 分	—
特別支援学級担任平均	1 5 分	5 0 分
担任外	5 分	1 時間 8 分
平均	1 3 分	1 時間 2 2 分

図 B3-5 【休日】時間外在校等時間(1日平均)学級担任別【教諭等】 小学校

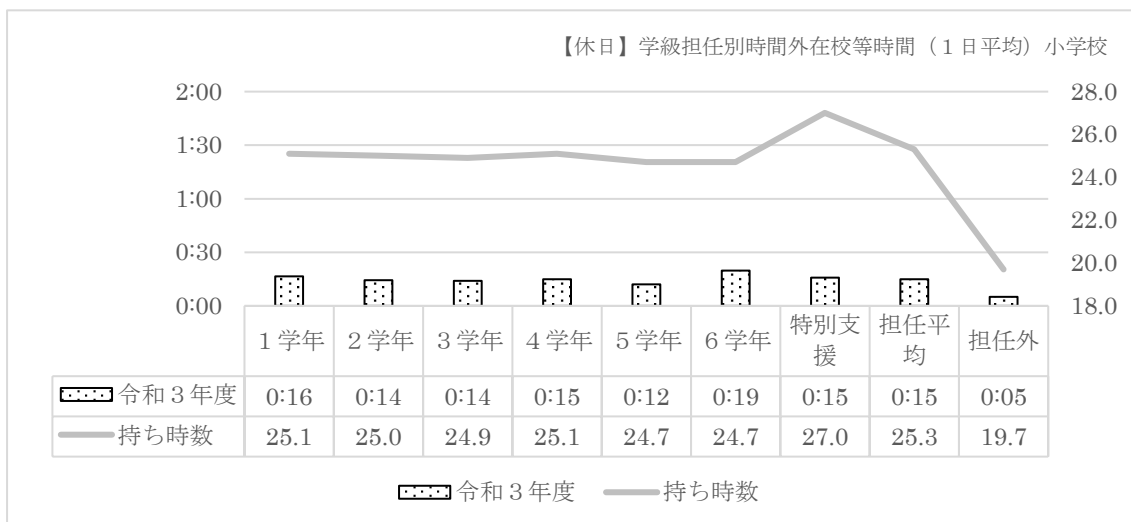
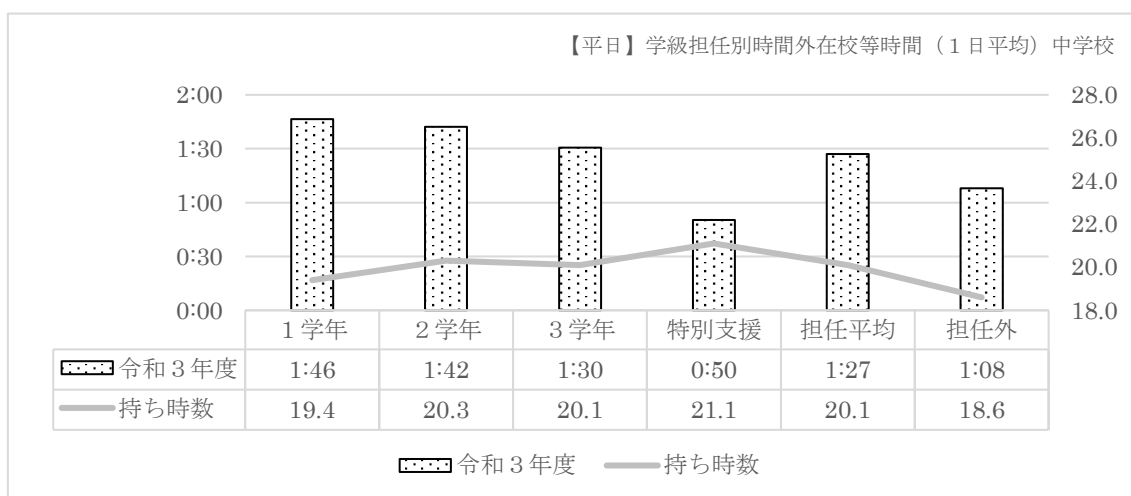


図 B3-6 【休日】時間外在校等時間(1日平均)学級担任別【教諭等】 中学校



(4) 年代別に見た時間外在校等時間の平均

- 本調査結果は、調査 B において調査した在校時間の中から正規の勤務時間や自己研鑽等の時間を除いた時間外在校等時間を年代別にまとめたものである。
- 本調査については、平成28年度に同様の調査を実施していることから、その当時の値と比較できるようまとめている。

【調査結果の概要】

- 小学校、中学校とも平成28年度調査と比較すると若い世代になるほど時間外在校等時間の減少幅が大きくなっている。
- 中学校において平日は部活動時間を引くと、平均して時間外在校等時間は1時間50分前後である。
- 中学校においては、週休日、10~40代において1時間以上の時間外在校等時間があり、そのうち40分以上が部活の指導となっている。

表 B4-1 【平日】時間外在校等時間(1日平均)年代別

	小学校			中学校		
	平成28年度	令和3年度	増減	平成28年度	令和3年度 (部活動指導時間)	増減
10、20代	3時間17分	2時間47分	▲30分	3時間43分	3時間00分 (1時間11分)	▲43分
30代	2時間45分	2時間17分	▲28分	3時間04分	2時間46分 (1時間04分)	▲18分
40代	2時間34分	2時間19分	▲15分	2時間40分	2時間24分 (41分)	▲16分
50代	2時間39分	2時間23分	▲16分	2時間45分	2時間17分 (34分)	▲18分
60代	2時間02分	1時間42分	▲20分	2時間01分	1時間59分 (40分)	2分

表 B4-2 【週休日】時間外在校等時間(1日平均)年代別

	小学校	中学校	
	令和3年度	令和3年度	(部活動指導時間)
10、20代	12分	1時間26分	(54分)
30代	13分	1時間49分	(56分)
40代	18分	1時間	(40分)
50代	15分	50分	(21分)
60代	6分	50分	(29分)

図 B4-3 【平日】時間外在校等時間(1日平均)年代別 小学校

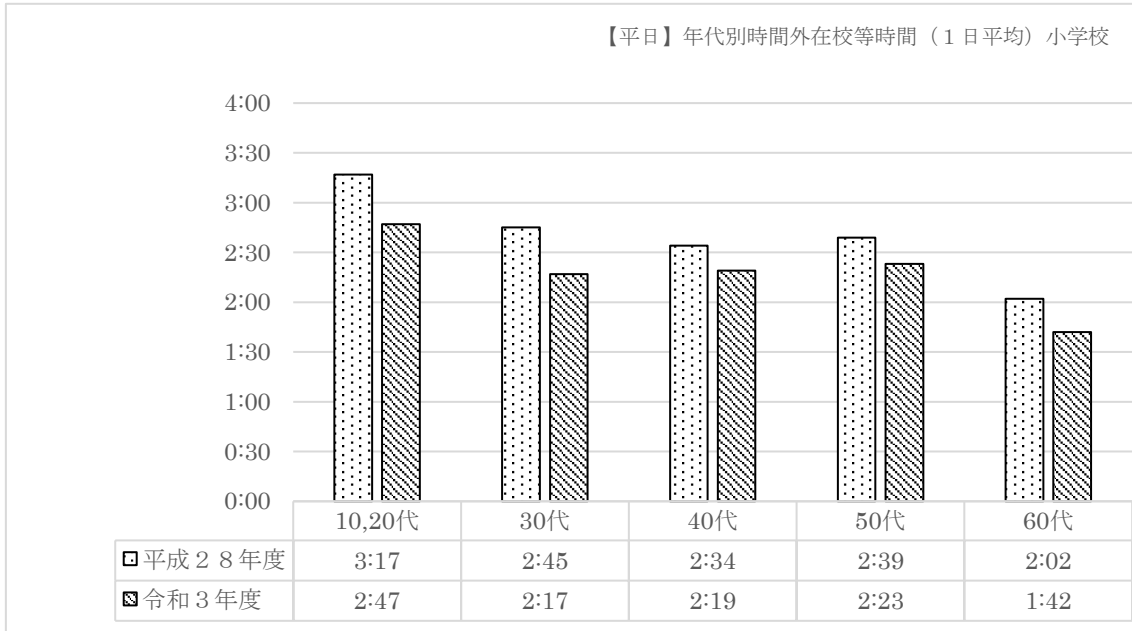


図 B4-4 【平日】時間外在校等時間(1日平均)年代別 中学校

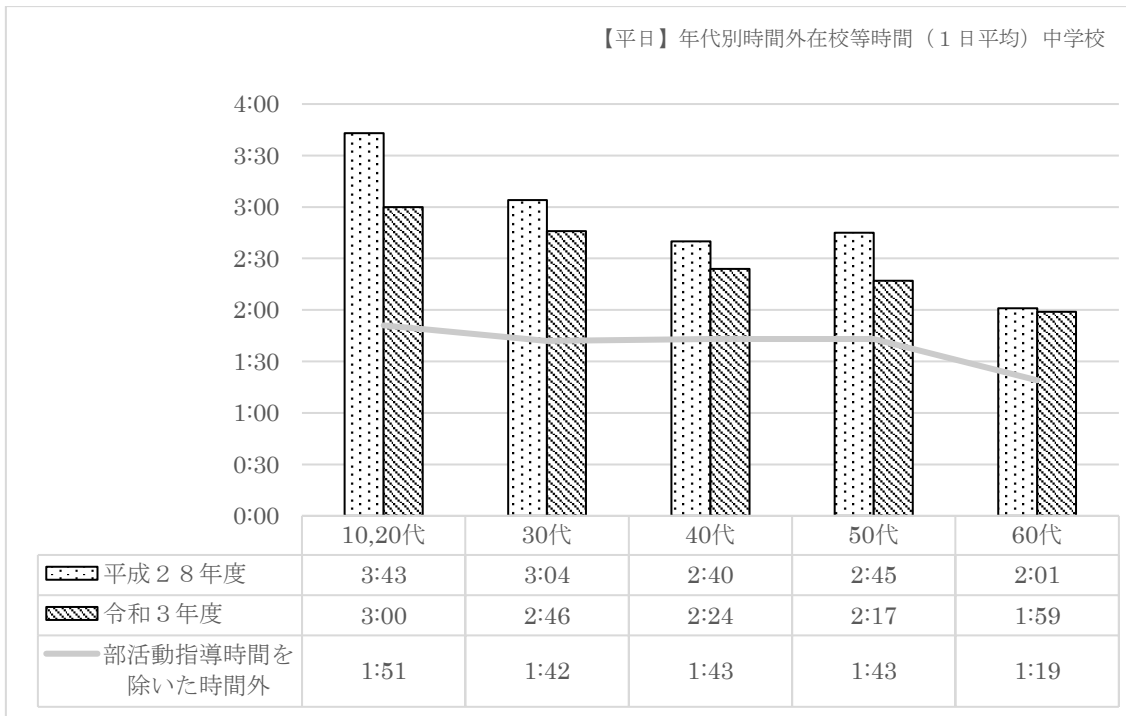


表 B4-5 【平日】**教諭等**の時間外在校等時間(1日平均)年代別

	小学校	中学校	
	時間外在校等時間	時間外在校等時間	(部活動指導時間)
10、20代	2時間58分	3時間09分	(1時間17分)
30代	2時間22分	2時間53分	(1時間08分)
40代	2時間12分	2時間29分	(53分)
50代	2時間27分	2時間16分	(53分)
60代	1時間43分	2時間04分	(46分)

表 B4-6 【週休日】**教諭等**の時間外在校等時間(1日平均)年代別

	小学校	中学校	
	時間外在校等時間	時間外在校等時間	(部活動指導時間)
10、20代	13分	1時間34分	(59分)
30代	13分	1時間34分	(1時間00分)
40代	15分	1時間13分	(46分)
50代	14分	1時間03分	(33分)
60代	5分	55分	(33分)

(5) 中学校における部活動顧問別に見た時間外在校等時間

○本調査結果は、調査 B において調査した在校時間の中から正規の勤務時間や自己研鑽等の時間を除いた時間外在校等時間と部活動の指導時間を部活動顧問、副顧問、顧問なしについてまとめたものである。

【調査結果の概要】

- 平日の部活動指導時間を平日の時間外在校等時間から引くと一日あたりの時間外在校等時間が概ね 1 時間 40～50 分程度になる。
- 「顧問なし」群は 4 週間の合計時間外在校等時間が月 45 時間以内となっている。つまり中学校における時間外在校等時間が月 45 時間を超えてしまう主な要因が、部活動の指導時間であると考えられる。

表 B5-1 時間外在校等時間 顧問 副顧問 顧問なし 別

	顧問	副顧問	顧問なし
時間外在校等時間平均【平日】	2 時間 4 9 分	2 時間 2 7 分	1 時間 5 4 分
時間外在校等時間平均【週休日】	1 時間 2 9 分	1 時間 3 分	1 8 分
部活動指導時間【平日】	1 時間 9 分	5 1 分	1 分
部活動指導時間【週休日】	5 5 分	3 8 分	3 分
時間外在校等時間【平日計】	5 7 時間 5 7 分	5 0 時間 1 2 分	3 9 時間 1 1 分
時間外在校等時間【週休日計】	1 2 時間 5 分	8 時間 3 9 分	2 時間 3 0 分
時間外在校等時間【4 週計】	7 0 時間 2 分	5 8 時間 5 1 分	<u>4 1 時間 4 1 分</u>

(6) 負担軽減に効果があると思う取組について

○本調査は、働き方改革の取組の内、効果があると思うもの3つを選択して回答してもらった結果をまとめたものである。

○上位5位までの取組について太字下線としてある。

【調査結果の概要】

- ・「行事の精選、運営方法の工夫改善」が働き方改革に有効であると回答している教職員が1289名と他の回答と比較して非常に多くなっている。
- ・「学校全体での出退勤時間の徹底や年休の計画的取得などの取組の実施」「会議や打ち合わせの精選・運営方法の工夫」「教務や担任外との協力体制や事務負担・持ち時数の見直し」「スクール・サポート・スタッフの導入」については、有効と回答した教職員が約800名となっている。

表 B6 負担軽減に効果があると思う取組

質問：働き方改革の取組のうち、負担軽減に効果があると思うものを3つ選んでください。

働き方改革の取組	回答数
① <u>学校全体での出退勤時間の徹底や年休の計画的取得などの取組の実施</u>	<u>799</u>
② <u>行事の精選、運営方法の工夫改善</u>	<u>1289</u>
③ 業務改善に係る会議の実施	214
④ 校内研修等研修の精選・運営方法の工夫	644
⑤ <u>会議や打ち合わせの精選・運営方法の工夫</u>	<u>794</u>
⑥ 校務支援システムの導入・活用	537
⑦ 学年だよりや通知表見直しなど事務に関する取組の工夫・改善	710
⑧ <u>教務や担任外との協力体制や事務負担・持ち時数の見直し</u>	<u>796</u>
⑨ 留守番電話の導入	572
⑩ 地域行事や登校指導など時間外業務の精選・工夫	401
⑪ 部活動の制限（休養日の設定など）	577
⑫ <u>スクール・サポート・スタッフの導入</u>	<u>798</u>
⑬ その他	349

(7) 仕事に対する今の心理状況について

○本調査結果は教職員の仕事に対する今の心理状況について4段階で回答してもらった結果をまとめたものである。

○①～④の回答をした教職員の時間外在校等時間の平均についても下段にまとめ、それぞれの群に所属する教職員の勤務状況と比較できるようにした。

【調査結果の概要】

- 他の回答と比較すると「朝、目が覚めると、さあ仕事へ行こうという気持ちになる」の回答については否定的な回答（③22.4%、④9.8%）が多くなっている。また、否定的な回答をした群の時間外在校等時間の平均を見ると肯定的な回答をした群より長くなっている。
- 「自分の仕事に誇りを感じる」「仕事に楽しさややりがいを感じる」については肯定的な回答が90%を超えている。「自分の仕事に誇りを感じる」に否定的な回答群については、比較的、時間外在校等時間が長い傾向にある。
- 「仕事は私に活力を与えてくれる」については、肯定的な回答が約80%と高いものの、否定的な回答もやや多く、否定的な回答群の勤務時間はやや長い傾向にある。
- 「仕事等について同僚や管理職に相談しやすい」については、肯定的な回答が約85%と高い傾向にあるものの、否定的な回答も一定数存在する。

表 B7 仕事に対する今の心理状況について

個数 パーセント 集団の時間外在校等時間平均	①	②	③	④	無回答
朝、目が覚めると、さあ仕事へ行こうという気持ちになる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	805 (25.9%) 2 : 23	1295 (41.7%) 2 : 28	696 (22.4%) 2 : 36	304 (9.8%) 2 : 44	8 (0.3%)
自分の仕事に誇りを感じる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	1208 (38.9%) 2 : 32	1599 (51.4%) 2 : 28	237 (7.6%) 2 : 36	56 (1.8%) 2 : 38	8 (0.3%)
仕事に楽しさややりがいを感じる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	1163 (37.4%) 2 : 34	1717 (55.2%) 2 : 27	176 (5.7%) 2 : 35	44 (1.4%) 2 : 09	8 (0.3%)
仕事は私に活力を与えてくれる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	736 (23.7%) 2 : 27	1704 (54.8%) 2 : 30	505 (16.3%) 2 : 34	155 (5.0%) 2 : 37	8 (0.3%)
仕事等について同僚や管理職に相談しやすい ①しやすい ②どちらかといえばしやすい ③どちらかといえばしにくい ④しにくい	1329 (42.8%) 2 : 30	1361 (43.8%) 2 : 31	307 (9.9%) 2 : 26	103 (3.3%) 2 : 24	8 (0.3%)

3 調査C

本調査は、児童生徒数や学級数などの基本情報及び働き方改革への取組状況などについて学校長に回答を求めたものである。

(1)基礎データ

①児童生徒数

【概要】

- ・小学校においては、699以下の学校が、6～10校の間となっている。
- ・中学校については99名以下の学校や600名以上の学校がやや少ない。

図 C1-1 小学校の児童数の分布

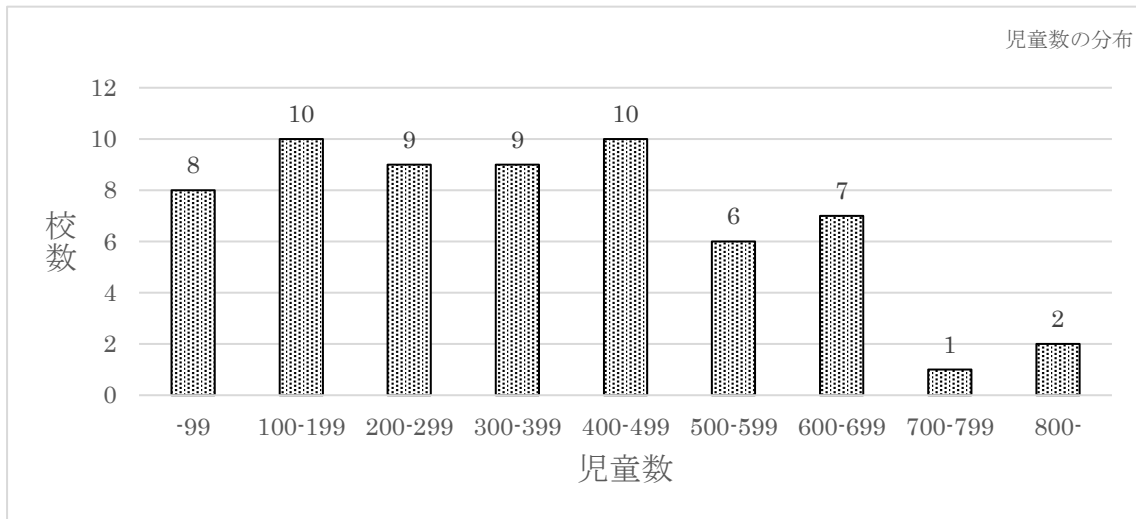
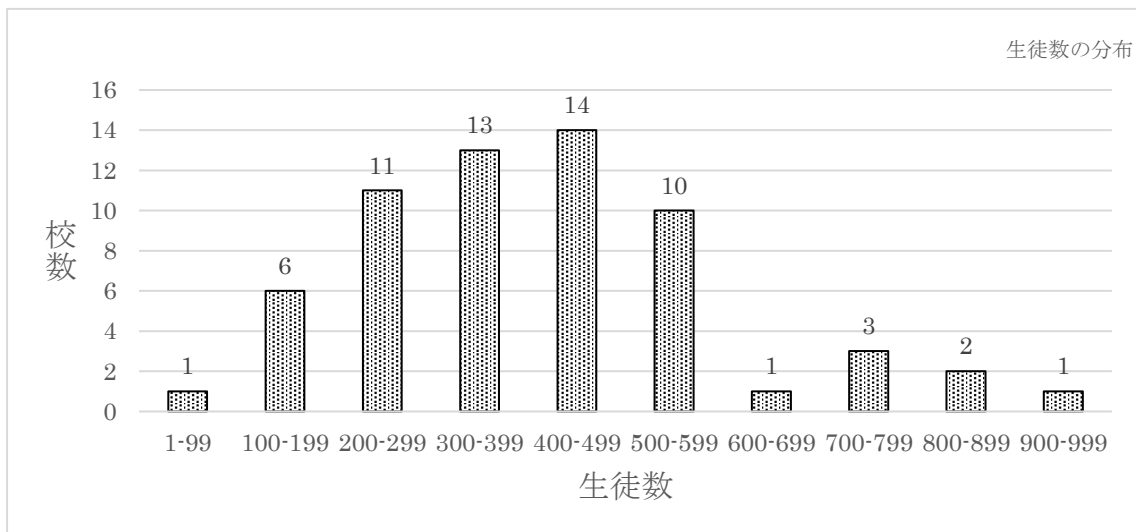


図 C1-2 中学校の生徒数の分布

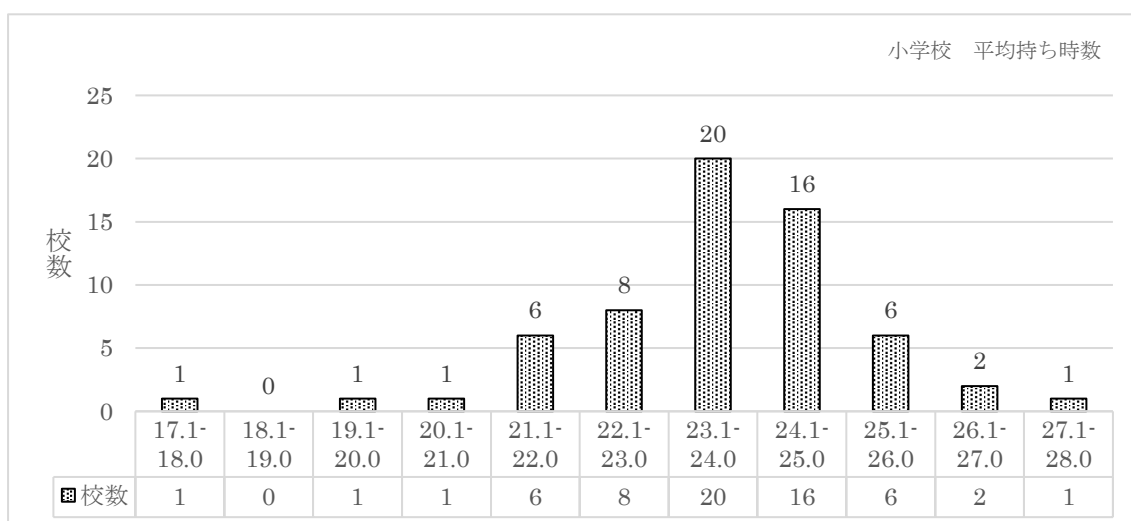


②平均持ち時数（単位時間）

【概要】

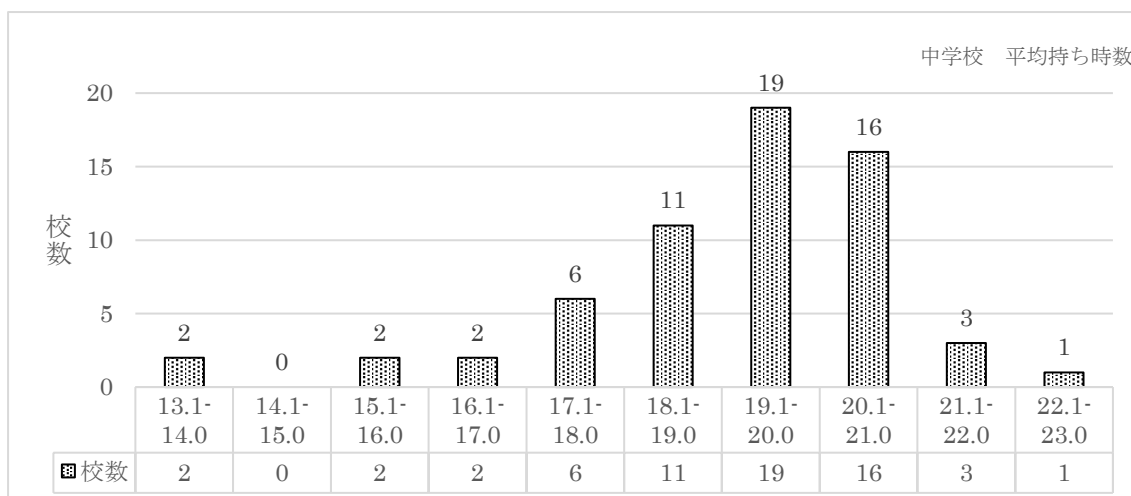
- 小学校においては、23.1～25.0 時間が半数以上を占めるが、25.1 時間以上の学校も 9 校存在する。
- 中学校においては 18.1～21.0 時間が 70%以上を占める。最高でも 22.1～23.0 時間となっている。
- 中学校と比較して小学校の方が、持ち時数が多く、3～4 時間程度多くなっている。

図 C1-3 小学校における平均持ち時数



※小学校教諭等の平均・・・24.3 時間（単位時間）

図 C1-4 中学校における平均持ち時数



※中学校教諭等の平均・・・19.5 時間（単位時間）

③その他

その他、児童生徒数が35人以下の割合や学校運営協議会設置の割合など、学校の基本情報についての調査結果を示す。

図 C1-5 通常学級の1クラスの児童生徒数が35人以下の割合

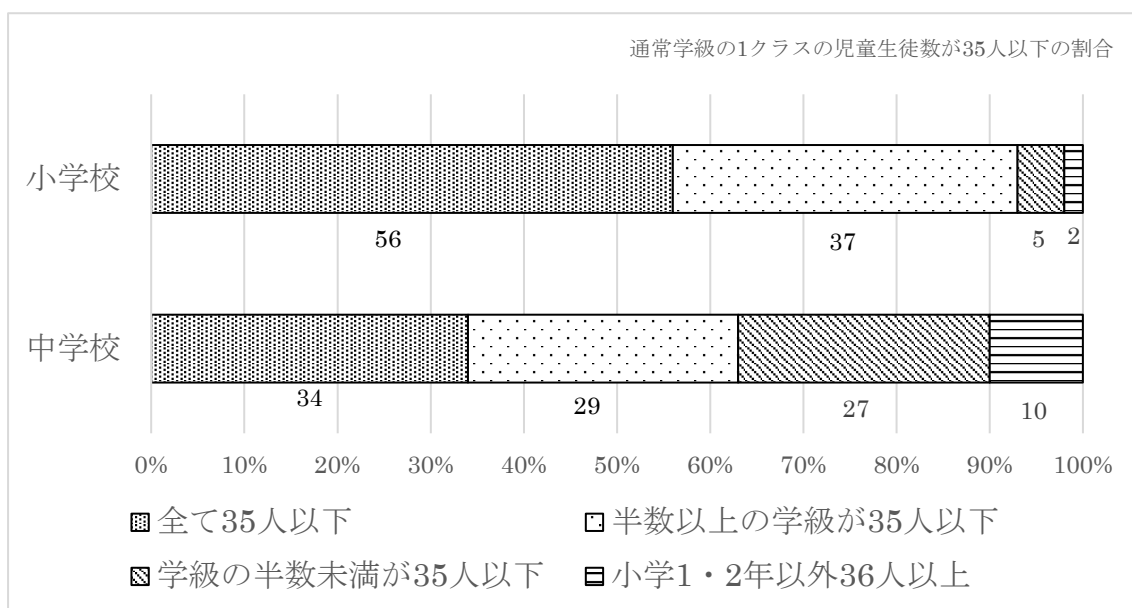


図 C1-6 学校運営協議会の設置割合

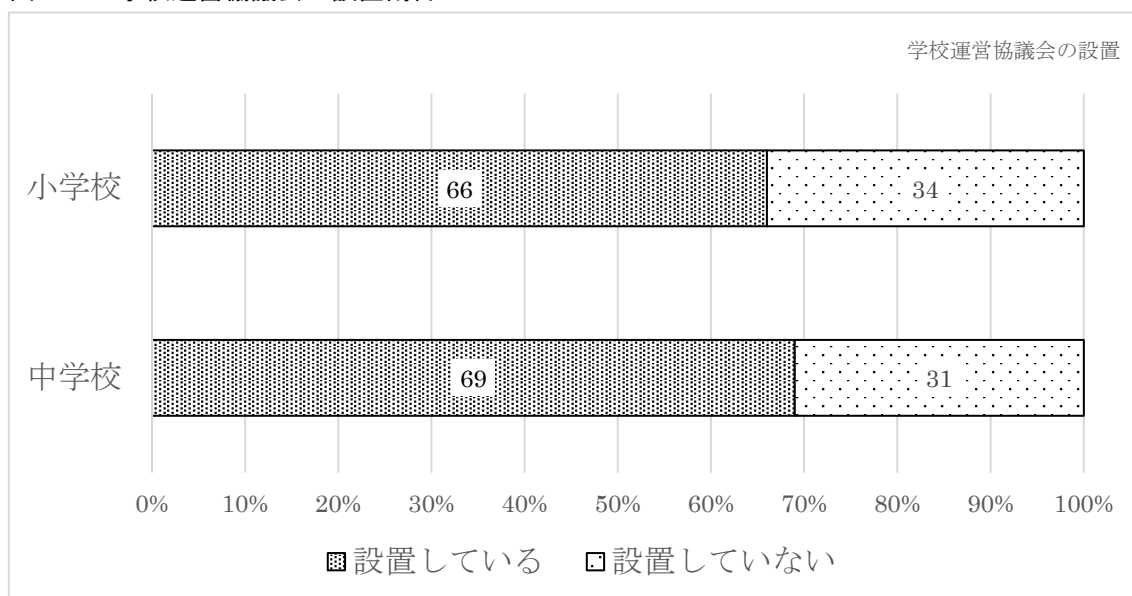


図 C1-7 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の導入割合

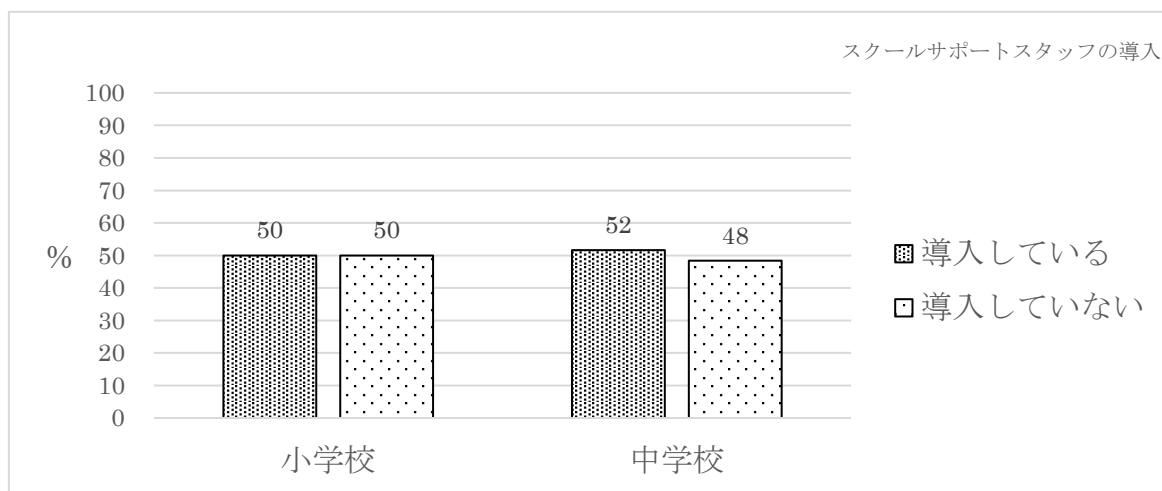


図 C1-8 障害者会計年度任用職員の配置割合

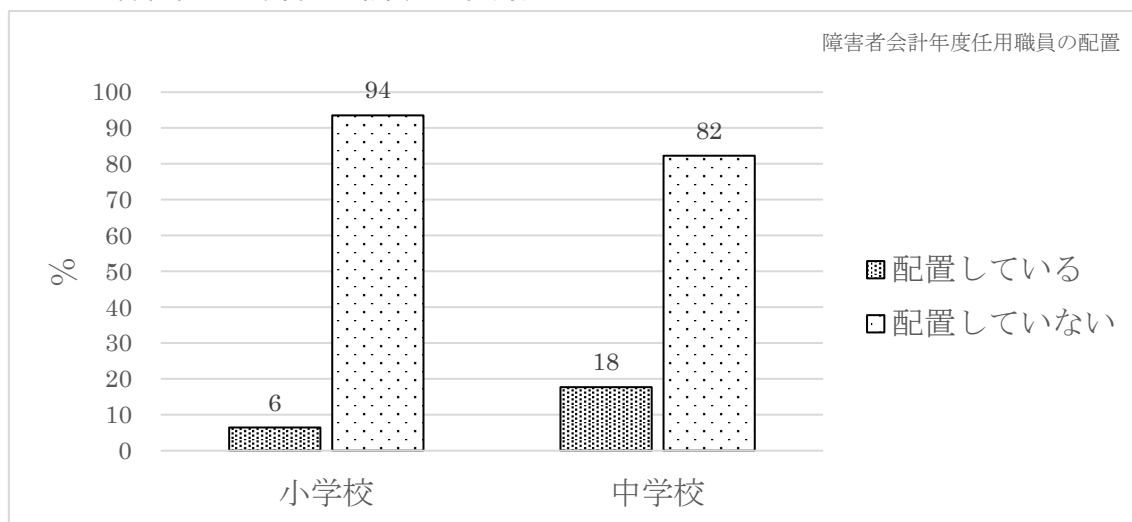


図 C1-9 中学校における部活動の朝練習の時間

朝練習の時間	学校数
朝練習なし(0分)	11校
30分未満	4校
30分	39校
35分以上(※)	8校

※31～34分に該当する学校はなかったため、「35分以上」とした。

(2)働き方改革に関する取組状況

○調査Cにおける働き方改革に関する各学校の取組状況調査の結果、表C2-1、表C2-2に示す通りとなった。

表 C2-1 【小学校】働き方改革に関する取組状況(抽出 62 校)

No.	質問及び回答選択肢	①	②	③	④
1	客観的方法での在校等時間把握をどのように行っていますか ①タイムカード・ICカード ②校務支援システムを利用 ③Excel等ソフトを利用 ④その他	52	5	5	0
2	長時間勤務者に対し、管理職が在校等時間の短縮について働き掛けを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	36	25	1	0
3	長時間勤務者に対し、教職員同士で在校等時間の短縮について声を掛け合っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	17	30	13	2
4	長時間勤務者について、産業医との面談を実施していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	3	5	7	47
5	ノー残業デー、ふれあいデーを徹底して実施していますか ①時間を決め、徹底して実施 ②可能な範囲で実施 ③どちらかといえば徹底されていない ④徹底していない	20	40	2	0
6	普段から退勤時間の目標設定、徹底などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	11	36	13	2
7	年休の計画的な取得について取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	10	38	13	1
8	衛生推進者などを活用して、業務改善を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない・設置していない	3	28	16	15
9	働き方改革のため、行事の精選や運営方法の工夫・改善などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	28	32	2	0
10	業務改善に係る会議(いわゆるカエル会議)を実施していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	12	16	18	16
11	給食および学級・学年費を銀行口座への振り込み等に行っていますか ①両方とも行っている ②給食費のみ行っている ③学級・学年費のみ行っている ④行っていない	19	30	0	13
12	校内研修等の研修の精選や運営方法の工夫・改善などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	18	44	0	0
13	日課表の見直しを行い、教材研究や事務処理の時間等を確保していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	27	32	3	0
14	出張回数の見直しや偏りの解消など出張等に関する取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	15	39	7	1
15	職員会議等について運営方法を工夫するなどして効率化を図っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	30	32	0	0
16	校務支援システムを導入・活用し、負担軽減を図っていますか ①よく活用している ②どちらかといえば活用している ③どちらかといえば活用していない ④導入・活用していない	31	12	1	18
17	学年だよりや通知表の見直しなど、学年・学級事務に関する取組の工夫・改善を行っている ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	27	33	1	1
18	持ち時数の見直しを行うなど、指導体制の工夫・改善を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	26	33	3	0
19	教務や担任外等と協力した担任の負担軽減の取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	33	29	0	0
20	(小学校のみ)教科担任制や交換授業などを導入していますか ①全学年で導入している ②高学年のみで導入 ③中・高学年で導入 ④導入していない ⑤中学校	6	14	32	9
21	学校運営協議会を設置し、教職員の働き方改革について話し合いを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	6	26	8	22
22	勤務時間外の電話対応について留守番電話を導入し、活用していますか ①よく活用している ②どちらかといえば活用している ③どちらかといえば活用していない ④導入・活用していない	25	2	1	34
23	地域の行事等への教職員の参加について、負担軽減のための精選や工夫を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	22	31	6	3
24	登校時の児童生徒の見守り活動等についてどのような体制で行っていますか ①地域等に任せている ②地域等と教職員が一緒に行っている ③教職員のみが行っている ④行っていない	10	52	0	0
25	学校応援団等による学習補助や環境整備などを実施し、教職員の負担軽減を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	11	30	19	2
26	PTA活動への教職員の参加について、負担軽減のための精選や工夫を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	14	38	10	0

表 G2-2 【中学校】働き方改革に関する取組状況(抽出 62 校)

No.	質問及び回答選択肢	①	②	③	④
1	客観的方法での在校等時間把握をどのように行っていますか ①タイムカード・ICカード ②校務支援システムを利用 ③Excel等ソフトを利用 ④その他	52	6	4	0
2	長時間勤務者に対し、管理職が在校等時間の短縮について働き掛けを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	36	26	0	0
3	長時間勤務者に対し、教職員同士で在校等時間の短縮について声を掛け合っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	11	37	13	1
4	長時間勤務者について、産業医との面談を実施していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	4	8	5	45
5	ノー残業デー、ふれあいデーを徹底して実施していますか ①時間を決め、徹底して実施 ②可能な範囲で実施 ③どちらかといえば徹底されていない ④徹底していない	14	44	3	1
6	普段から退勤時間の目標設定、徹底などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	6	33	21	2
7	年休の計画的な取得について取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	5	44	12	1
8	衛生推進者などを活用して、業務改善を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない・設置していない	6	31	20	5
9	働き方改革のため、行事の精選や運営方法の工夫・改善などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	28	31	3	0
10	業務改善に係る会議(いわゆるカエル会議)を実施していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	10	20	24	8
11	給食および学級・学年費を銀行口座への振り込み等に行っていますか ①両方とも行っている ②給食費のみ行っている ③学級・学年費のみ行っている ④行っていない	48	9	1	4
12	校内研修等の研修の精選や運営方法の工夫・改善などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	35	27	0	0
13	日課表の見直しを行い、教材研究や事務処理の時間等を確保していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	20	33	6	3
14	出張回数の見直しや偏りの解消など出張等に関する取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	13	45	4	0
15	職員会議等について運営方法を工夫するなどして効率化を図っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	43	19	0	0
16	校務支援システムを導入・活用し、負担軽減を図っていますか ①よく活用している ②どちらかといえば活用している ③どちらかといえば活用していない ④導入・活用していない	31	13	0	18
17	学年だよりや通知表の見直しなど、学年・学級事務に関する取組の工夫・改善を行っている ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	27	30	5	0
18	持ち時数の見直しを行うなど、指導体制の工夫・改善を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	22	31	8	1
19	教務や担任外等と協力した担任の負担軽減の取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	31	28	3	0
20	(中学校のみ)部活動補助員や外部指導者を導入し、教員の負担軽減を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない ⑤小学校	14	31	13	4
21	学校運営協議会を設置し、教職員の働き方改革について話し合いを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	7	30	5	20
22	勤務時間外の電話対応について留守番電話を導入し、活用していますか ①よく活用している ②どちらかといえば活用している ③どちらかといえば活用していない ④導入・活用していない	21	3	2	36
23	地域の行事等への教職員の参加について、負担軽減のための精選や工夫を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	19	37	4	2
24	登校時の児童生徒の見守り活動等についてどのような体制で行っていますか ①地域等に任せている ②地域等と教職員が一緒に行っている ③教職員のみが行っている ④行っていない	5	43	10	4
25	学校応援団等による学習補助や環境整備などを実施し、教職員の負担軽減を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	6	29	15	12
26	PTA活動への教職員の参加について、負担軽減のための精選や工夫を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	22	35	5	0

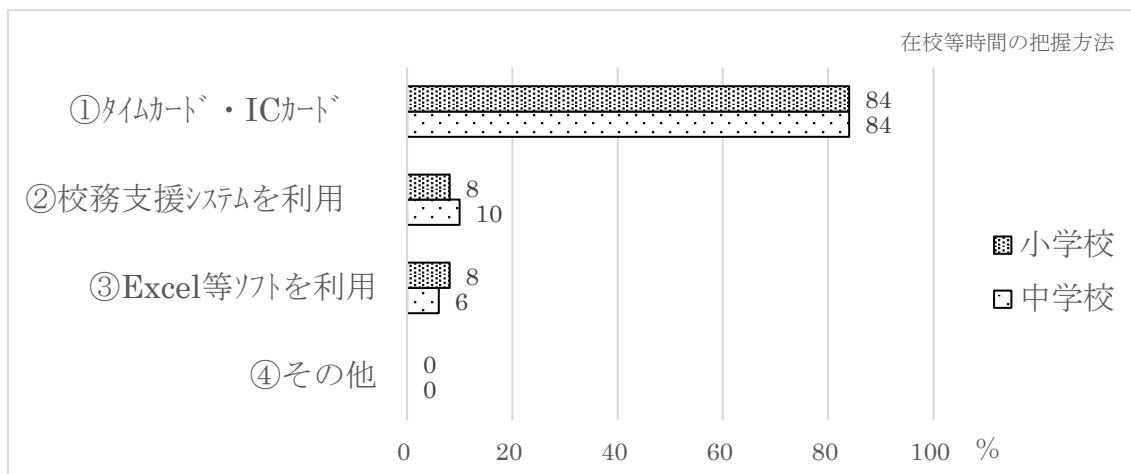
なお、それぞれの項目についての調査結果の概要については、以下の①～⑳に示すこととする。

①各学校における在校等時間の把握方法について

【調査結果の概要】

- ・小学校、中学校ともに、すべての学校で客観的な方法によって在校等時間を把握しており、ほとんどの学校がタイムカード・ICカードを活用している。

図 C2-3 在校等時間の把握方法の割合

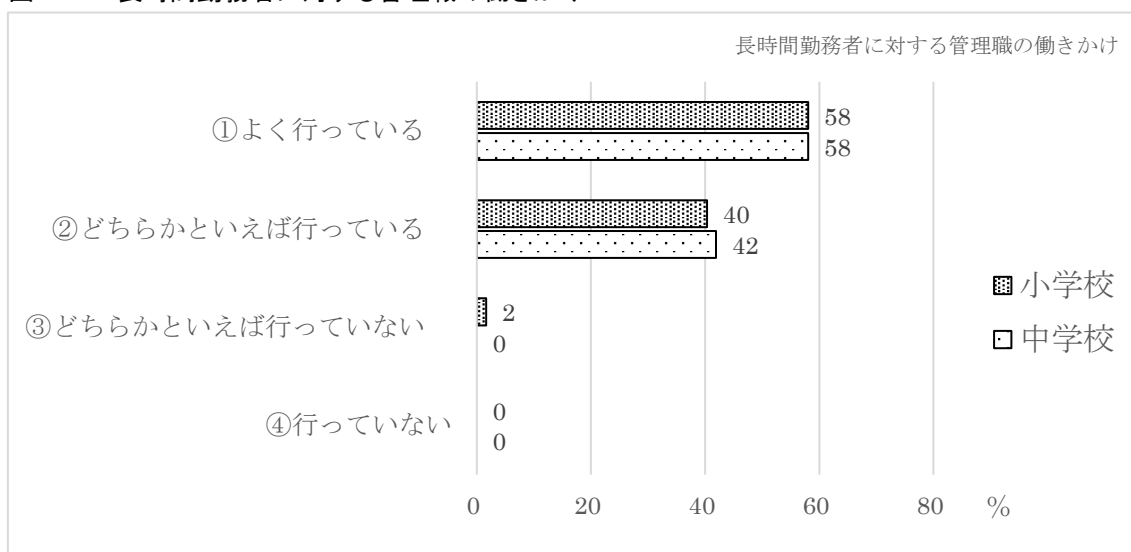


②長時間勤務者に対する管理職の働きかけについて

【結果の概要】

- ・小学校、中学校ともに、ほとんどの学校において管理職による長時間勤務者へ勤務時間縮減に向けた働きかけが行われている。

図 C2-4 長時間勤務者に対する管理職の働きかけ

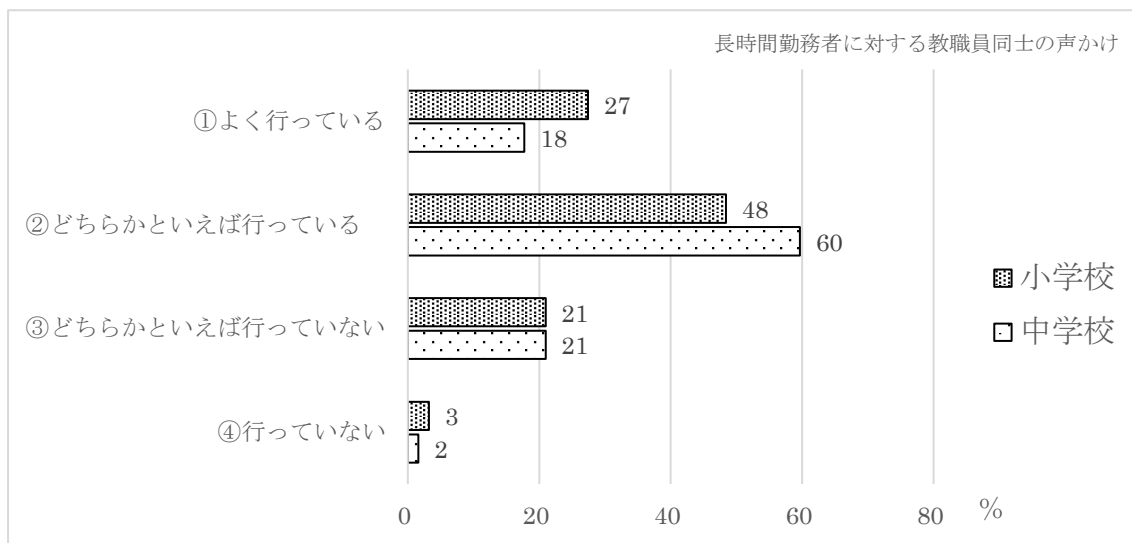


③長時間勤務者に対する教職員同士の声かけについて

【調査結果の概要】

- 教職員同士での声かけについては、行っているとの回答が多いものの、小学校で24%、中学校で23%の学校が「どちらかといえば行っていない」「行っていない」と回答している。

図 C2-5 長時間勤務者に対する教職員同士の声かけ

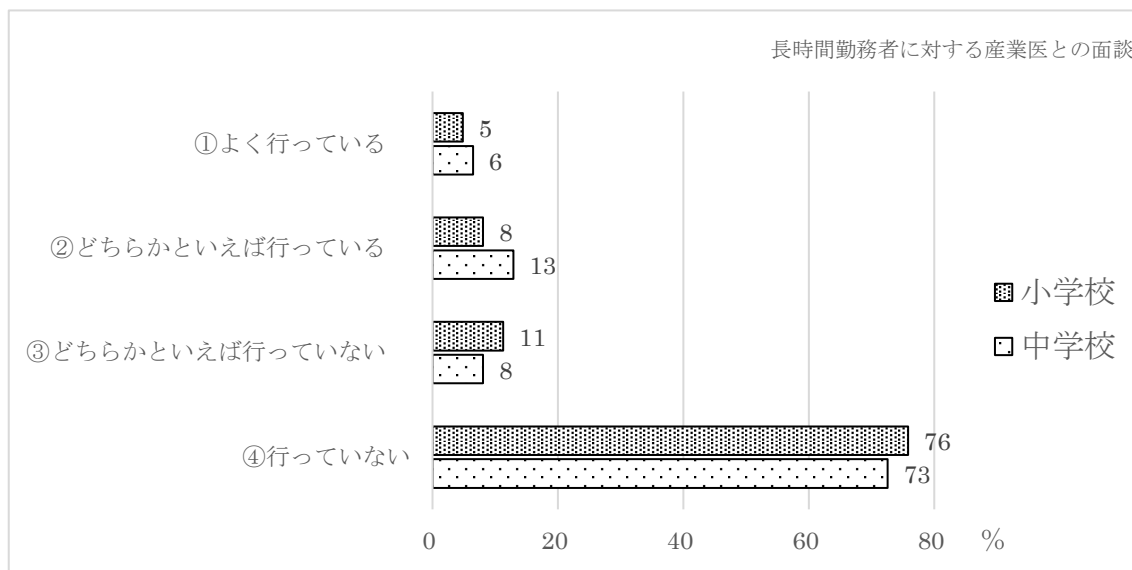


④長時間勤務者に対する産業医との面談の実施について

【調査の概要】

- 本調査については、長時間勤務者がいない場合、「④行っていない」となるため、④が多くなっている。

図 C2-6 長時間勤務者に対する産業医との面談を行っている割合

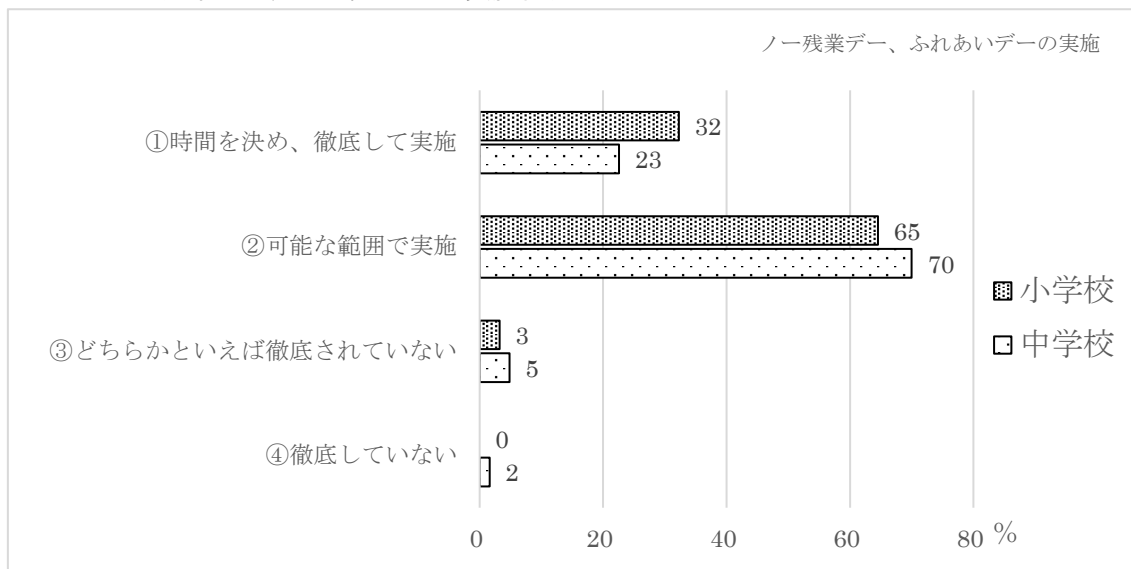


⑤ノー残業デー、ふれあいデーの実施について

【調査結果の概要】

- ・ノー残業デー、ふれあいデーについては、徹底して実施している学校は小学校で32%、中学校で23%となっている。多くの学校で「可能な範囲で実施」となっている。

図 C2-7 ノー残業デー、ふれあいデーの実施状況

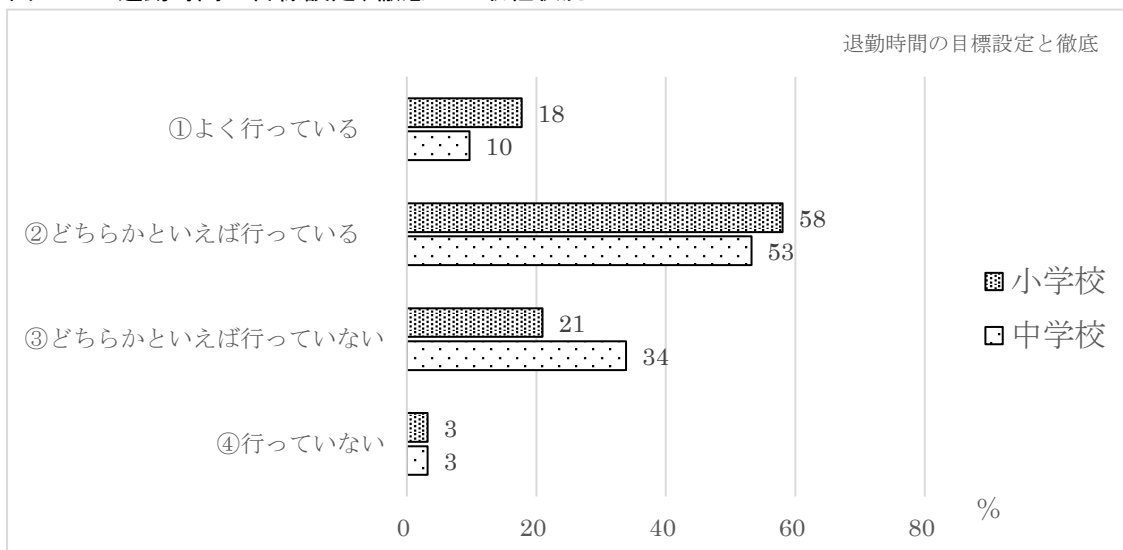


⑥退勤時間の目標設定、徹底の取組について

【調査結果の概要】

- ・退勤時間の目標設定と徹底については、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」が小学校、中学校ともに多いものの、「どちらかといえば行っていない」「行っていない」も合計で、小学校24%、中学校37%となっている。

図 C2-8 退勤時間の目標設定、徹底への取組状況

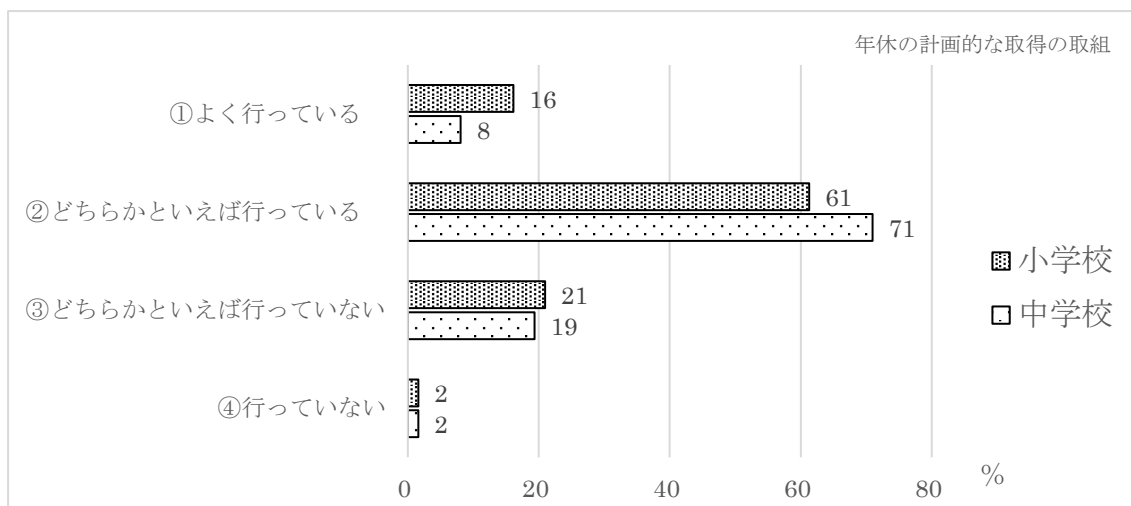


⑦年休の計画的な取得の取組について

【調査結果の概要】

- ・年休の計画的な取得の取組については、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」が小学校、中学校ともに多いものの、「どちらかといえば行っていない」「行っていない」も合計で、小学校 23%、中学校 21%となっている。

図 C2-9 年休の計画的な取得の取組状況

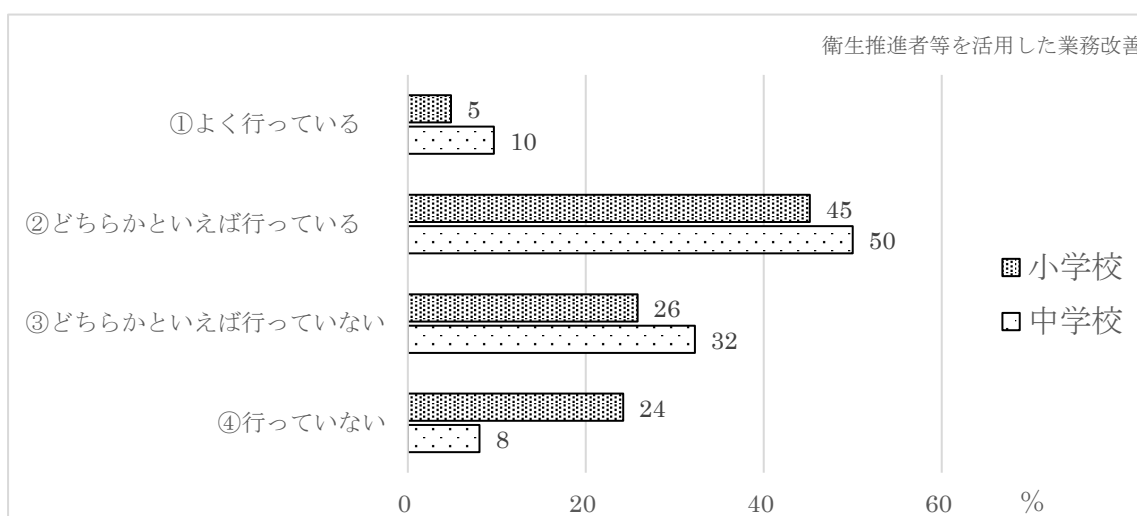


⑧衛生推進者等を活用した業務改善の取組について

【調査結果の概要】

- ・衛生推進者等を活用した業務改善への取組については、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」が合計で、小学校 50%、中学校 60%とやや低い値となっている。また、小学校では「行っていない」も 24%となっている。

図 C2-10 衛生推進者等を活用した業務改善への取組状況

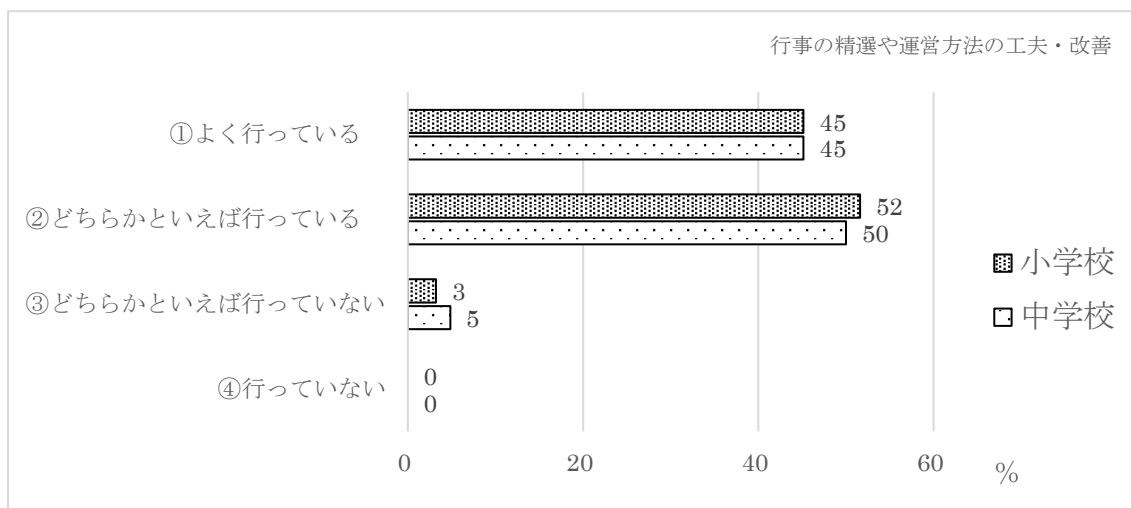


⑨行事の精選や運営方法の工夫・改善の取組について

【調査結果の概要】

- ・小中学校とも、ほとんどの学校で行事の精選や運営方法の工夫・改善が行われているものの、「よく行っている」と回答した学校は45%にとどまっている。

図 C2-11 行事の精選や運営方法の工夫・改善の取組状況

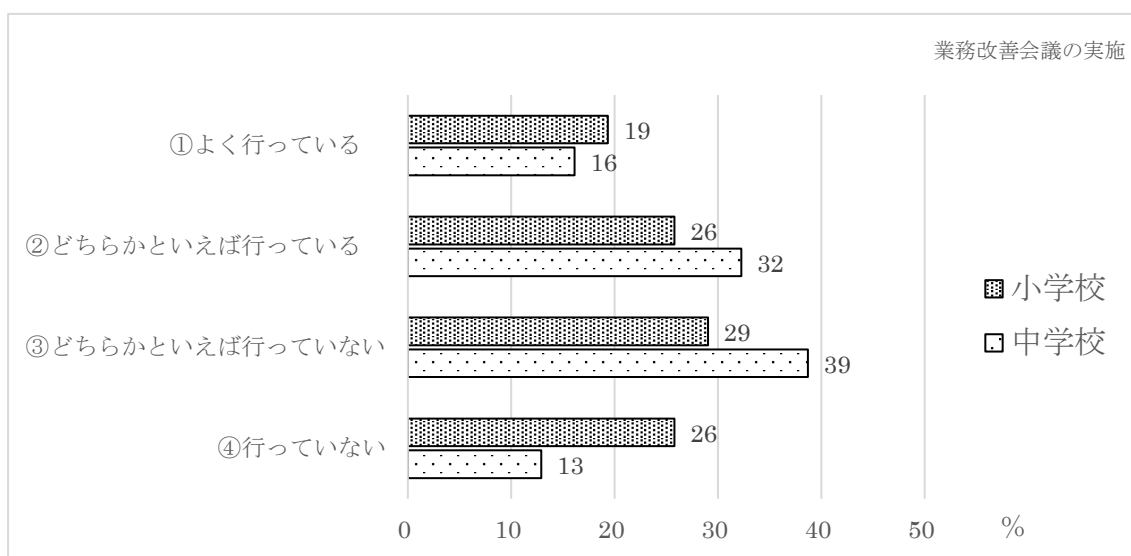


⑩業務改善に係る会議の実施について

【調査結果の概要】

- ・小学校で55%、中学校で52%の学校で業務改善に係る会議が実施されていない。「よく行っている」については小学校で19%、中学校で16%にとどまっている。

図 C2-12 業務改善に係る会議の実施状況

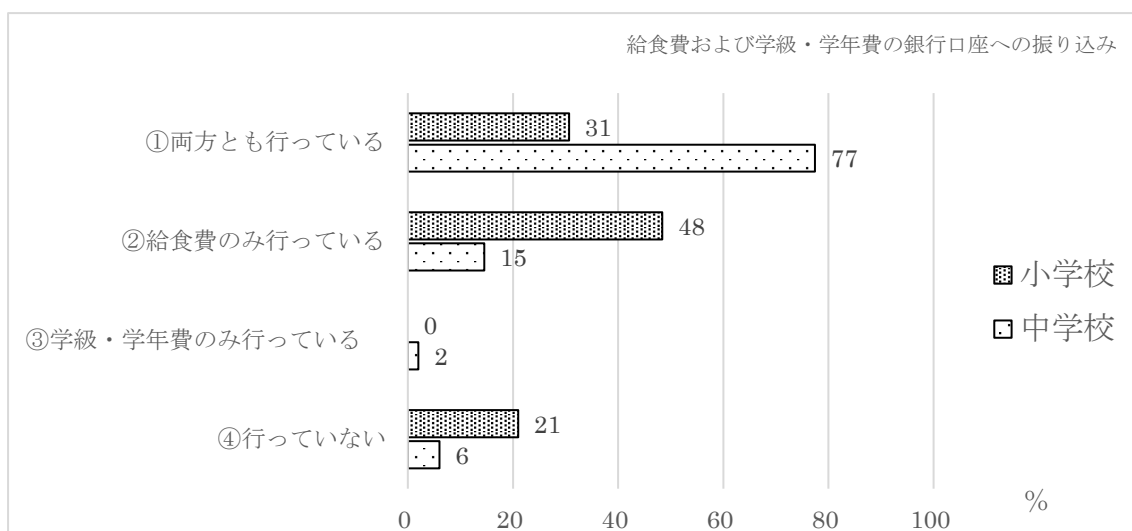


⑪給食費および学級・学年費の銀行口座への振り込みについて

【調査結果の概要】

- 給食費、学級・学年費の両方とも銀行振り込みを行っていない学校は小学校で21%、中学校で6%となっている。中学校では77%の学校が両方とも銀行口座への振り込みとしている。

図 C2-13 給食費および学級・学年費の銀行口座への振り込みの割合

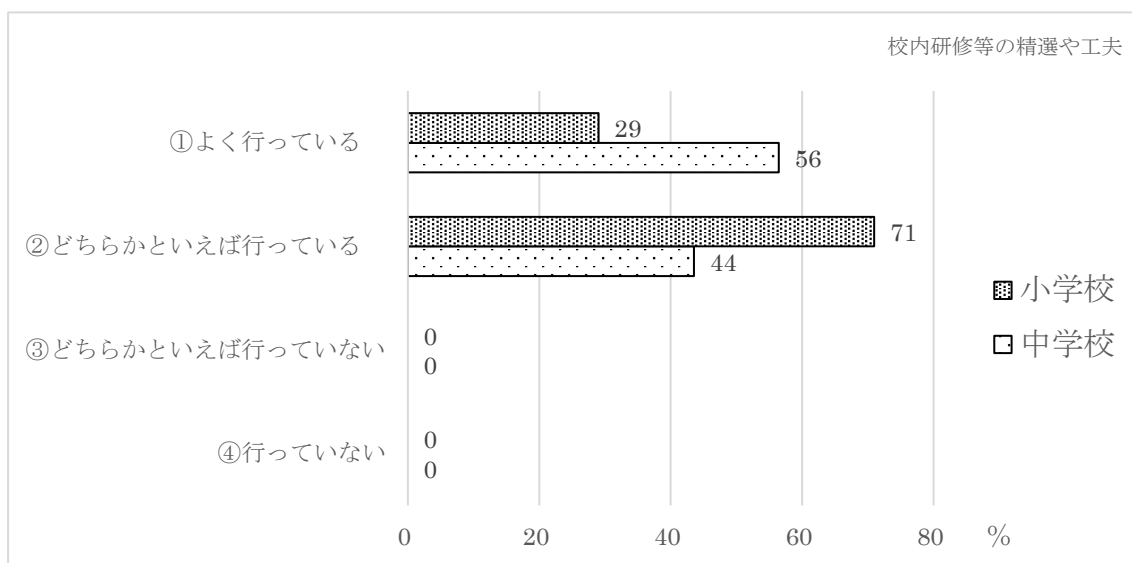


⑫校内研修等の精選や工夫への取組について

【調査結果の概要】

- 校内研修の精選や工夫については、肯定的な回答が100%となっている。小学校では29%、中学校では56%がよく取り組んでいると回答している。

図 C2-14 校内研修等の精選や工夫への取組状況

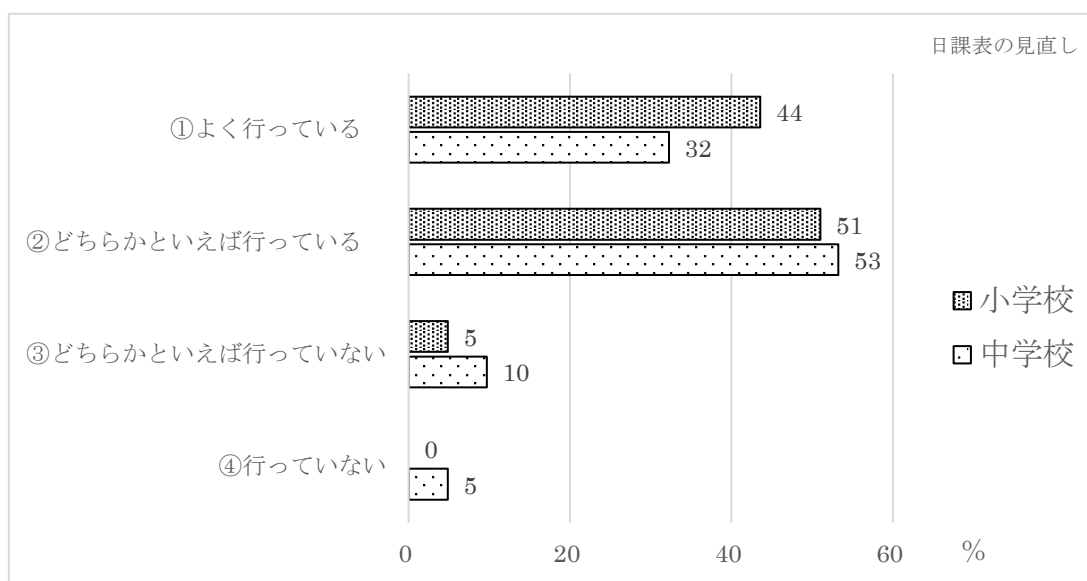


⑬日課表の見直しへの取組状況について

【調査結果の概要】

- ・小学校では95%、中学校では85%で日課表の見直しを行い、教材研究や事務処理の時間の確保に取り組んでいる。特に小学校では44%で「よく行っている」と回答している。

図 C2-15 日課表の見直しへの取組状況

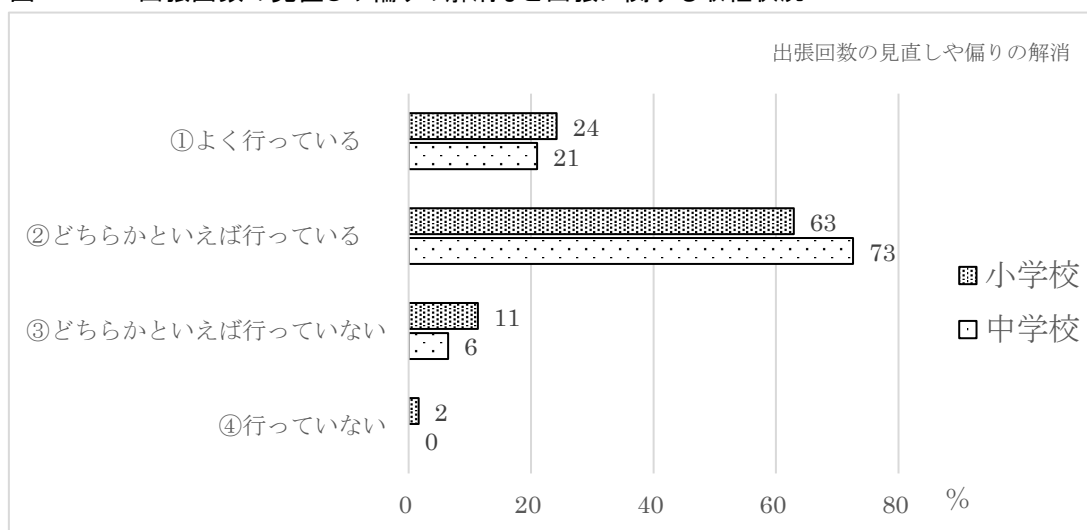


⑭出張回数の見直しや偏りの解消など出張に関する取組について

【調査結果の概要】

- ・小学校、中学校とも85%以上の学校で出張に関する取組を行っているが、「よく行っている」と回答したのは20%程度にとどまっている。

図 C2-16 出張回数の見直しや偏りの解消など出張に関する取組状況

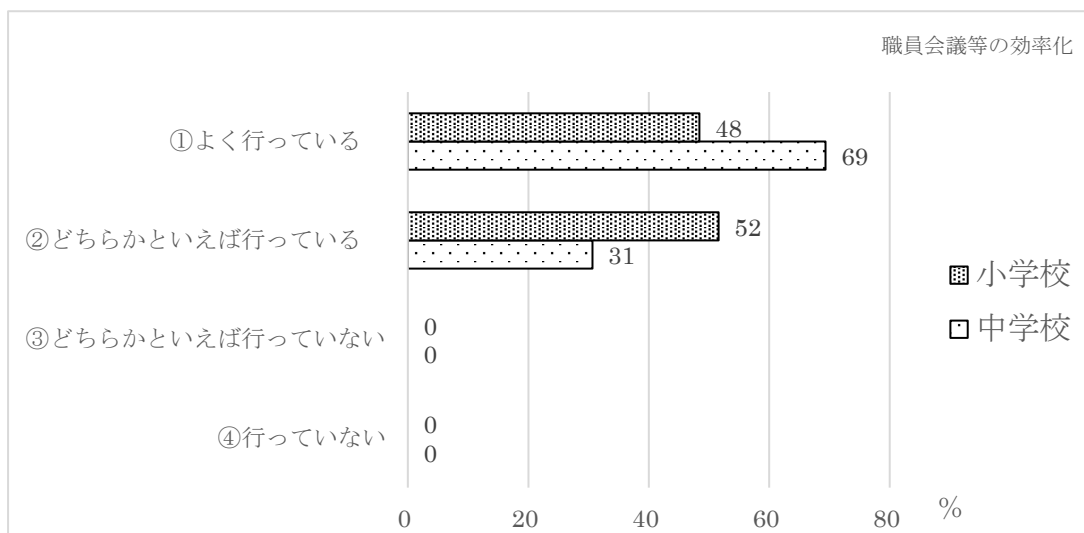


⑮職員会議等の効率化について

【調査結果の概要】

- 職員会議等の効率化については、肯定的な回答が100%と比較的よく取り組んでいる。小学校では48%、中学校では69%がよく取り組んでいると回答しており、非常に高い割合となっている。

図 C2-17 職員会議等の効率化への取組状況

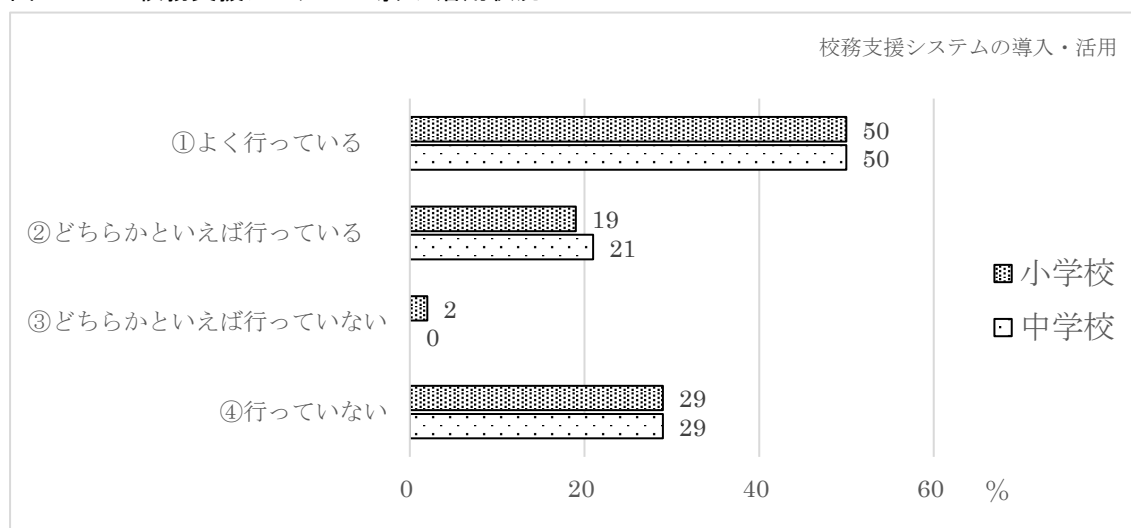


⑯校務支援システムの導入・活用状況について

【調査結果の概要】

- 調査したやく70%の学校において校務支援システムが導入されており、活用について「よく行っている」と回答した学校も小学校、中学校とも50%に達していた。

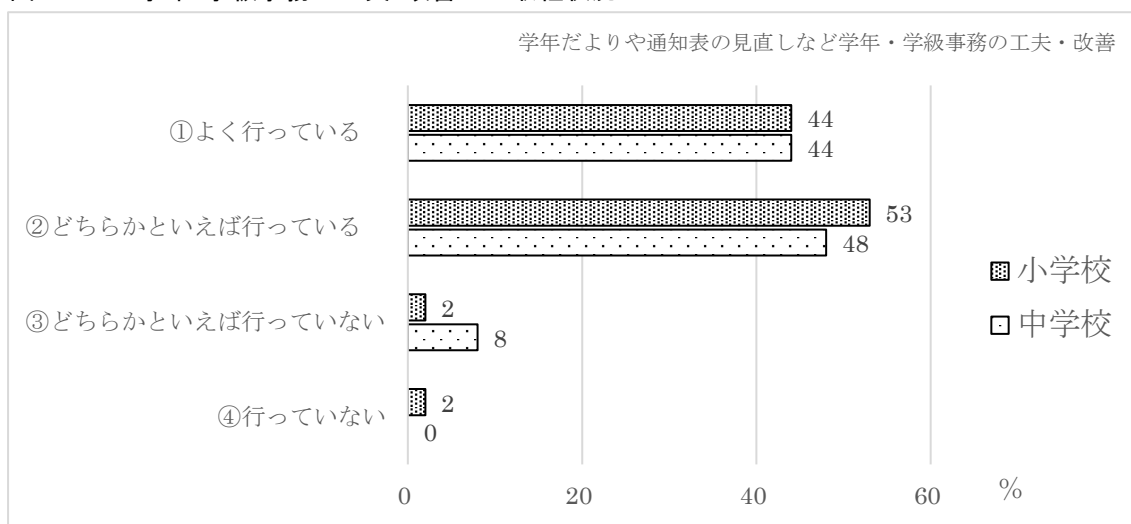
図 C2-18 校務支援システムの導入・活用状況



⑰学年だよりや通知表の見直しなど学年・学級事務の工夫・改善について
【調査結果の概要】

- ・調査した学校の内、90%以上の学校において、学年だよりや通知表の見直しについての取組を行っていた。また、小学校、中学校とも44%の学校で「よく行っている」と回答していた。

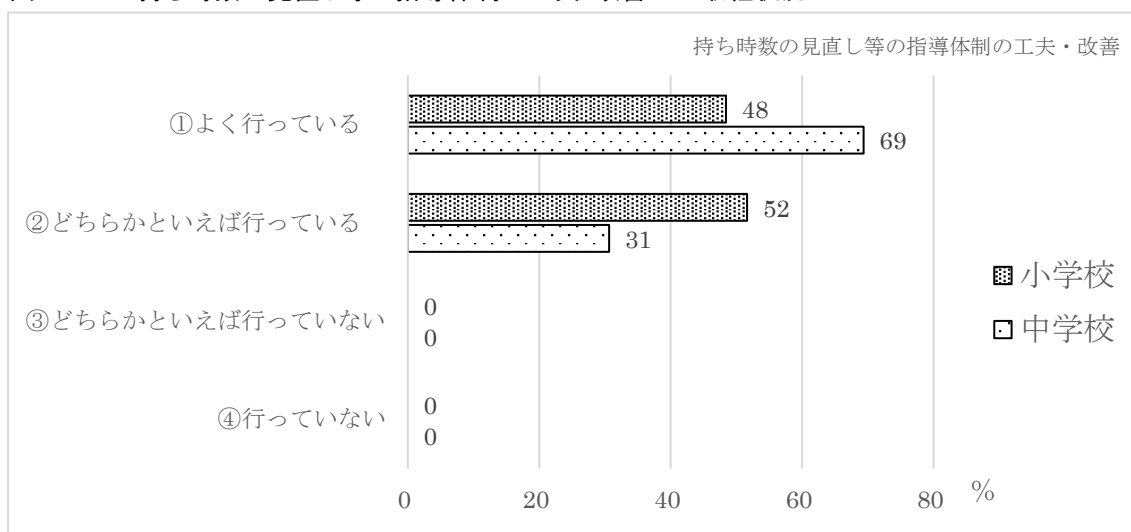
図 C2-19 学年・学級事務の工夫・改善への取組状況



⑱持ち時数の見直し等の指導体制の工夫・改善について
【調査結果の概要】

- ・調査したすべての学校において、指導体制の工夫・改善について肯定的な回答となっていた。特に中学校においては「よく行っている」と回答した学校が69%に達していた。

図 C2-20 持ち時数の見直し等の指導体制の工夫・改善への取組状況

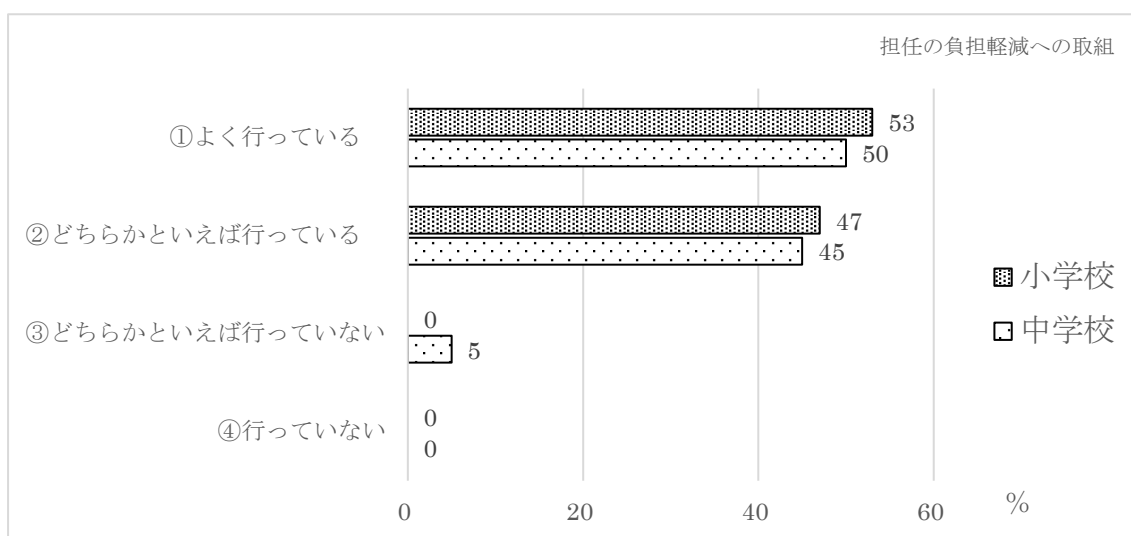


⑱担任の負担軽減への取組について

【調査結果の概要】

- ・教務や担任外等と協力した担任の負担軽減の取組を「行っている」「どちらかといえば行っている」と回答した学校は小学校で 100%、中学校で 95%となっていた。また、小学校、中学校ともに「よく行っている」が 50%を超えており、他の項目としてよく取り組まれている状況であった。

図 C2-21 教務や担任外等と協力した担任の負担軽減の取組状況

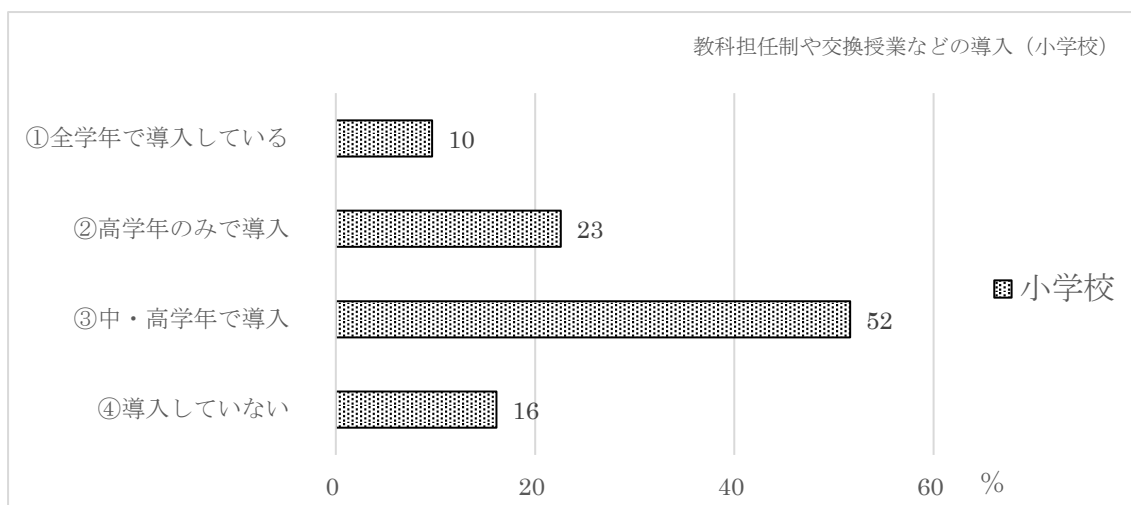


⑳教科担任制や交換授業などの導入状況について（小学校）

【調査結果の概要】

- ・小学校において教科担任制や交換授業などを全学年で導入している学校は全体の 10%で、多くの学校で高学年又は中・高学年のみでの導入となっていた。

図 C2-22 教科担任制や交換授業などの導入状況

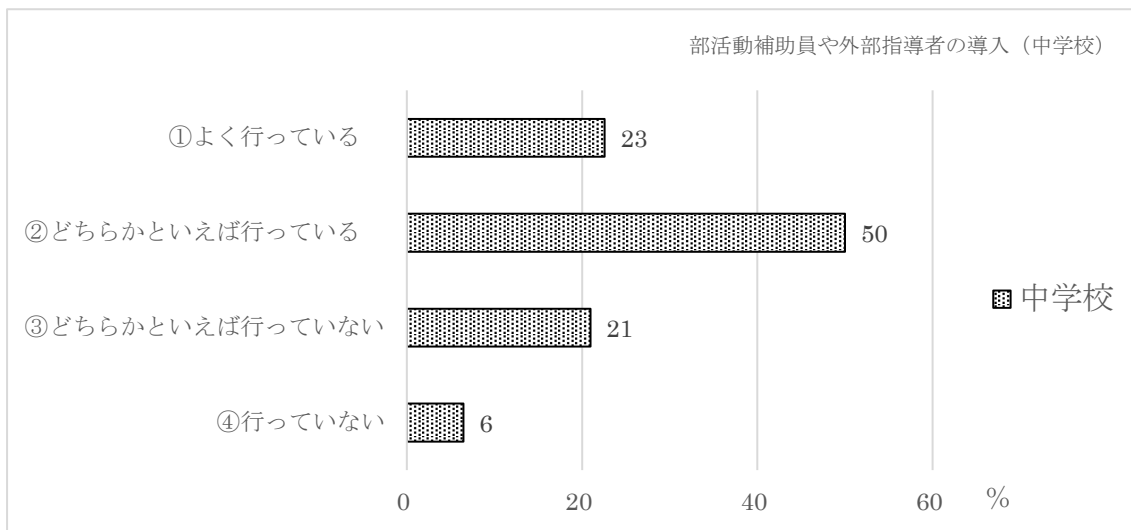


②部活動補助員や外部指導者の導入状況について（中学校）

【調査結果の概要】

- ・中学校における部活動補助員や外部指導者の導入状況については「よく行っている」「どちらかといえば行っている」と回答した学校が73%となっていた。一方、「行っていない」と回答した学校も6%となっている。

図 C2-23 部活動補助員や外部指導者の導入状況

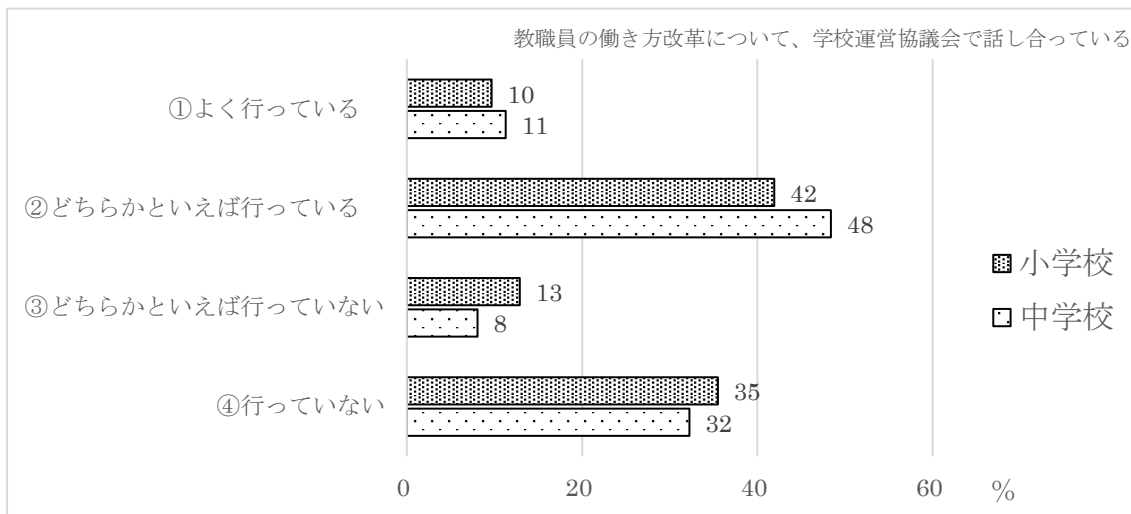


②働き方改革について学校運営協議会で話し合っている割合について

【調査結果の概要】

- ・小学校、中学校ともに50%以上が学校運営協議会で話し合っているという結果であったが、「よく行っている」は10%程度、「行っていない」と回答した学校も30%以上となっている。

図 C2-24 働き方改革について学校運営協議会で話し合っている割合

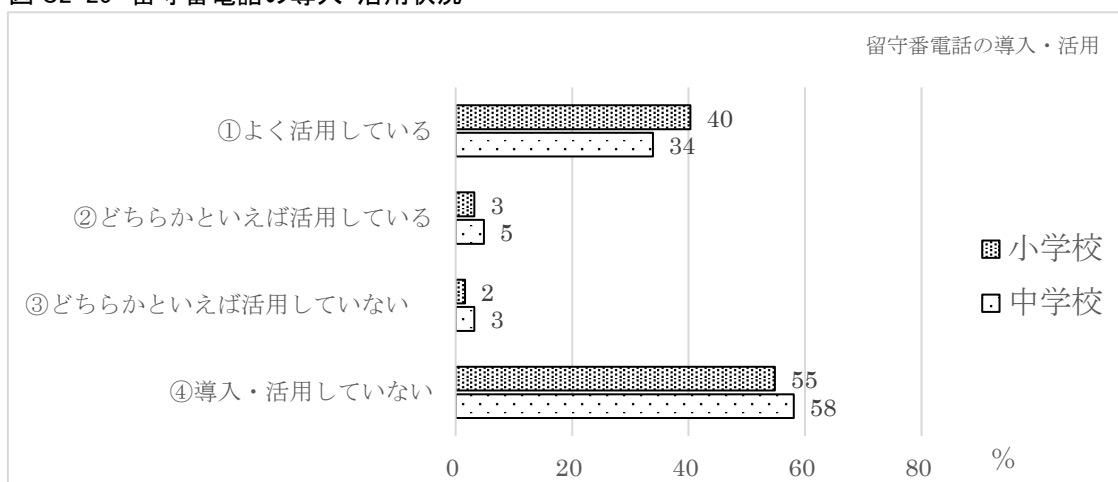


②③留守番電話の導入・活用状況について

【調査結果の概要】

- 留守番電話については小学校、中学校とも半数以上の学校において「導入・活用していない」状況となっている。一方、「どちらかといえば活用している」「どちらかといえば活用していない」の割合が低く、「よく活用している」の割合が高くなっていることから、導入した学校での活用率が非常に高いことがわかる。

図 C2-25 留守番電話の導入・活用状況

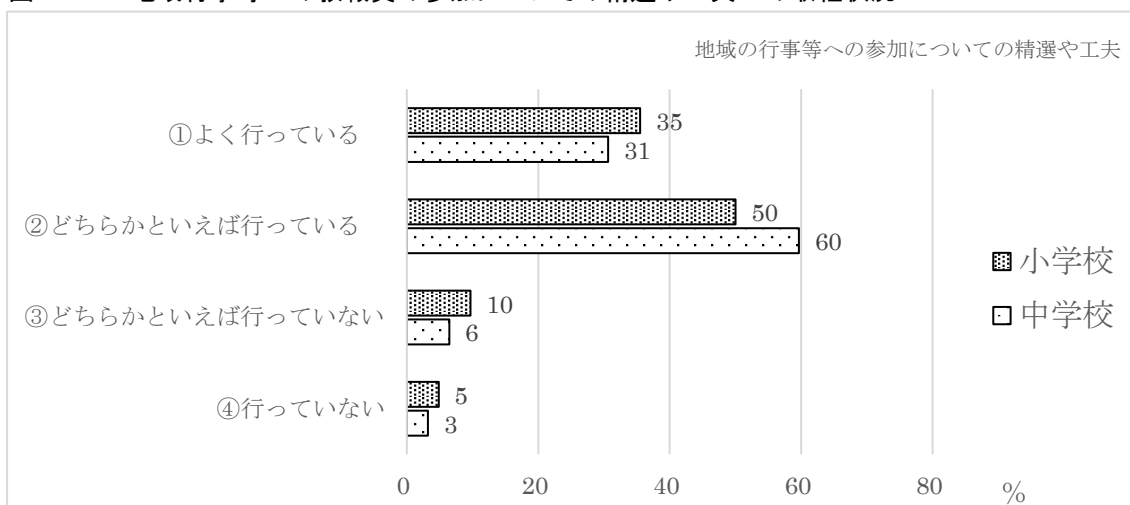


②④地域行事等への教職員の参加についての精選や工夫について

【調査結果の概要】

- 地域行事等への教職員の参加について、負担軽減のため精選や工夫を行っていると回答した学校は小学校で 85%、中学校で 91%となっており、多くの学校で取り組まれていることがわかった。

図 C2-26 地域行事等への教職員の参加についての精選や工夫への取組状況

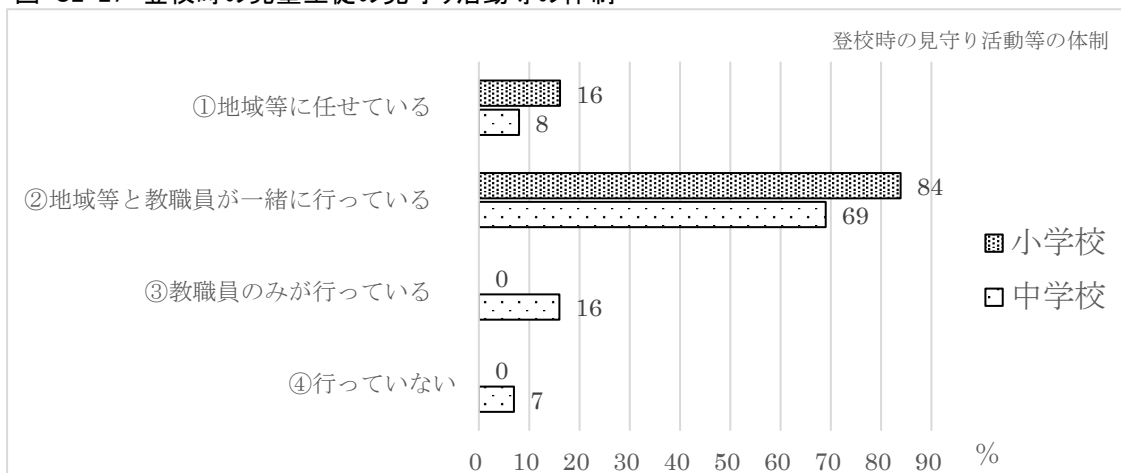


②⑤登校時の児童生徒の見守り活動等の体制について

【調査結果の概要】

- 登校時の児童生徒の見守り活動等の体制について、地域等に完全に任せている学校は小学校で16%、中学校で8%にとどまっている。ほとんどの学校において地域等と教職員が一緒に行っている。また中学校においては、「教職員のみが行っている」学校が16%、「行っていない」学校が7%となっていた。

図 C2-27 登校時の児童生徒の見守り活動等の体制

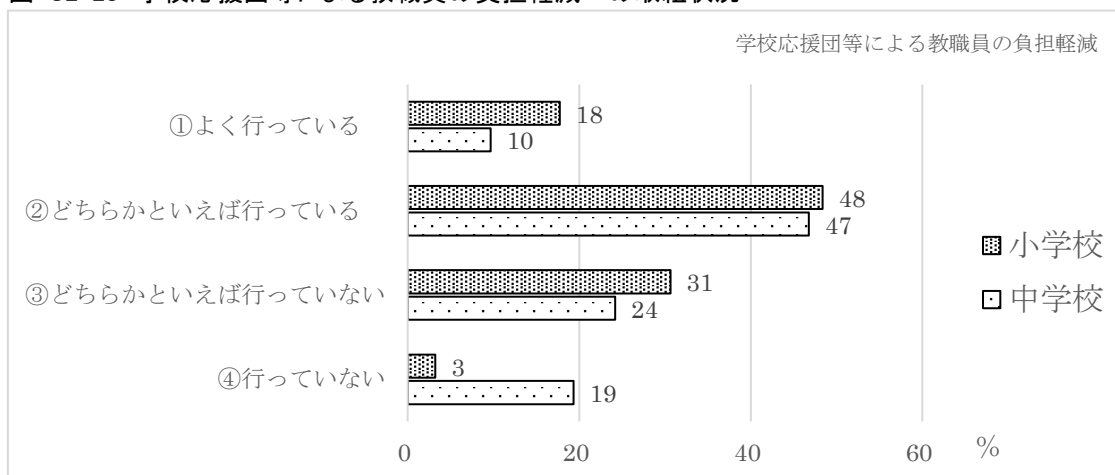


②⑥学校応援団等による教職員の負担軽減について

【調査結果の概要】

- 学校応援団等による学習補助や環境整備などを実施している学校を調査したところ、小学校で63%、中学校で57%が行っていると回答したものの、「よく行っている」は小・中学校とも10%台と低く、「どちらかといえば行っていない」「行っていない」との回答も小学校で34%、中学校で43%となっている。

図 C2-28 学校応援団等による教職員の負担軽減への取組状況

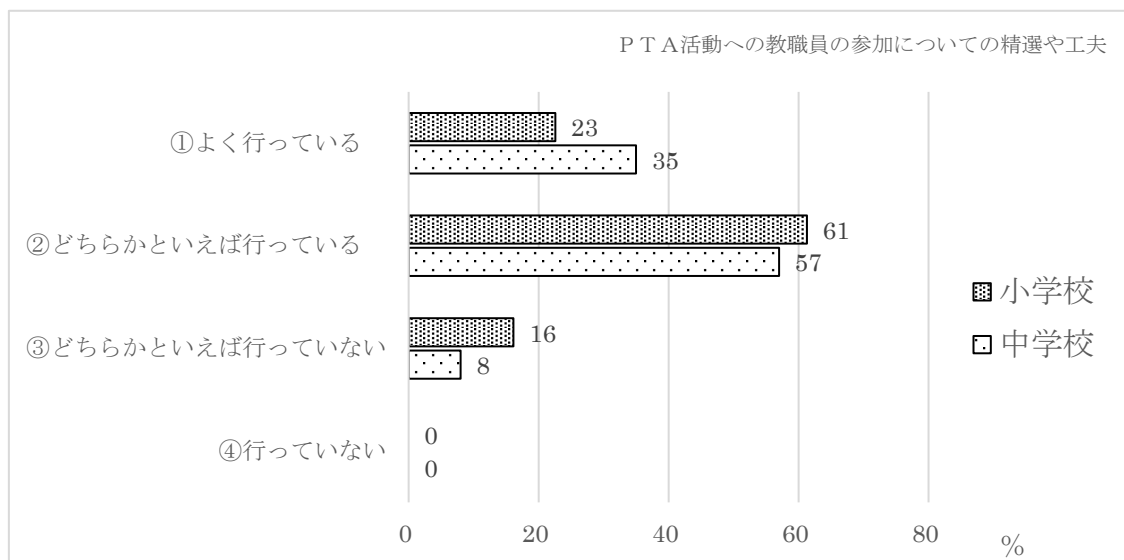


②7 PTA 活動への教職員の参加についての精選や工夫について

【調査結果の概要】

- PTA 活動への教職員の参加についての精選や工夫を行っている学校は小学校で 84%、中学校で 92%と比較的高い割合となっていた。「行っていない」という学校は、小・中学校ともに 0%であった。

図 C2-29 PTA 活動への教職員の参加についての精選や工夫への取組状況



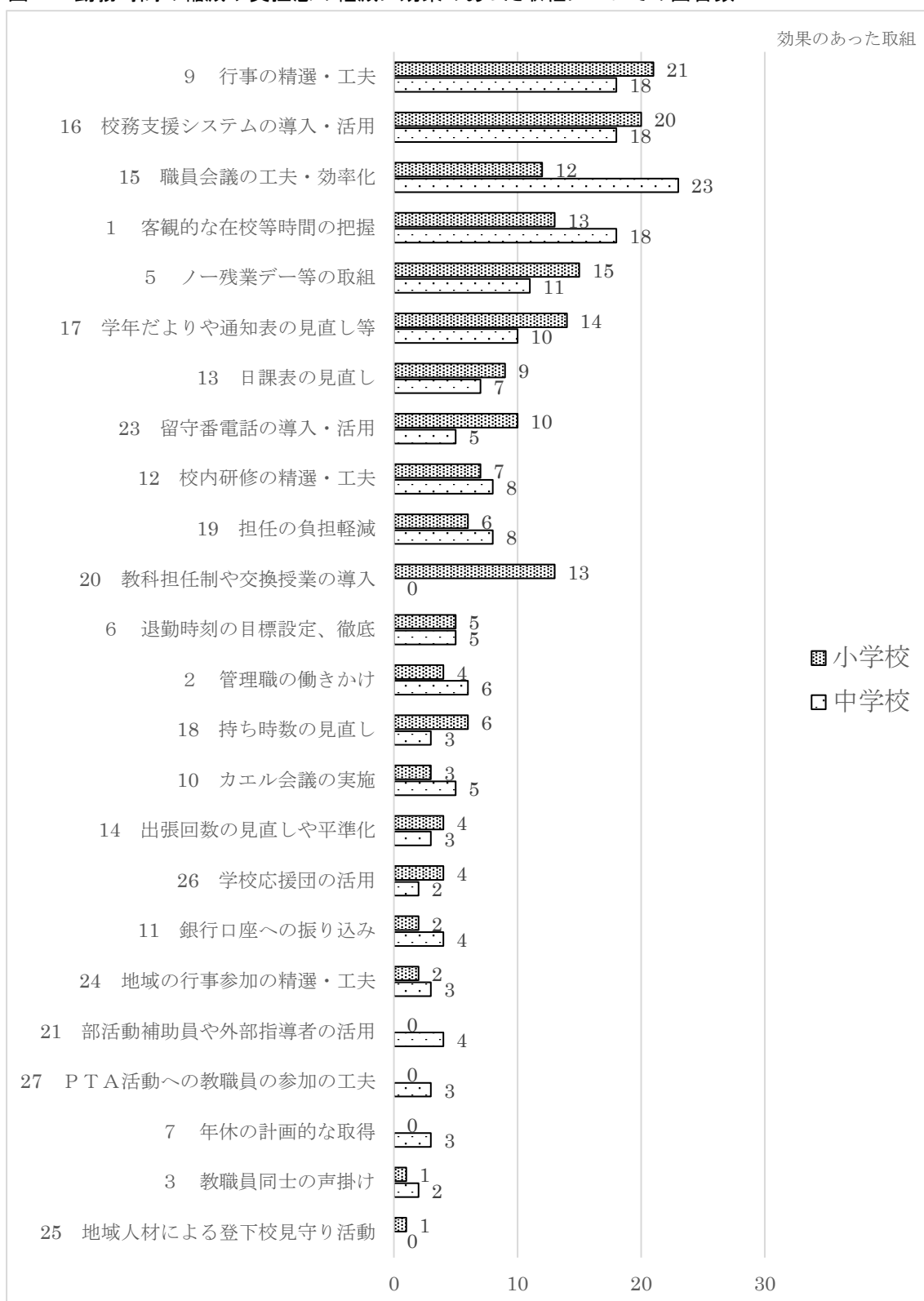
(3)勤務時間の縮減や負担感の軽減に効果のあった取組について

○本調査は上記(2)の取組のうち、勤務時間の縮減や負担感の軽減に効果があったと思われる取組について各学校3つ以内で回答した結果をまとめたものである。

【調査結果の概要】

- 小学校、中学校とも「行事の精選・工夫」「校務支援システムの導入・活用」については、効果が高いという回答が多くなっている。また、「職員会議の工夫・効率化」「客観的な在校等時間の把握」については小・中学校ともに効果が高いと回答した学校が多く、特に中学校において回答数が多くなっている。
- 「ノー残業デー等の取組」「学年だよりや通知表の見直し等」については、小・中学校とも効果が高いと回答した学校が多く、特に小学校において回答数が多くなっている。
- 小学校においては「留守番電話の導入・活用」「教科担任制や交換授業の導入」についても効果が高いと回答している学校が10校以上となっていた。

図 C3 勤務時間の縮減や負担感の軽減に効果のあった取組についての回答数



4 その他の分析（取組と時間外在校等時間等の相関）

①年間予定授業時数について

○図 4-1、図 4-2 は、調査 C において行った小学校における「年間予定授業時数（全学年の合計）」と「教員一人あたりの週持ち授業時数の平均」についての散布図である。

- 学習指導要領が示す年間の標準時数は、小学校で6学年合計 5785 時間、中学校で3年間合計 3546 時間であるが、学校によって年間予定授業時数が大きく異なっていることがわかる。年間予定授業時数が少ないほど時間外在校等時間が短いといった傾向は見られないが、分散が大きい。
- 小学校では、6年間合計で約 1000 時間、中学校では3年間合計で約 500 時間の差があることがわかった。

図 4-1 年間予定総授業時数(6学年合計)と教員一人当たりの時間外在校等時間の合計【小学校】

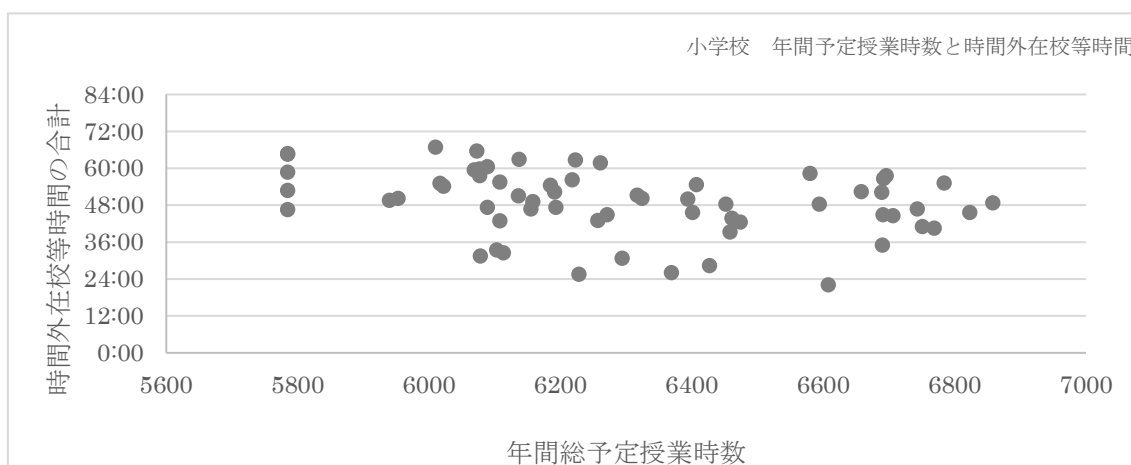
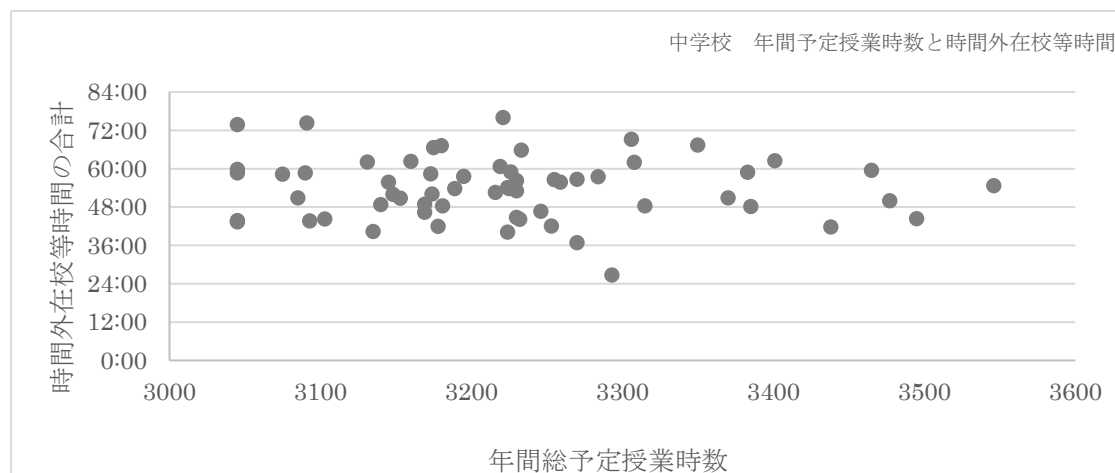


図 4-2 年間予定総授業時数(3学年合計)と教員一人当たりの時間外在校等時間の合計【中学校】



②職員会議等の効率化が時間外在校等時間に与える影響について

○図 4-2 及び図 4-3 は、4週間の時間外在校等時間の合計の平均（調査 B より）を職員会議等の効率化（調査 C）について「よく行っている」「どちらかといえば行っている」の2グループに分けて比較したものである。

- ・小学校、中学校ともに職員会議等の効率化を「よく行っている」群の方が「どちらかといえば行っている」群よりも時間外在校等時間の合計が短くなっていることがわかる。特に小学校においては、職員会議等の効率化を「よく行っている」群の方が約4時間、時間外在校等時間の合計が短くなっている。

図 4-2 職員会議等の効率化と時間外在校等時間の合計【小学校】

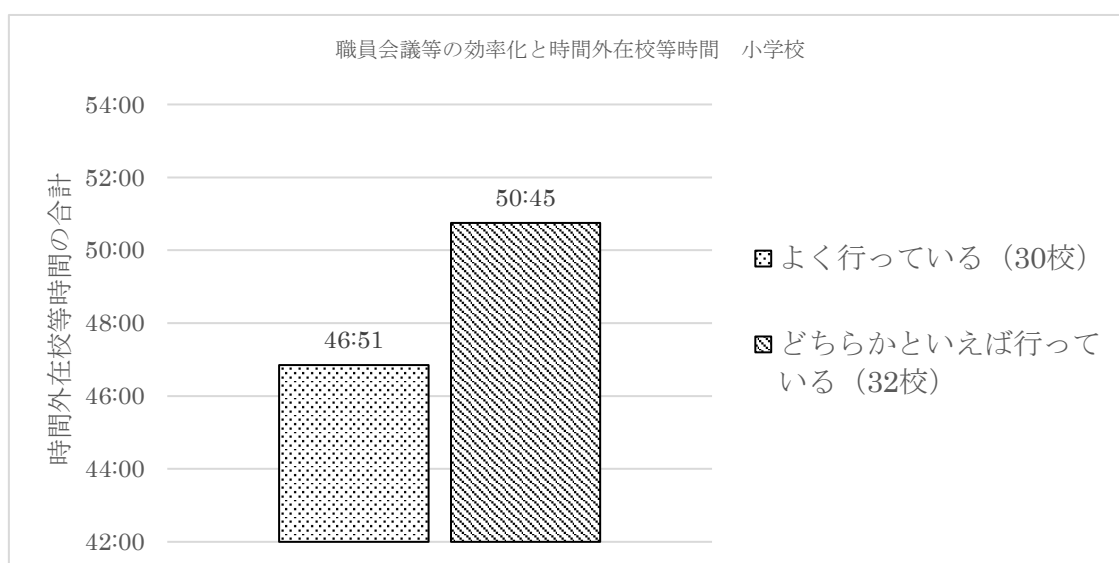
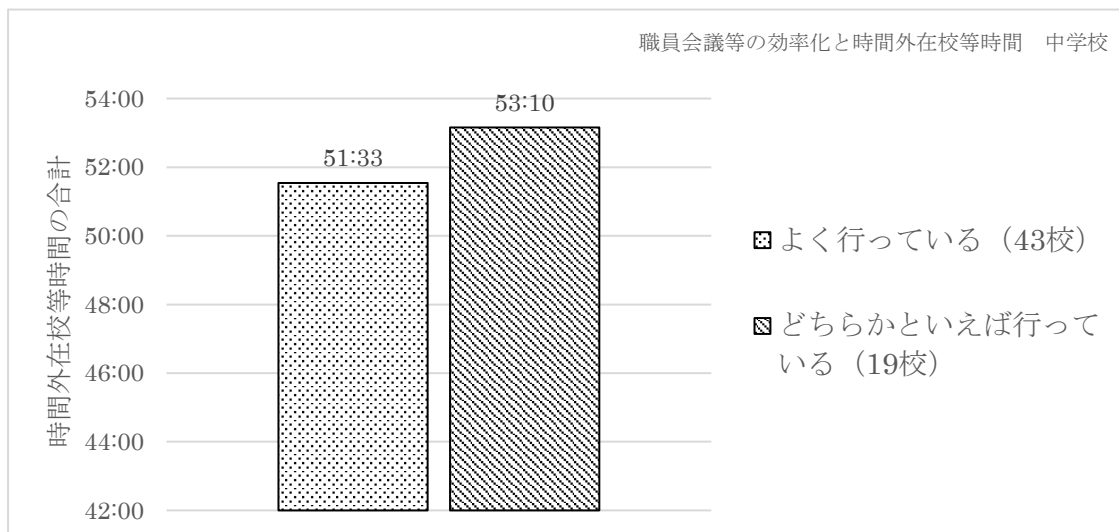


図 4-3 職員会議等の効率化と時間外在校等時間の合計【中学校】

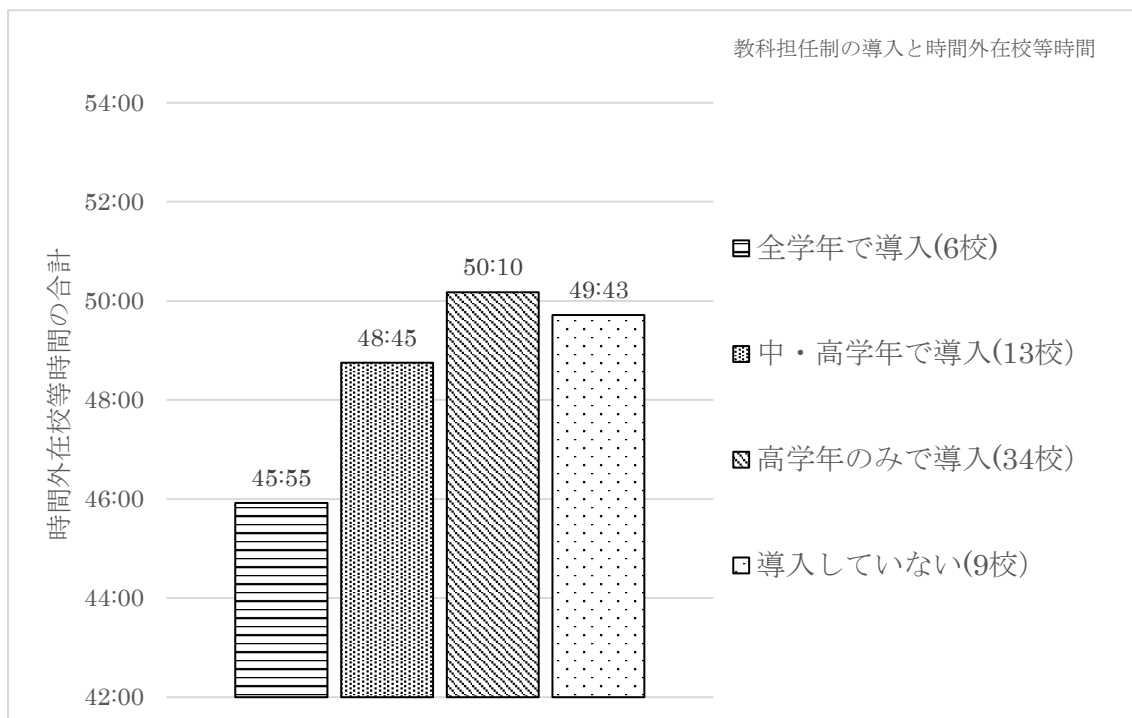


③小学校における教科担任制の導入の効果について

○図 4-4 は小学校において、教科担任制の導入状況（C 調査より）ごとに4週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。

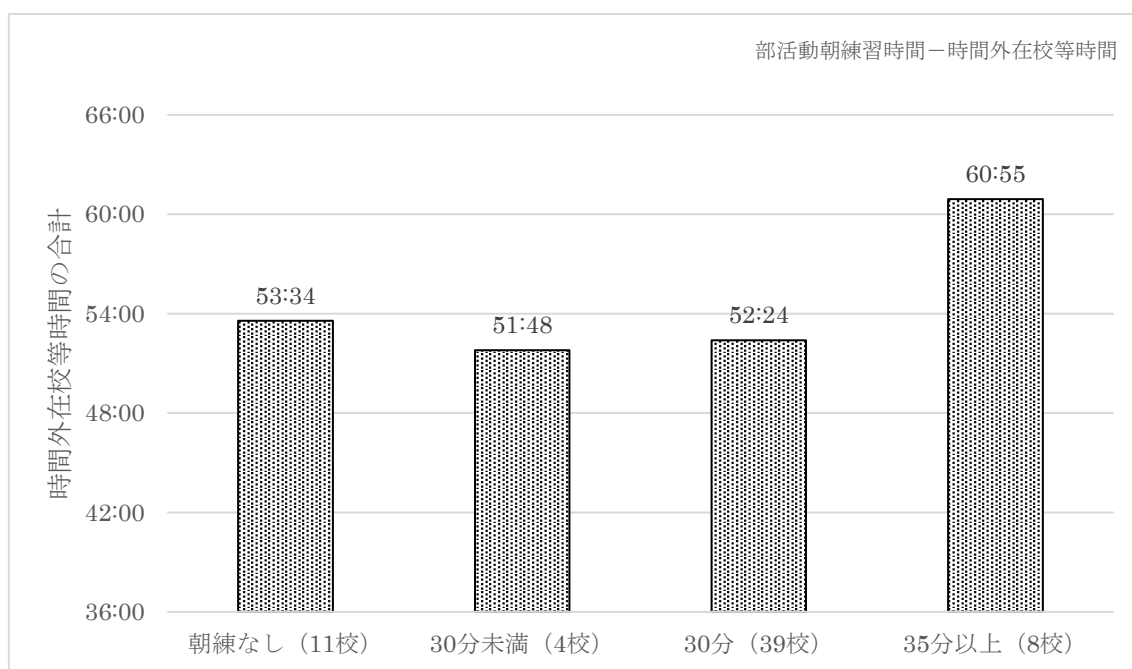
- 全学年で導入している学校については、導入していない学校と比較して時間外在校等時間の合計が約4時間短くなっている。
- 中・高学年で導入している学校についても全学年で導入している学校ほどではないものの、時間外在校等時間の合計が比較的短くなっている。

図 4-4 教科担任制の導入状況ごとの時間外在校等時間の合計



- ④中学校における部活動・朝練習が時間外在校等時間に与える影響について
- 図 4-5 は中学校において、1日あたりの部活動朝練習時間の学校ごとの平均を分類し、それぞれについて4週間(平日)の時間外在校等時間合計の平均(B調査)を示したものである。
- 朝練習を35分以上行っている学校については、「朝練習なし」「30分未満」「30分」のどの群と比較しても時間外在校等時間合計が、長くなっている。
 - 朝練習を35分以上行っている学校については、時間外在校等時間合計が60時間を上回る結果となっている。

図 4-5 1日あたりの部活動朝練習時間ごとの時間外在校等時間の合計



※31～34分に該当する学校はなかったため、「35分以上」とした。

⑤退校時刻の目標設定を行うことの効果について

○図 4-6、図 4-7 は、退校時刻の目標設定（C 調査）への取組状況ごとに4週間（平日）の時間外在校等時間の合計（B 調査）をまとめたものである。なお、「行っていない」については、該当校が少なく、平均値の信頼性が低いため、グラフ上には記載していない。

- ・小学校、中学校とも退校時刻の設定を行い、その徹底を図っている学校ほど、時間外在校等時間の合計が短くなっていた。

図 4-6 退校の目標設定・徹底への取組ごとの時間外在校等時間の合計【小学校】

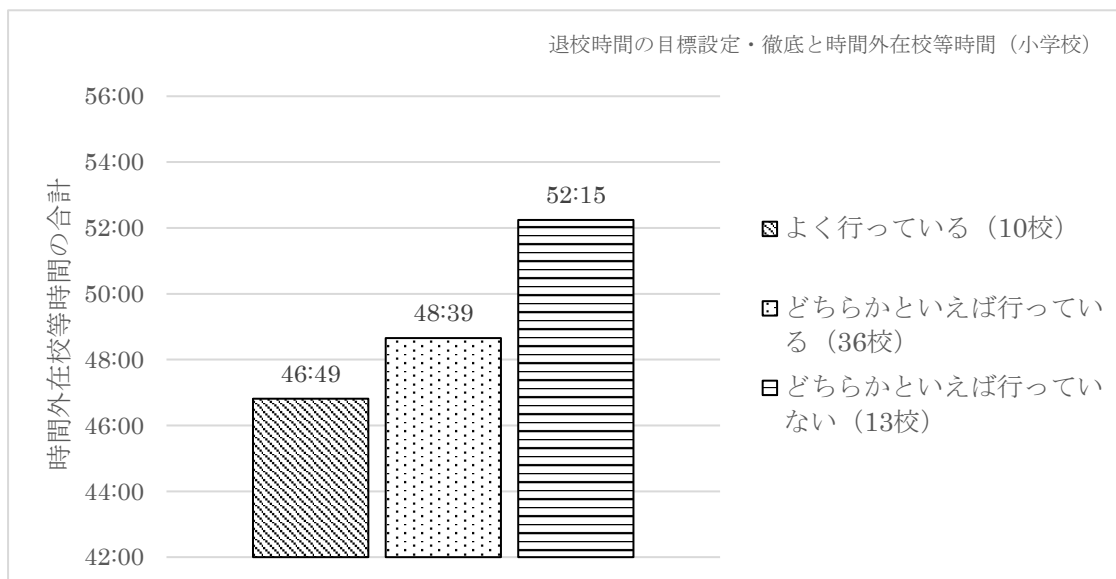
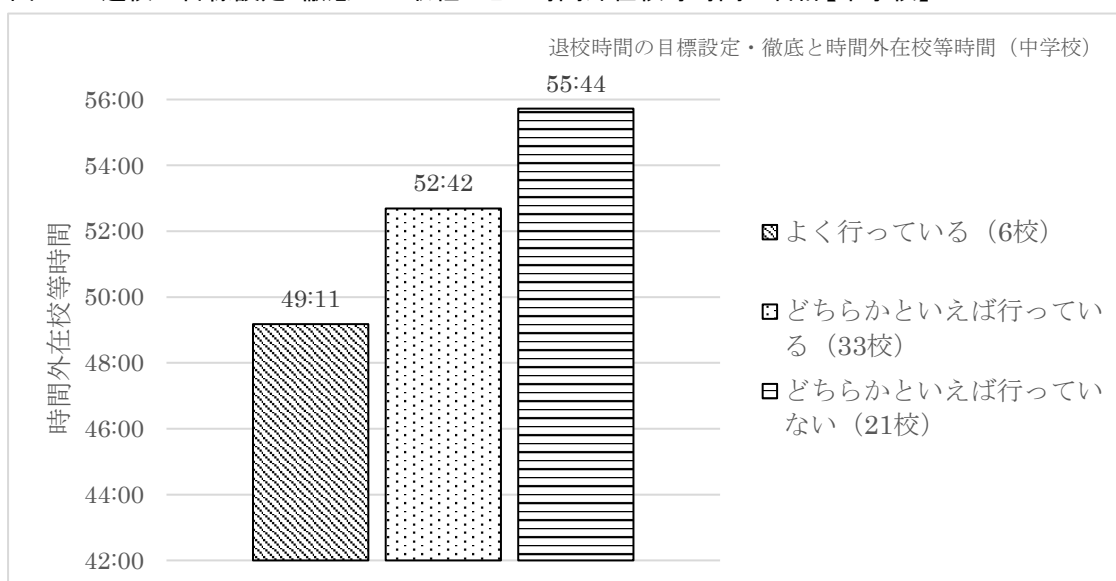


図 4-7 退校の目標設定・徹底への取組ごとの時間外在校等時間の合計【中学校】



⑥留守番電話の導入・活用の効果について

○図 4-8、図 4-9 は、留守番電話を「導入・活用している学校」と「導入していない・導入しているが活用していない学校」（C 調査）について4週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。なお、本図では該当校が少なかった「どちらかといえば活用している」学校は「導入・活用している」に、「あまり活用していない」学校は「導入・活用していない」に含めている。

- ・小学校においては、導入・活用していた学校は20日間で一人当たり2時間48分、時間外在校等時間の合計が短くなっていった。一方、中学校では大きな差は見られなかった。小学校では、児童の年齢が低いことから保護者からの電話対応が多くなるため、導入の効果が高くなったと考えられる。また、中学校については、もともと勤務時間が長い傾向にある南部地区の学校が導入しているケースが多かったことから、導入校の時間外在校等時間が長くなっていると考えられる。

図 4-8 留守番電話の導入・活用状況ごとの時間外在校等時間の合計【小学校】

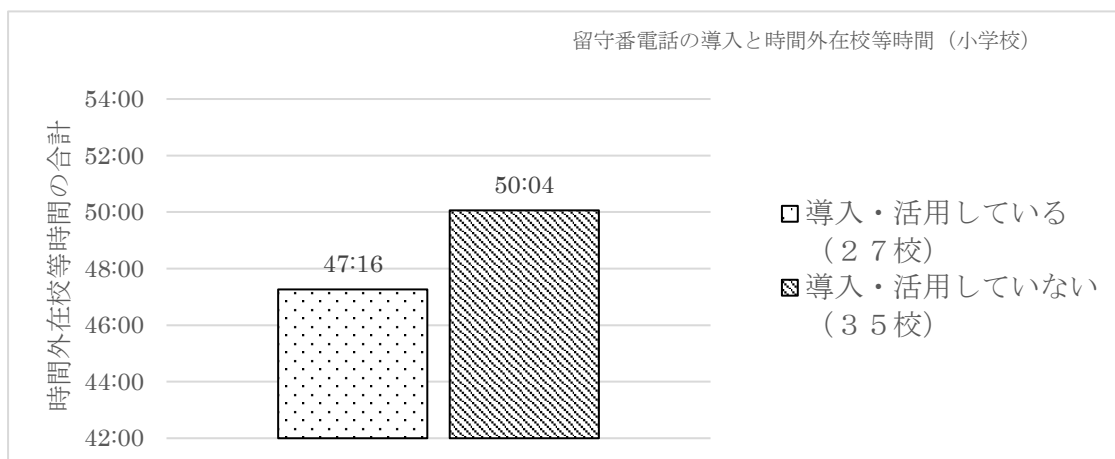
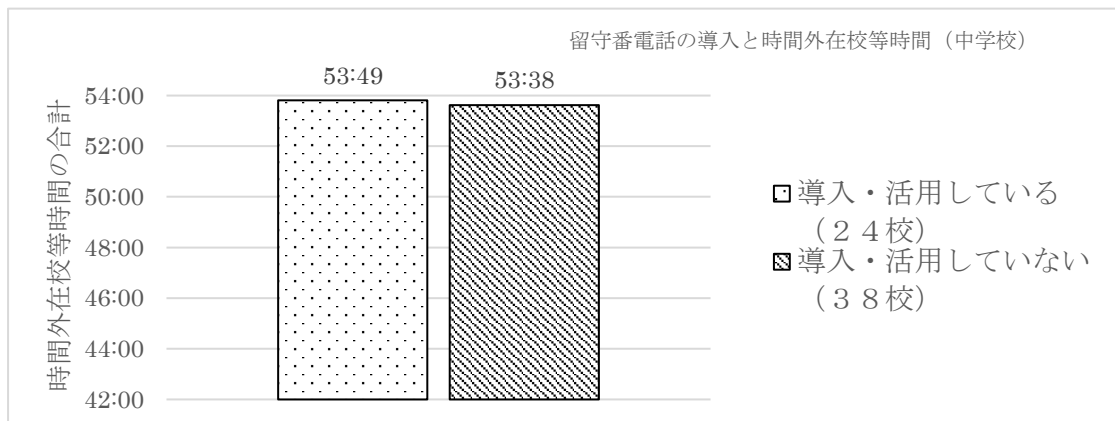


図 4-9 留守番電話の導入・活用状況ごとの時間外在校等時間の合計【中学校】



- ⑦登下校の見守りに保護者・地域の力を活用することの効果について
- 図 4-10、図 4-11 は登下校の見守り方法（C 調査）ごとに4週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。
- 小学校においては、登下校の見守りを行っていない学校や教職員のみで行っている学校はなかった。地域に任せている学校と、地域等と教職員が一緒に行っている学校を比較すると地域に任せている学校の方が時間外在校等時間の合計が約1時間35分短くなっていた。
 - 中学校においては、行っていない学校は他と比較すると時間外在校等時間の合計が短かった。また、教職員のみが行っている学校よりも、地域に任せたり、地域等と教職員が一緒に行ったりしている学校の方が時間外在校等時間の合計が短い傾向にあった。

図 4-10 登下校の見守りの方法ごとの時間外在校等時間の合計【小学校】

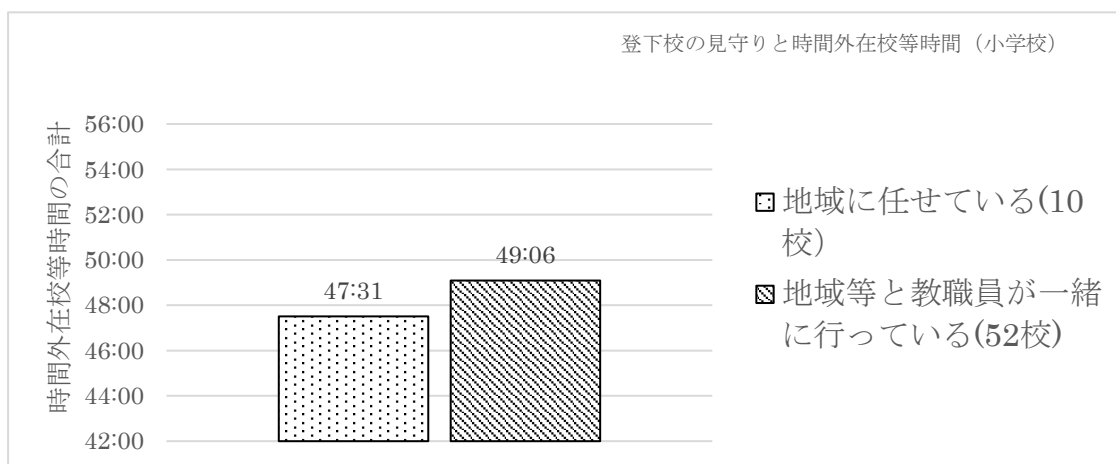
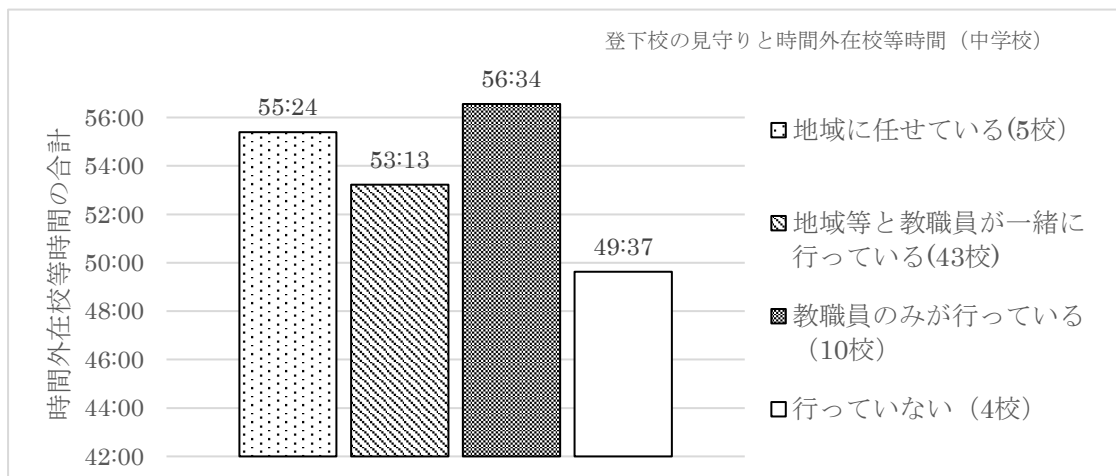


図 4-11 登下校の見守りの方法ごとの時間外在校等時間の合計【中学校】



⑧長時間勤務者に対する同僚職員の声かけの効果について

○図 4-12、図 4-13 は長時間勤務者に対する同僚の声かけの状況（C 調査）ごとに4週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。「よく行っている」「どちらかといえばよく行っている」を「行っている」とし、「行っていない」「どちらかといえば行っていない」を「行っていない」としてまとめた。

- ・小学校、中学校ともに同僚による声かけを行っている学校の方が時間外在校等時間の合計が短くなっており、小学校では4時間 17 分、中学校では 1 時間 8 分短くなっていた。

図 4-12 長時間勤務者に対する同僚職員の声かけと時間外在校等時間の合計【小学校】

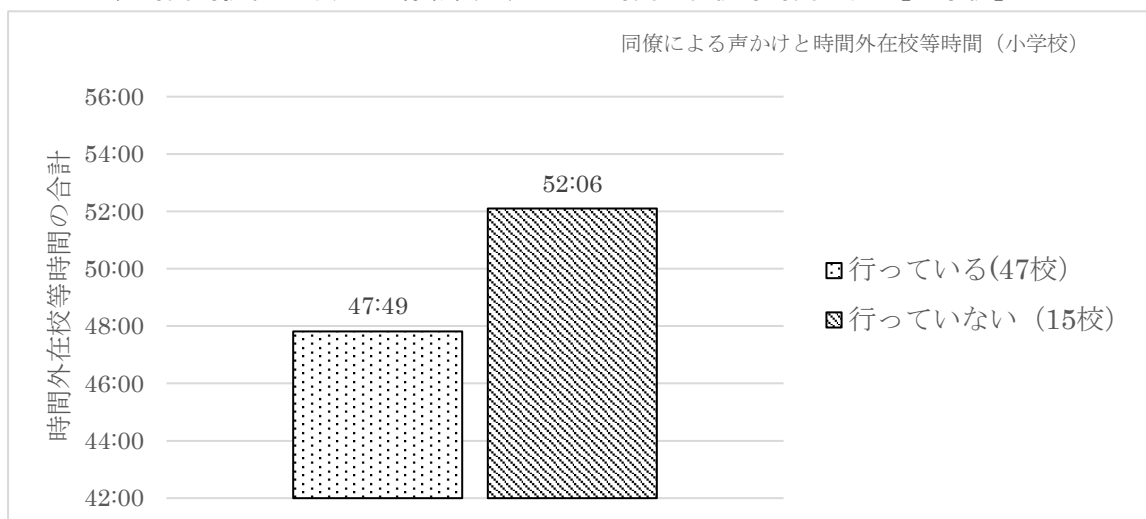
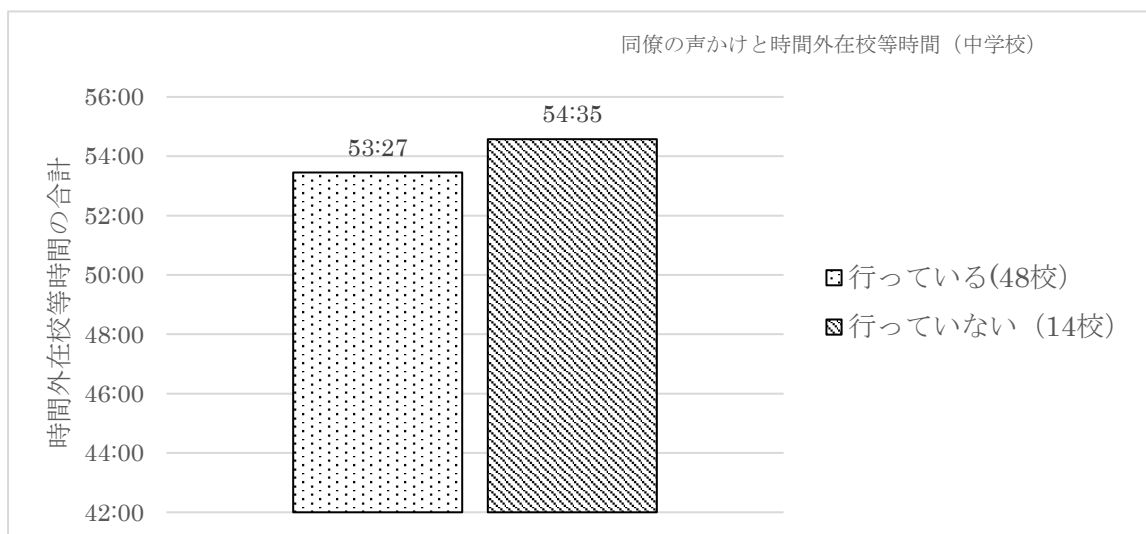


図 4-13 長時間勤務者に対する同僚職員の声かけと時間外在校等時間の合計【中学校】



⑨業務改善会議の実施の効果について

○図 4-14、図 4-15 は業務改善会議の実施の状況（C 調査）ごとに4週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。「よく行っている」「どちらかといえばよく行っている」を「行っている」とし、「行っていない」「どちらかといえば行っていない」を「行っていない」としてまとめた。

- ・小学校においては、業務改善会議を行っている学校の方が、行っていない学校と比較して時間外在校等時間の合計が長くなっていた。小学校においては、もともと時間外在校等時間が長い傾向にある学校が、業務改善会議を行っているケースが多く、そのため、本調査においては業務改善会議を行っている学校の方が時間外在校等時間が長いという結果となったと考えられる。
- ・中学校においては業務改善会議を行っている学校の方が、行っていない学校と比較して時間外在校等時間の合計が短くなっていた。

図 4-14 業務改善会議の実施状況と時間外在校等時間の合計【小学校】

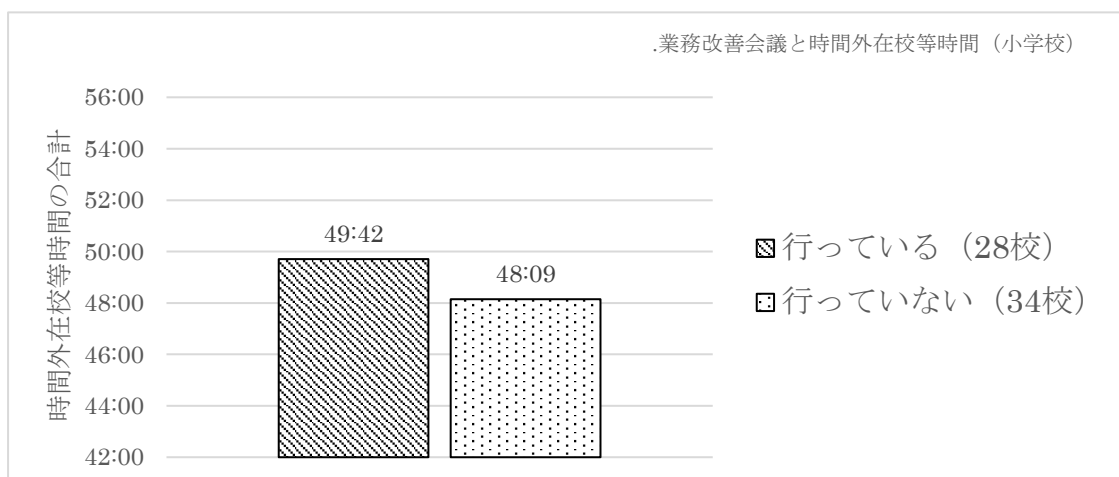
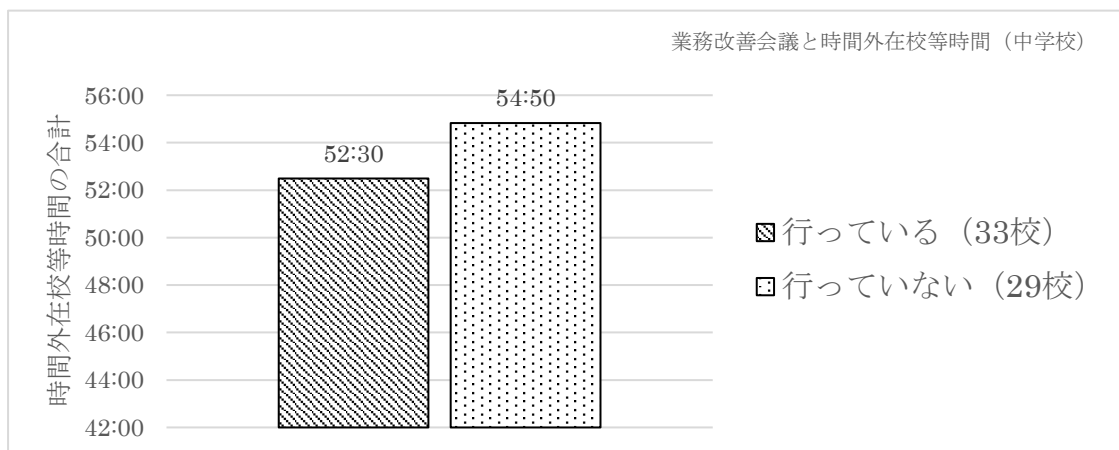


図 4-15 業務改善会議の実施状況と時間外在校等時間の合計【中学校】



⑩学校運営協議会の活用による効果について

○図 4-16、図 4-17 は学校運営協議会で働き方改革について話し合っているかについて、その状況（C 調査）ごとに4週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。

- 小学校においては、該当校が2校しかなかった「行っていない」学校を除いて、その傾向を見ると、「どちらかといえば行っていない」学校と比較して、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」学校の方が時間外在校等時間の合計が短くなっていた。
- 中学校においては、「行っていない」「どちらかといえば行っていない」学校と比較して、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」学校の方が、時間外在校等時間の合計が短くなっていた。

図 4-16 学校運営協議会での働き方改革に関する話し合いの状況と時間外在校等時間の合計【小学校】

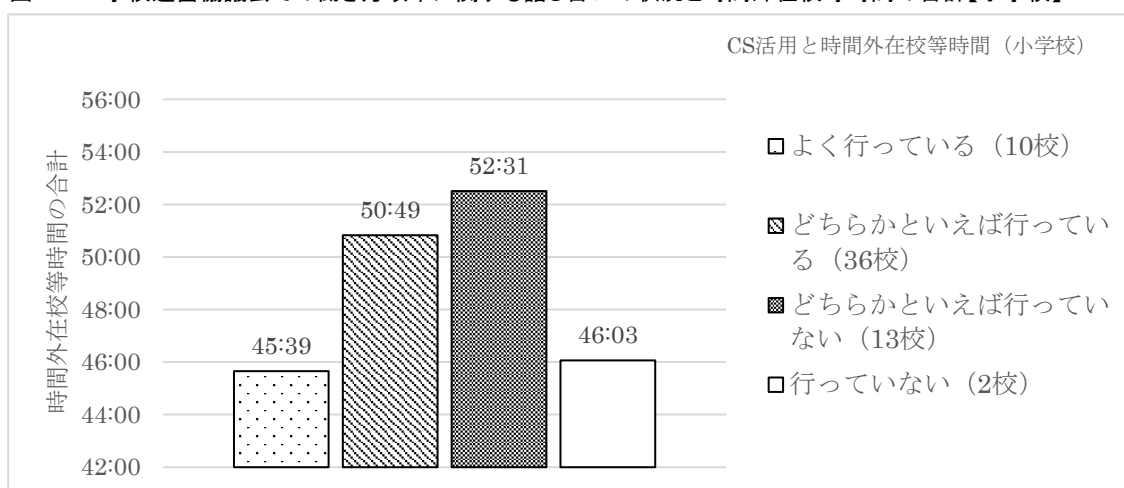
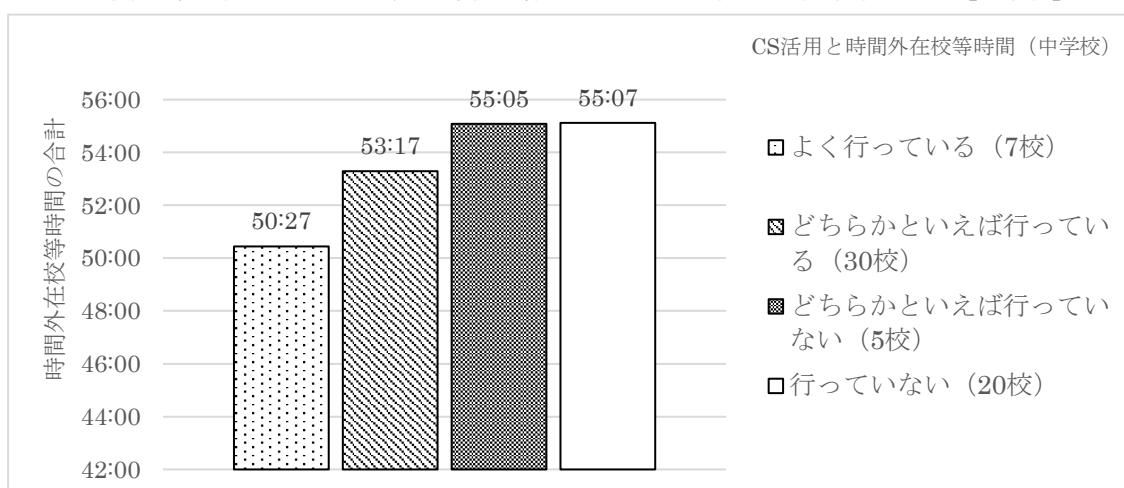


図 4-17 学校運営協議会での働き方改革に関する話し合いの状況と時間外在校等時間の合計【中学校】

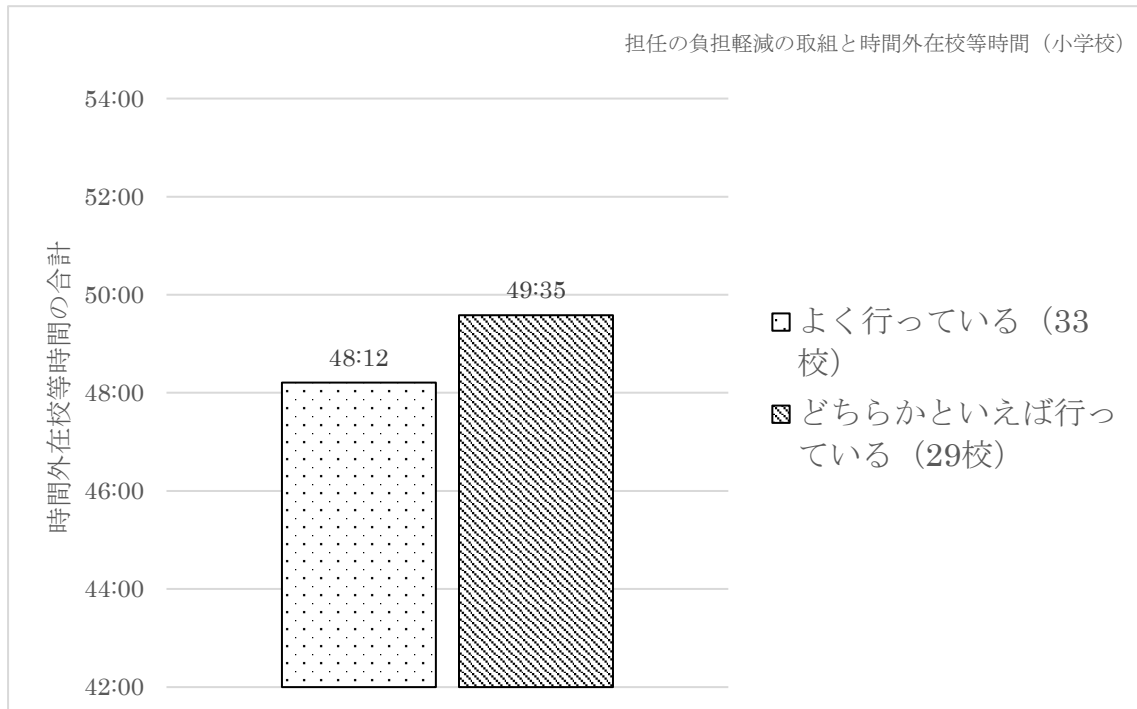


⑪ 小学校における担任の負担軽減に向けた取組の効果について

○ 図 4-18 は教務や担任外等と協力した担任の負担軽減の取組状況（C 調査）の回答ごとに4週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。

- 「行っていない」「どちらかといえば行っていない」と回答した学校はなかったため、「よく行っている」と「どちらかといえば行っている」とを比較すると、「よく行っている」学校の方が時間外在校等時間の合計が 1 時間 23 分短くなっていた。

図 4-18 担任の負担軽減の取組状況と時間外在校等時間の合計【小学校】



⑫学年・学級事務の改善への取組の効果について

○図 4-19、図 4-20 は学年・学級事務の改善への取組状況（C 調査）ごとに 4 週間（平日）の時間外在校等時間の合計の平均（B 調査）をまとめたものである。「よく行っている」「どちらかといえばよく行っている」を「行っている」とし、「行っていない」「どちらかといえば行っていない」を「行っていない」としてまとめた。

- ・小学校については、「行っていない」学校が 2 校しかいないため、参考値となるが、「行っていない」学校に対し、「行っている」学校は、時間外在校等時間の合計が 11 時間 22 分短くなっていた。
- ・中学校においても「行っていない」学校に対し、「行っている」学校は、時間外在校等時間の合計が 2 時間 35 分短くなっていた。

図 4-19 学年・学級事務の改善への取組状況と時間外在校等時間の合計【小学校】

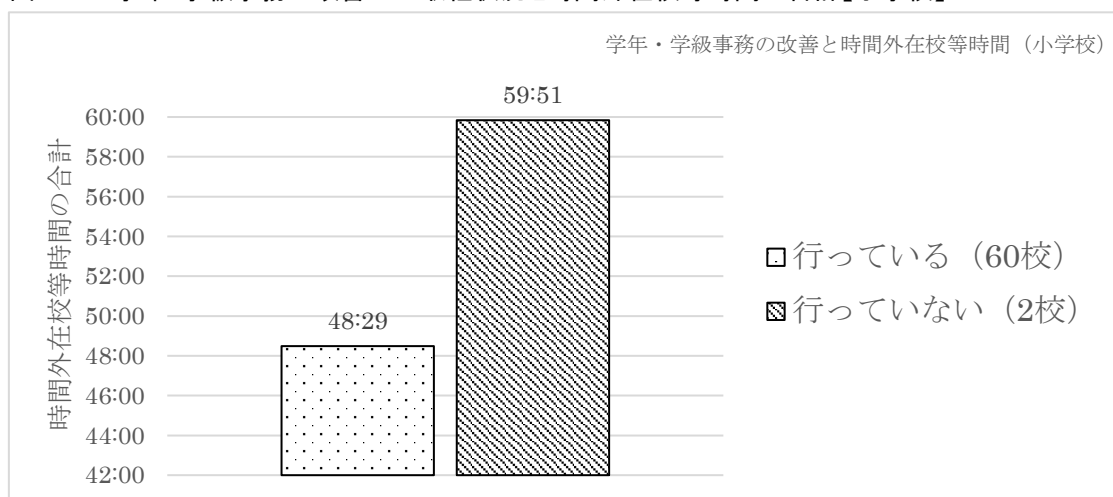
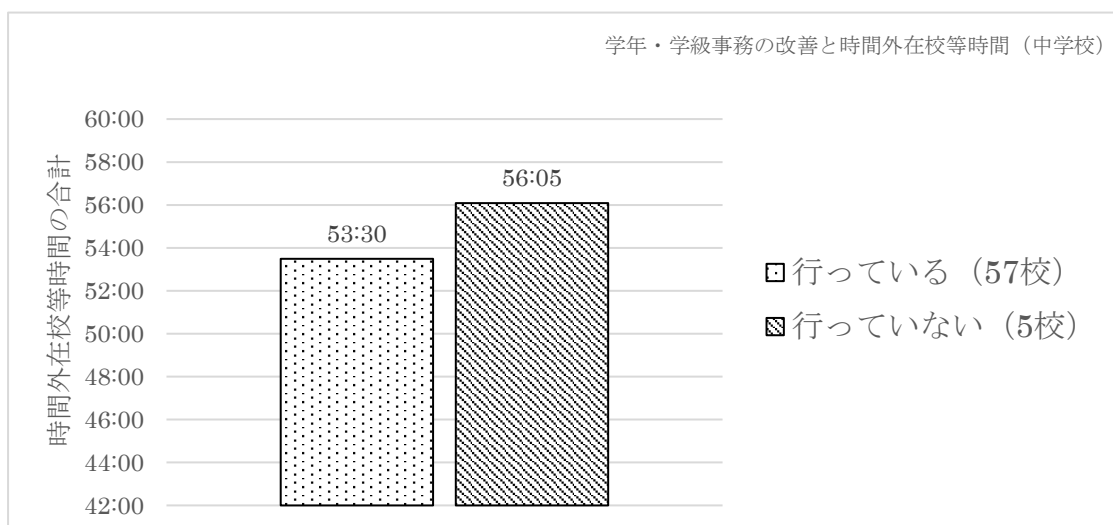


図 4-20 学年・学級事務の改善への取組状況と時間外在校等時間の合計【中学校】



⑬教員業務支援員（スクール・ホープ・スタッフ）の導入の効果について

○教員業務支援員（スクール・ホープ・スタッフ）の導入による効果を検証するため、教員業務支援員（スクール・ホープ・スタッフ）が深く関わると考えられる「行事準備」「成績処理（採点業務の補助等）」「学年学級経營業務」（以下、準備等業務と表記する）を行っている時間（A 調査）を抽出し、教員業務支援員（スクール・ホープ・スタッフ）導入状況（C 調査）ごとにまとめた。

- ・小学校、中学校ともに教員業務支援員（スクール・ホープ・スタッフ）を導入している学校の「準備等業務」の時間が、導入していない学校と比較して短くなっていた。

図 4-21 教員業務支援員の導入による準備等業務への影響【小学校】

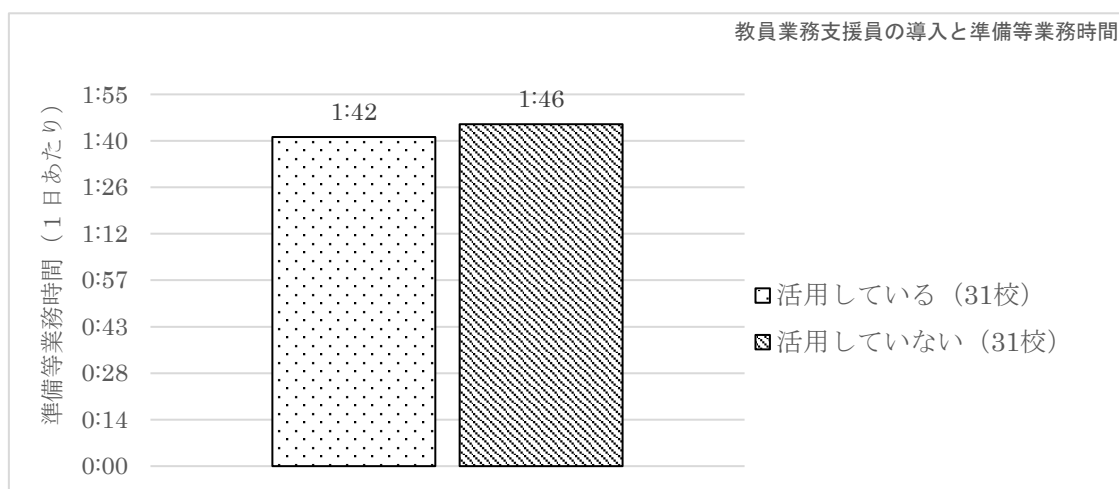
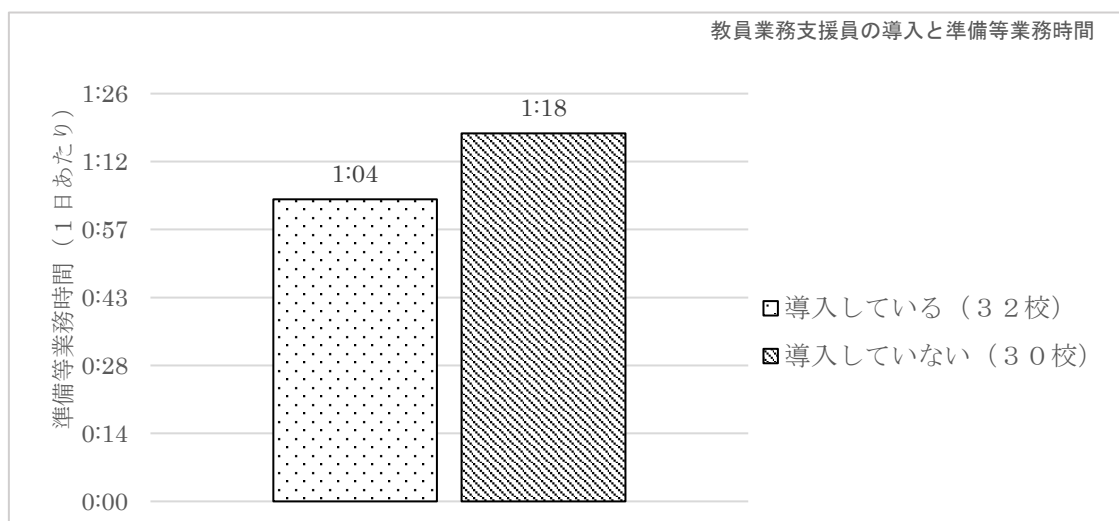


図 4-22 教員業務支援員の導入による準備等業務への影響【中学校】



⑭通常学級の数と平均持ち時数の関係について

○図 4-23、図 4-24 は調査した学校の通常学級の数と教員一人当たりの1週間の授業時数の合計の平均（以下、持ち時数と表記する）との関係を表したものである。

- ・小学校においては、やや小規模校の方が、持ち時数が少ないものの、学校により大きくばらつきが見られた。
- ・中学校においては小規模校の方が、持ち時数が少ない傾向が見られた。

図 4-23 通常学級の数と平均持ち時数について【小学校】

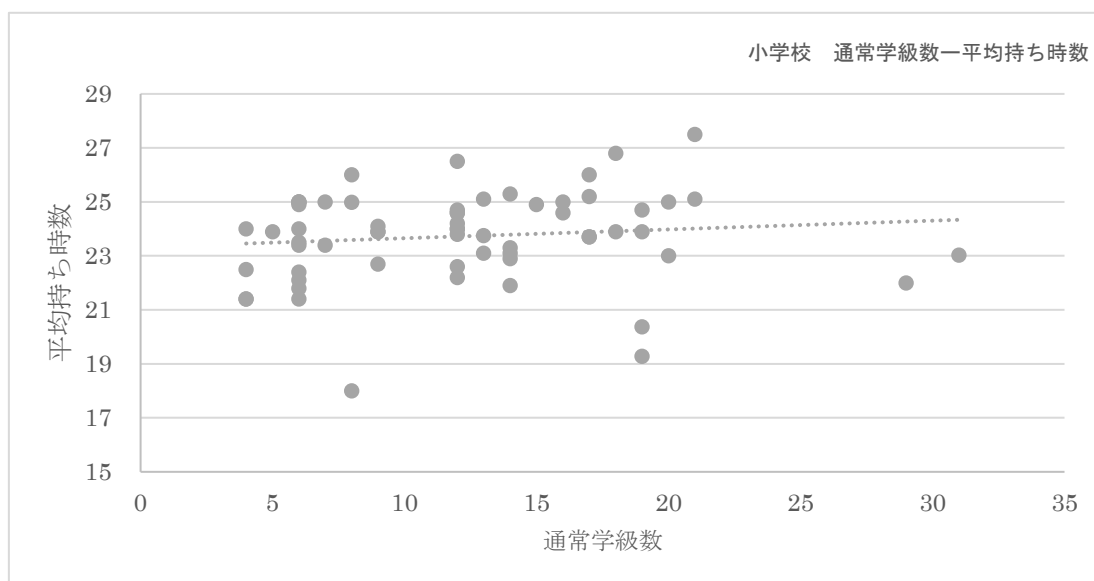
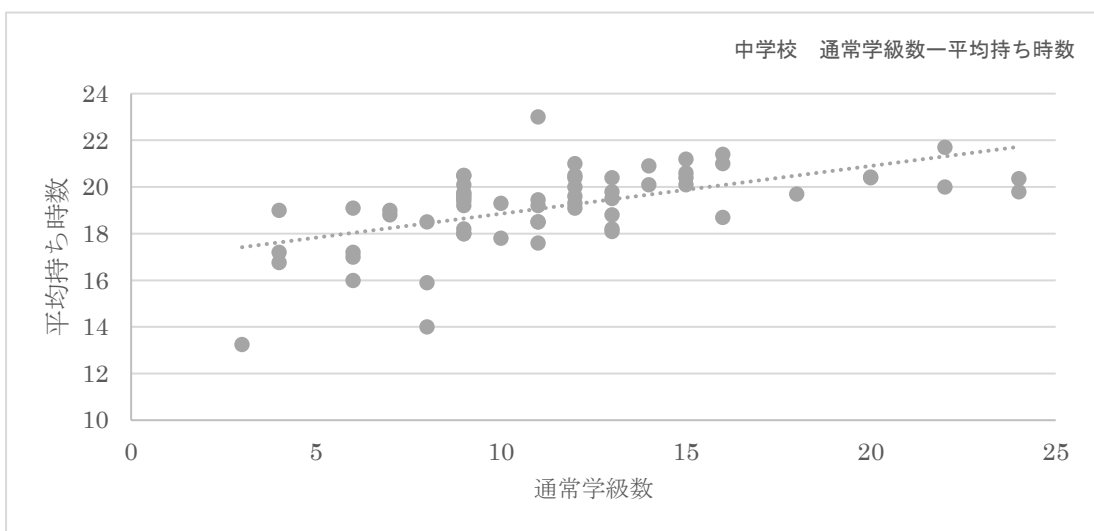


図 4-24 通常学級の数と平均持ち時数について【中学校】



⑮平均持ち時数と時間外在校等時間との関係について

○図 4-25、図 4-26 は教員一人当たりの1週間の授業時数の合計の平均（以下、持ち時数と表記する）と時間外在校等時間との関係を表したものである。

- 小学校においては、特徴的な傾向はないものの、全体的の大きなばらつきが見られた。
- 中学校においては持ち時数が少ない方が、時間外在校等時間が短い傾向が見られた。

図 4-25 持ち時数と時間外在校等時間の合計について【小学校】

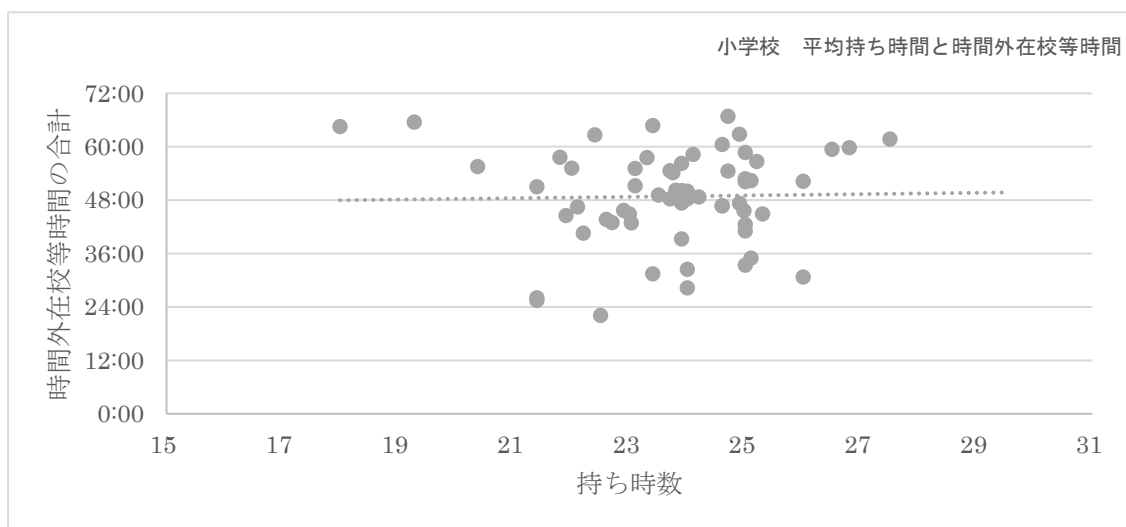
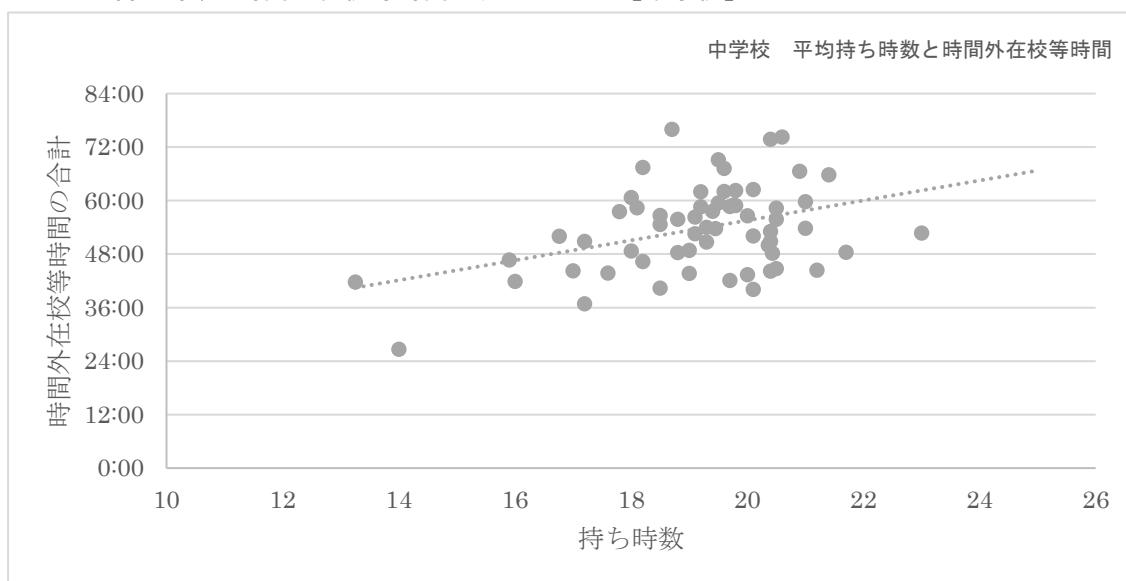


図 4-26 持ち時数と時間外在校等時間の合計について【中学校】



⑩児童生徒数と時間外在校等時間との関係について

○図 4-26、図 4-27は調査対象校の児童生徒数と時間外在校等時間との関係を表したものである。

- ・小学校、中学校ともに児童生徒数の少ない学校の方が、時間外在校等時間が短い傾向にあったが、小学校においては、ややばらつきが多く見られた。

図 4-26 児童数と時間外在校等時間の合計について【小学校】

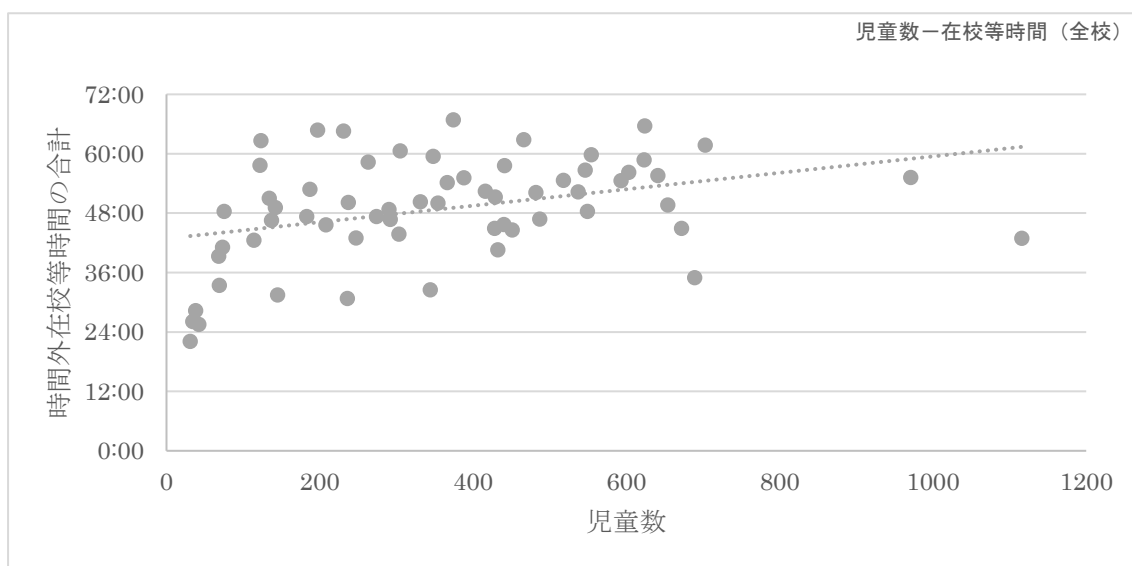
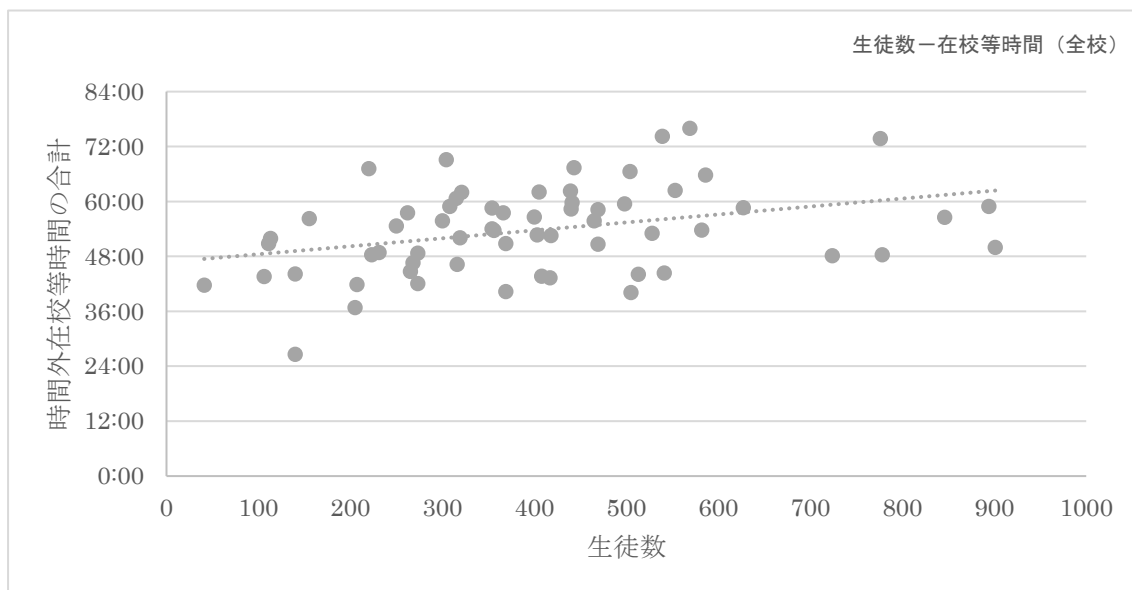


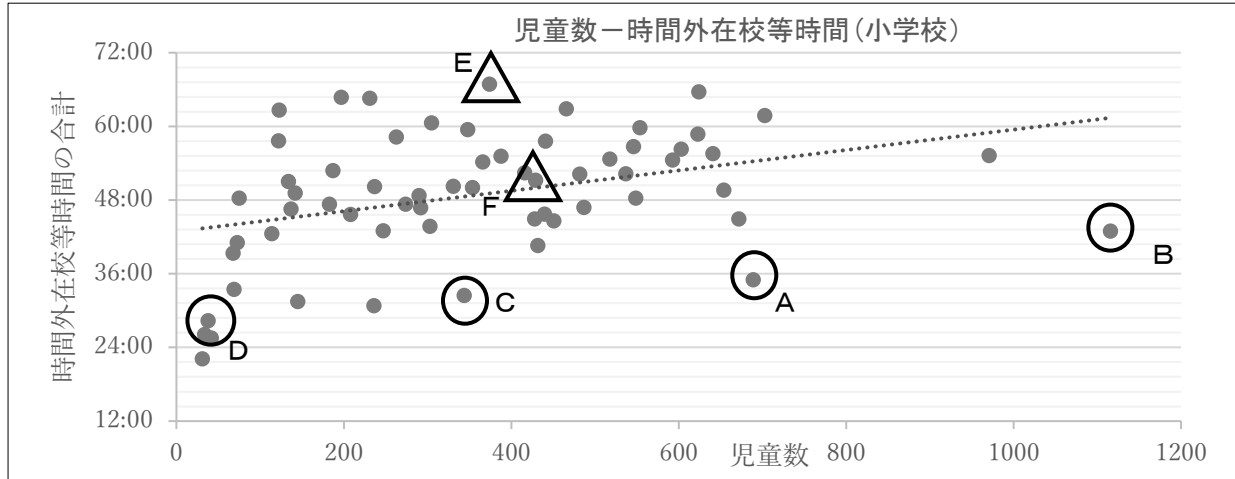
図 4-27 生徒数と時間外在校等時間の合計について【中学校】



V 働き方改革が進んでいる学校の取組 (校長への聞き取り調査から)

本調査を実施した中で、特に働き方改革が進んでいる学校について、校長へ直接聞き取り調査を実施した内容を以下にまとめた。

1 小学校 (抽出校 62 校)

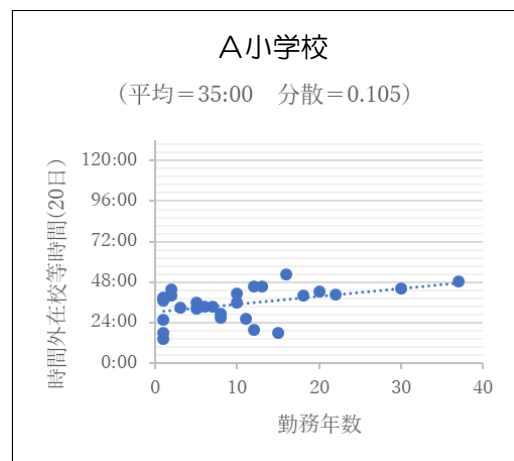


A小学校 児童数 689 人

○平均時間外在校等時間 35 : 00 ○分散値 0.162 ○平均年齢 38.4 歳 ○平均持ち時数 25.1 時間

SSS の活用	留守番 電話	教科担 任制	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○	○	○	○	○	○	○	○		○	○

- Q 在校等時間も少ないが、素晴らしいのは、分散 (ちらばり) が小さいことだが秘訣は?
- A 特別なことはしていない。小さな積み重ねの結果だと思う。取組としては、
- ①教頭先生が、30 分前位に「今日は〇時〇分に閉めますよ。」と時間的に余裕をもって、教職員に声かけをよくしている。管理職が施錠をすることになっている。教頭より遅くなる職員はいない。
 - ②定時退勤デーを比較的实现可能な日を選び、独自設定している。
 - ③月曜日に日課表の工夫を行い、放課後に研修や会議を集中させている。他の曜日の放課後は原則会議を入れない。
 - ④教科部会や学年主任会は必要に応じて実施。時間外に会議はしない。
 - ⑤職員会議に先立ち、学年主任会で宿題を出しておく (学年で揉んでもらう)。
 - ⑥主任と副主任を置くことによって、引継ぎが上手くいっている。



B小学校 児童数 1,116人

○平均時間外在校等時間 42.68 ○分散値 0.214 ○平均年齢 40.0 歳 ○平均持ち時数 23.0 時間

SSS の活用	留守番 電話	教科担 任制	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

Q 児童数 1,000 人を超える大規模校にもかかわらず、
在校等時間も分散も小さいのはなぜか？組織的な
取組が成功していると思われるが？

A 大きいのは組織改革とICTの活用。具体的には、

①教科担任制を5,6年で実施。専科加配を活用し
授業時数を減らしている。

②GIGAをまずは、働き方改革で使った。教職員が
校務で使い、利便性を理解してから、授業でも使っ
てみようという雰囲気になっていった。

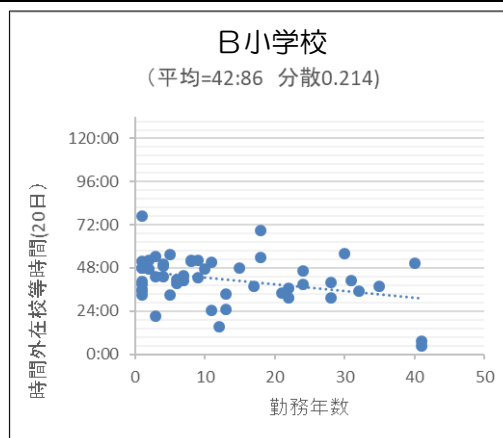
お便りはすべて電子化。欠席連絡やアンケートの

集計もすべて電子で行っている。お便りの形式も文書形式ではなく、スマホ用も仕様になって
おり、保護者から好評を得ている。

また、お便りの内容も見ればわかる工夫をしており、説明を言葉でなく動画で伝えていること
も増えてきた。

Q 在校等時間の分散（ちらばり）が小さいのは？

A 基本的に担任個人ではなく、「学年で動くことが大きい。教材やお便りも学年職員で一つのもの
をつくっている。「時間対効果」がキーワードになっている。



C小学校 児童数 344人

○平均時間外在校等時間 42.68 ○分散値 0.214 ○平均年齢 40.3 歳 ○平均持ち時数 24.0 時間

SSS の活用	留守番 電話	教科担 任制	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

Q 時間外在校等時間が比較的抑えられている要因は？

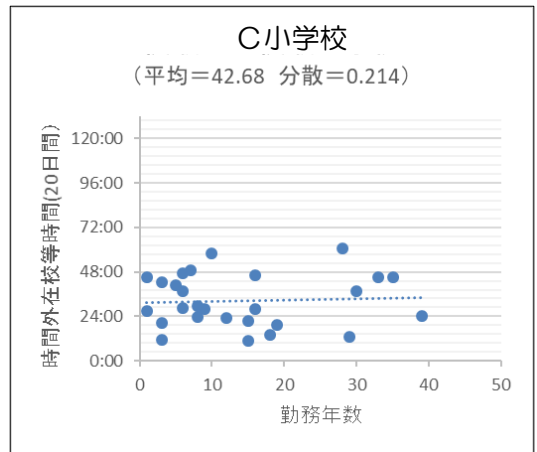
A 特別なことはしていないが、

①ICカードの導入とデータ活用・・・結果を各自がプリントアウトできるようにしている。

自分自身で振り返ることが大切と考えている。45時間超の職員には管理職が「ありがとう」
の言葉をかけながら、削減に向けた相談を行っている。

- ②教頭が職員の話をよく話を聞いている。
 - ・抱え込まないよう配慮している。
- ③毎週水曜日にカエルの人形で、定時退勤の意識付け。
- ④町費職員との連携。
- ⑤休みやすい雰囲気を醸成する。

質の高い教育をすることがゴールであるので、指導力の向上と両立させることが今後の課題。



D小学校 児童数 42人

○平均時間外在校等時間 25.31 ○分散値 0.343 ○平均年齢 48.0歳 ○平均持ち時数 21.4時間

SSSの活用	留守番電話	教科担任制	ノー残業デー	計画年休	行事の精選	カエル会議	口座振込	校務支援シス	会議見直し	終了時刻設定
	○	○	○		○	○	△	○	○	○

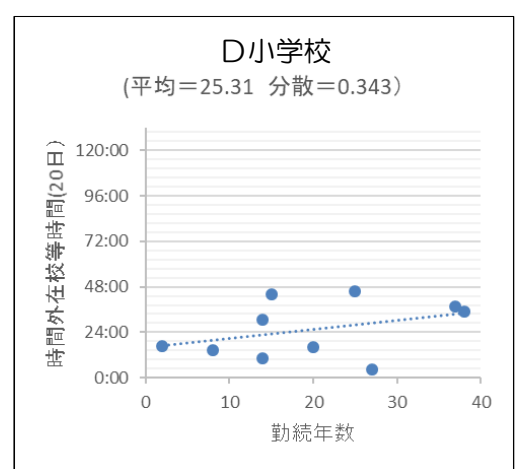
Q 小さい学校ならではの課題もあると思うが、時間外在校等時間が比較的抑えられている要因は？

A 少ない要因は、持ち授業数が少ないことだが、それ以外で効果があると思われるものは、

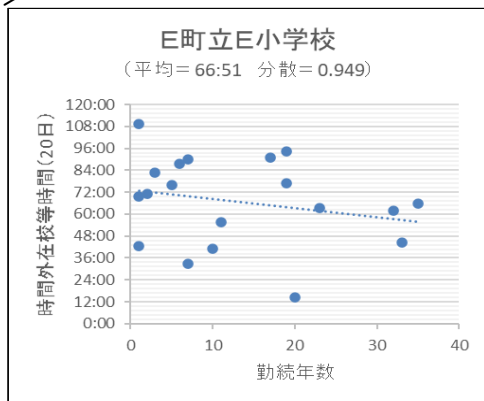
- ①校務支援システムが本年度導入されたこと。
- ②複式学級だが町で支援員を配置してもらっていること
- ③行事の縮減（運動会や〇〇小まつり）
- ④校長の自己評価シートに目標を設定
- ⑤年休10日の取得を目標にしている。

(自己研鑽に使ってほしい)

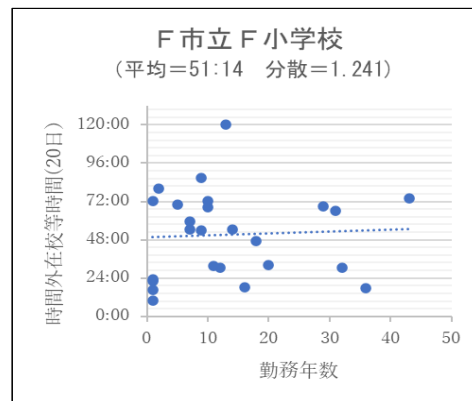
一番大切だと思うことは、帰りやすい雰囲気づくりだと思う。



<参考>

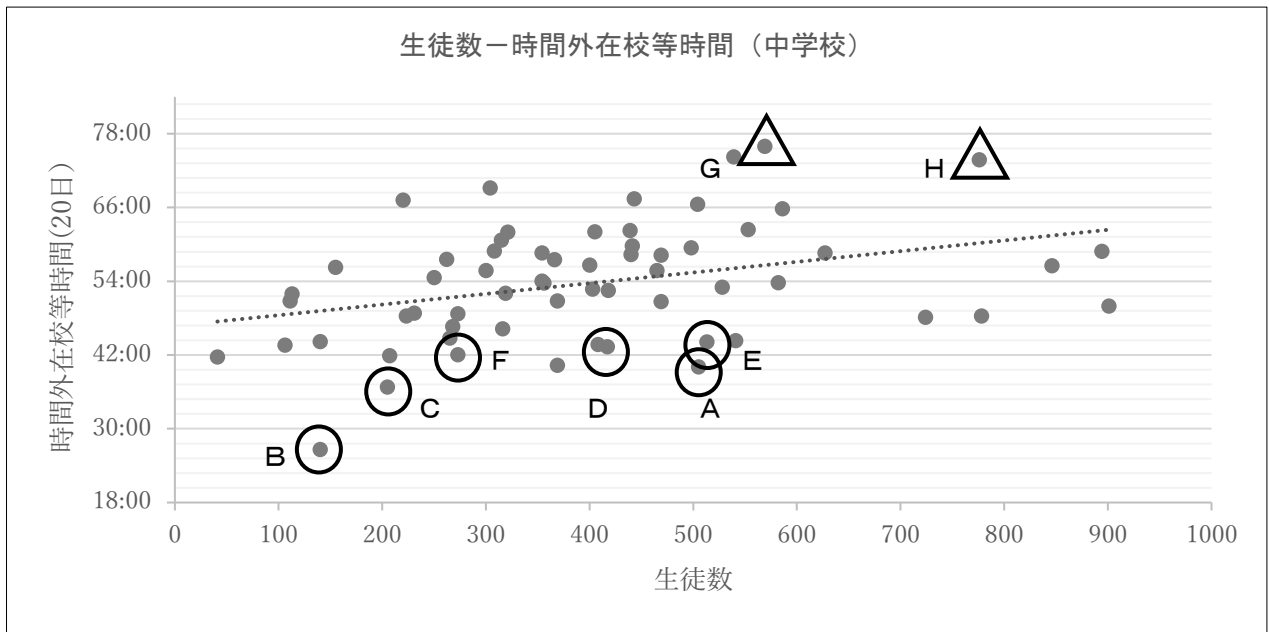


最も平均時間外在校等時間が大きかった学校



最も分散値(ちらばり)大きかった学校

2 中学校（抽出校 62 校）



A中学校 生徒数 505 人

○平均時間外在校等時間 40 : 05 ○分散値 0.55 ○平均年齢 40.0 歳 ○平均持ち時数 20.1 時間

SSS の活用	留守番 電話	部活朝 練なし	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○			○	○	○	○	○	○	○	

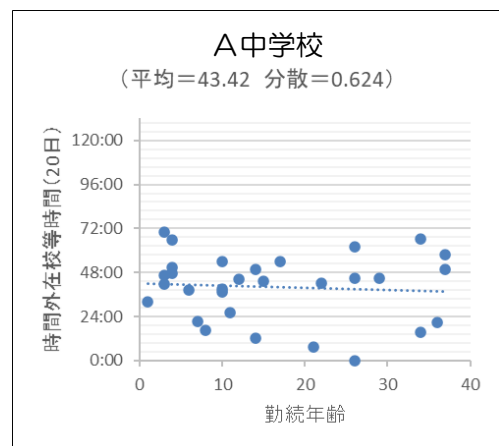
Q 生徒数 500 名を超える学校での働き方改革のポイントは？

A 特別なことはしていないが、

- ①真面目な職員が多く、仕事をつきつめる傾向にあるが、力のあるベテランが多く、帰りも早い。学年主任の先生が皆、力も理解もあり、働き方改革の原動力になっている。
- ②教頭先生が I C T に強く、業務の効率化をリードしている。
- ③声かけとして「早く帰れる日は帰りましょう。」と言い続けており、教頭先生も早く帰っている。
- ④会議の効率化にも力を入れており、企画委員会を工夫することにより、職員会議が短くなっている。

Q 今後の課題は？

- A ①アフターコロナの行事の見直し。
- ②部活動の運営で、具体的には生徒数に比較すると部活動数が多く部員が少ない。
- 顧問の負担面も課題である。朝練はなくすことも考えられるが、体育館の使用部が多く、朝練習をしないとローテーションが組めない状況である。



B中学校 生徒数 140人

○平均時間外在校等時間 26.39 ○分散値 0.68 ○平均年齢 47.3歳 ○平均持ち時数 14.0時間

SSS の活用	留守番 電話	部活朝 練なし	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○			○	○	○			○	○	○

Q 抽出校の中で最も平均時間外在校等時間が少なかった。
持ち時数が少ないことが一番の要因か？

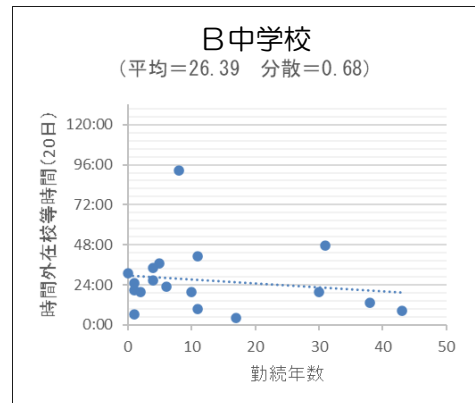
A やはり、持ち時数が少ないのが大きい。授業のない時間に事務ができています。それとともに、ワークライフバランスへの意識が高い。学年主任級が子育て中なので、効率的な仕事になっている。生徒指導上の課題も少ないことも影響している。

Q 部活動の朝練習は？

A 朝練は半分くらいの部がやっている。

Q 今後の課題は？

A 在校等時間が長い職員も一部いる。分散を小さくしたい。



C中学校 生徒数 205人

○平均時間外在校等時間 36:48 ○分散値 0.579 ○平均年齢 42.1歳 ○平均持ち時数 17.2時間

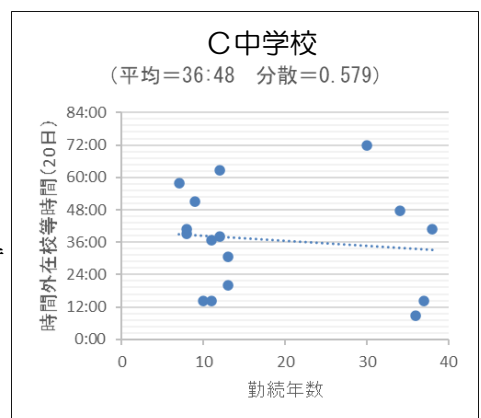
SSS の活用	留守番 電話	部活朝 練なし	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○			○	○	○	○	○	○	○	○

Q 若い職員が多いが、在校等時間が抑えられている。
ポイントは何だと思うか？

A ①学校が落ち着いていることが大きい。
②ストレスが少ないことも大切だと考えている。
③見通しを持ちながら、仕事にメリハリをつけるよう働きかけている。年休取得も推進しており、平均取得日数が10日位になっている。

Q 今後の課題等は？

A 朝練習も部分的に行っているが、20分くらいでは、意味がないと考えている。また、子育て中の若い職員も部活動に負担感を感じている。退勤と下校のすり合わせも必要。思い切った見直しが必要と思う。一方で、楽な方向に流れないように気をつけなければならない。校務支援システムは大変有効。



D中学校 生徒数 408人

○平均時間外在校等時間 43:42 ○分散値 0.624 ○平均年齢 34.8歳 ○平均持ち時数 17.6時間

SSS の活用	留守番 電話	部活朝 練なし	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

Q 中規模の中学校の中では、在校等時間が少ない。また、若手が非常に多い。

取組も充実しているようだが、どのような取組に手ごたえを感じているか？

A ほとんどが、20、30代の職員。正直、これまでは非常に多かった。

職員の意識を変えるのが大変だった。働き方改革は「人生改革」。浸透しにくい。

取組としては、

①原則、部活動の朝練習はしていない。

(大会前だけ例外的に実施)

②ペーパーレス(電子化)の推進

・授業プリントの電子化

(プリントの印刷・回収なし)

・中間・期末テストに自動採点システムを導入。

7、8割の職員が活用している。将来的にはCBT化を進めていきたい。

・「〇〇だより」の電子化100%。すべてメール配信

なので保護者にも好評である。アンケート類の集計も楽になった。

③行事のスリム化

・例えば、体育祭を2時間以内で開催(9:00~11:00)。一人3種目全体競技を中心に。

飾りなどもシンプルに行ったが、特にマイナス面での影響はなかった。

④集会のオンライン化

・生徒会選挙などオンラインで行った。

⑤通知表の見直し

・PTA、学校運営協議会の同意を得て、通知表の見直しを行い所見の部分を廃止した。

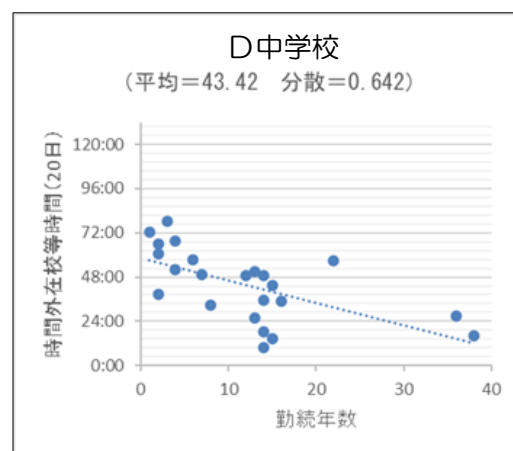
生徒の様子等については、夏休みの面談で丁寧に説明した。

⑥職員会議のスリム化

・完全にペーパーレス化し、会議時間も30分以内に短縮した。

その他、校長会として押印廃止の整備や出張をオンラインに変えていくなど市教委に要望している。

今後の課題としては、中学校なので、土日を含めた部活動の在り方を検討していきたい。



E 中学校 生徒数 513 人

○平均時間外在校等時間 44:08 ○分散値 0.289 ○平均年齢 39.7 歳 ○平均持ち時数 20.4 時間

SSS の活用	留守番 電話	部活朝 練なし	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○		○	○	○	○	○	○		○	○

Q 中学校で最も時間外在校等時間の分散値（ばらつき）が小さい学校である。成果の秘訣は何か？

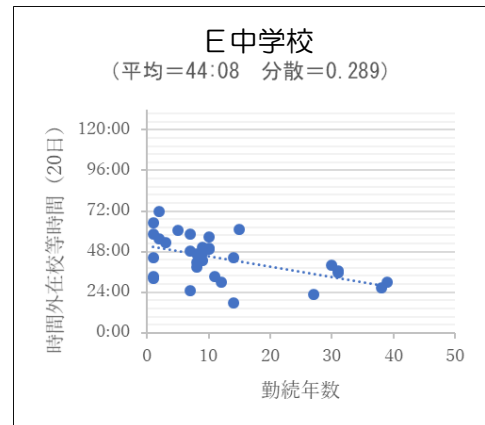
A 一番は、意識改革。すりこみである。

教頭を中心に、「すいすい水曜日」やふれあいデー、いろいろな場所や場面で声をかけ合っている。

学年主任の意識が高く、声をかけてくれている。学年会でも終了時刻を決めて行っている。

ベテランの中に、ロールモデルとなっている女性職員がいることも大きい。

これまでも、組織や行事の見直しを行ってきたが、コロナをプラス思考で捉え、変革のチャンスとしていきたい。



F 中学校 生徒数 273 人

○平均時間外在校等時間 42:04 ○分散値 0.39 ○平均年齢 38.9 歳 ○平均持ち時数 19.7 時間

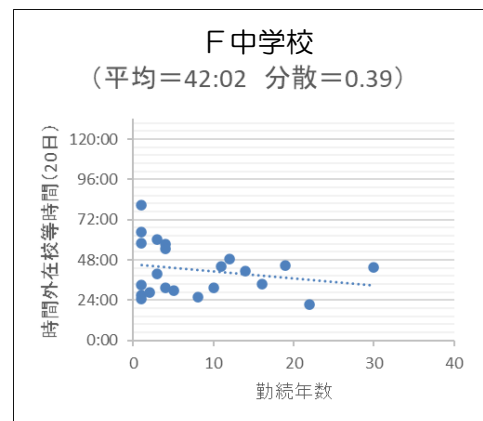
SSS の活用	留守番 電話	部活朝 練なし	ノー残 業デー	計画年 休	行事の 精選	カエル 会議	口座振 込	校務支 援シス	会議見 直し	終了時 刻設定
○		○	○	○	○	○	○		○	

Q 在校等時間や分散値が抑えられている。効果的な取組は？

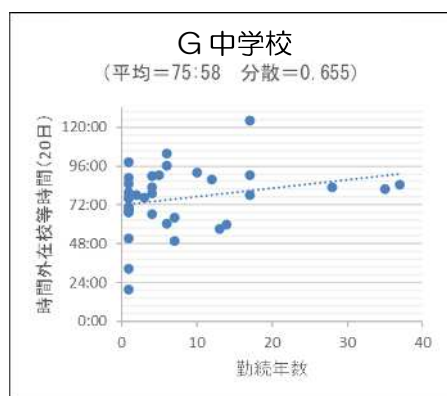
A 県の実践事例集を踏まえ、3年計画で働き方改革をすすめている。ふれあいデーの日は日課表を工夫し、放課後を空けて、定時退勤を目指している。このようなことが定着してきた。年休取得や調整など、かなり前進している。メールシステムを活用した欠席連絡や会議の効率化も進んでいる。校務支援システムが導入されれば(R4.3)、さらに業務改善が進むはずである。

Q 課題は？

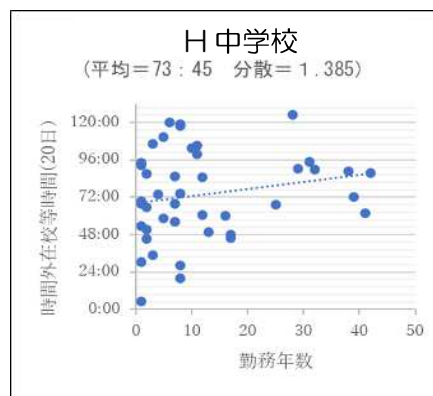
A 年休取得のさらなる推進。職員用QU活用による人間関係の構築。業務改善会議の充実。



<参考>



最も平均時間外在校等時間が大きかった学校



最も分散値(ちらばり)大きかった学校

まとめ

1 共通した取組

学校質問紙調査と電話による聞き取りより、多くの優良校に共通した取組は、主として以下の12項目であった。業務改善スタンダードは、以下の項目とリンクしている。

- ①教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の活用
- ②勤務時間外の電話対応についての留守番電話の導入と活用
- ③小学校における教科担任制の導入
- ④中学校における部活動朝練習の見直し(廃止)
- ⑤ノー残業デー、ふれあいデーの実行
- ⑥計画年休の取得促進
- ⑦行事の精選や運営方法の工夫・改善
- ⑧業務改善に係る会議の実施
- ⑨給食および学級・学年費等の口座振込の実施
- ⑩校務支援システムの導入・活用
- ⑪職員会議等の運営方法の工夫と効率化
- ⑫退勤時間の目標設定と徹底

2 その他、効果のある取組

優良校の校長先生への聞き取りの中で特に印象に残った取組を整理してみると、以下のようになる。

- 教頭先生が、退勤時間の目標を早めに呼びかけ、声掛けを行っている。
- 鍵の管理は、管理職だけが行っている。

Ⅵ 有識者による考察（明星大学 神林寿幸先生）

○明星大学の神林寿幸先生に依頼し、本調査結果について、専門家の視点から分析を行ってもらうこととした。

神林寿幸 先生

- ・所属：明星大学教育学部教育学科常勤講師
- ・委員等：公立小学校・中学校教員勤務実態調査研究（文部科学省委託事業）平成 29 年度等

1 本章の概要

本章では、埼玉県教育委員会が令和 3 年に実施した「埼玉県小・中学校働き方改革に係る実態調査」（以下、本調査とする）のデータを用いて、次の 2 点について分析や考察を行う。

分析・考察の 1 点目として、本調査と文部科学省や他の教育委員会が実施した勤務実態調査の比較から、本調査が示す埼玉県内の公立小・中学校で働く教諭（主幹教諭を含む、以下同様）の勤務日 1 日の学内勤務時間をめぐる特徴について考察を試みる。比較にあたり、各調査は調査方法や調査時期が異なること、そして本調査が新型コロナウイルス感染拡大の下で行われたことに留意する必要がある。その上で、本調査が示す埼玉県内の公立小・中学校教諭の特徴として、次の 3 点が明らかになった。

- 全体の勤務日 1 日の学内勤務時間は短い。
- 授業準備や成績処理等から構成される児童生徒の指導に間接的にかかわる業務時間が長い。
- 授業以外の児童生徒に対する指導の時間が短い。

以上の結果が得られた背景には、教育行政ならびに各学校に勤務されている教職員による学校の働き方改革の成果が出ていることと、新型コロナウイルス感染拡大による影響が推察される。

分析・考察の 2 点目として、小・中学校それぞれの「業務改善スタンダード」に掲載されている取組の中で、本調査の項目に設定された各学校での働き方改革に関する取組の実施状況と、小・中学校教諭の時間外在校時間の関係を分析する。これによって、教員の労働時間削減に有効と考えられる取組を導出する。分析の結果、小・中学校で共通して、教諭の時間外在校時間を削減するために有効と考えられる施策は、退勤時間の目標設定・徹底があげられる。その他、小学校で特に有効と考えられる施策として留守番電話の導入・活用があげられ、中学校については教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の活用があげられる。

2 分析Ⅰ—本調査で観察された小・中学校教諭の学内勤務時間（勤務日 1 日）に関する特徴

(1) 方法

ここでは、本調査と文部科学省や他の教育委員会が実施した勤務実態調査の比較を行い、本調査が示す埼玉県内の公立小・中学校で働く教諭の勤務日 1 日の学内勤務時間に関する特徴を考察す

る。平成28年に文部科学省が実施した「第2回教員勤務実態調査」（株式会社リベルタス・コンサルティング [編] 2018）以降、各教育委員会は類似の調査を実施しており、本調査もその一つといえる。ここでは、文部科学省「第2回教員勤務実態調査」が実施された平成28年度以降に実施された調査の中から、本調査と同様の方式で小・中学校教諭の勤務日1日の学内勤務時間を調査したもので、筆者がインターネットを通じて入手することのできた7つの先行調査（表1）を本調査の比較対象に用いる。

各調査を使って比較を行うためには、業務分類をそろえる必要がある。今回分析に用いる先行調査のほとんどには、若干の違いがあるものの、平成28年の文部科学省「第2回教員勤務実態調査」で使用された業務分類が使用されている。本分析では、平成18年の文部科学省「第1回教員勤務実態調査」の集計で使用された業務大分類（国立大学法人東京大学 [編] 2007）を参考に、まず「児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業）」「児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業外）」「児童生徒の指導に間接的にかかわる業務」「学校の運営にかかわる業務・その他の校務」「外部対応」の5つの業務大分類に基づいた比較を行う。次に、これら5つの業務の中で、本調査で特徴的な傾向を示す業務の詳細を分析する。なお、業務大分類と本調査が使用した業務分類の対応は表2に示すとおりである。

また、各調査が公表する職名別の勤務日1日の学内勤務時間に関する集計結果も異なる。本分析では参照するすべての調査で勤務日1日の学内勤務時間に関する集計結果が公表されている教諭に着目する。なお、各調査の教諭の集計結果には主幹教諭や指導教諭が含まれている。本調査の職名別集計では教諭と主幹教諭が分かれているが、本分析では他の調査結果と比較するために、本調査の数値には、教諭と主幹教諭を合わせた平均値を概算したものをを用いる。具体的には、本調査で明らかになった教諭と主幹教諭それぞれについて、勤務日1日の学内勤務時間の平均値、有効回答者数の2つの指標を用いて、教諭と主幹教諭を合わせた平均値を算出した。

最後に、比較の際の留意点として、2点あらかじめ述べておきたい。第1に、調査時期によって、教員の労働時間に関する調査結果は変わるという点である。先行研究（神林 2017、みずほ情報総研株式会社 [編] 2018 等）で明らかにされているように、教員の勤務実態は時期による変動が大きい。そのため、2つの調査の間で教員の労働時間に差が確認されたとしても、それは調査時期の違いによる影響を受けたものと考えられる。今回の比較対象である調査は10月から12月にかけて実施されたものである。本調査と調査時期が異なることから、得られる集計結果も異なる可能性を考慮に入れなければならない。

第2に、本調査が新型コロナウイルス感染拡大の下で行われた調査であるという点である。本分析が比較対象とする調査は、いずれも新型コロナウイルス感染症が国内で流行した令和2年以前に行われた。これに対して、本調査は新型コロナウイルス感染拡大の中で実施されたことから、本調査が示す教員の勤務実態は新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた可能性がある。本分析結果を解釈する際にはこの点にも留意が必要である。

表1 本調査との比較に用いる先行調査の概要

調査主体名	調査名	調査時期	調査対象
文部科学省	公立小学校・中学校等教員勤務実態調査	2016年10月17日～10月23日、10月24日～10月30日、11月7日～11月13日、11月14日～11月20日の中から任意の7日間を1つ選択	<ul style="list-style-type: none"> ●全国の公立小学校400校に勤務する校長、副校長・教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭7,036名（※以上、有効回答者数） ●全国の公立中学校400校に勤務する校長、副校長・教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭8,062名（※以上、有効回答者数）
北海道教育委員会	教育職員の時間外勤務等に係る実態調査	第I期：2016年11月7日～20日、第II期：2016年12月5日～18日	<ul style="list-style-type: none"> ●道内の公立小学校28校に勤務する校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭等（第I期476名、第II期466名） ●道内の公立中学校28校に勤務する校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭等（第I期455名、第II期472名）
神奈川県教育委員会	市町村立学校勤務実態調査	2017年11月～12月のうち、連続する7日間	<ul style="list-style-type: none"> ●県内公立小学校60校にフルタイムで勤務する校長、教頭、総括教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭（臨時的任用職員及び再任用職員を含む。）1,538名 ●県内公立中学校30校にフルタイムで勤務する校長、教頭、総括教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭（臨時的任用職員及び再任用職員を含む。）864名
川崎市教育委員会	教職員の勤務実態調査（タイムスタディ調査）	2017年10月17日～11月22日のうち、行事・祝日等のない通常業務を行っている連続する7日間	<ul style="list-style-type: none"> ●市立小学校16校に勤務する校長、教頭、総括教諭、教諭、養護教諭、学校栄養職員、学校事務職員426名 ●市町村立中学校8校に勤務する校長、教頭、総括教諭、教諭、養護教諭、学校栄養職員、学校事務職員262名
東京都北区教育委員会	北区立学校教員勤務実態調査	2018年10月15日～2018年11月18日のうち、連続した7日間の業務を記録	<ul style="list-style-type: none"> ●区立小学校35校に勤務する校長、副校長、主幹教諭、主任教諭、教諭、主任養護教諭・養護教諭、栄養教諭、臨時的任用教員764名 ●区立中学校12校に勤務する校長、副校長、主幹教諭、主任教諭、教諭、主任養護教諭・養護教諭、栄養教諭、臨時的任用教員295名
山梨県教育委員会	山梨県教員勤務実態調査	2017年10月16日～10月22日	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の公立小学校65校に勤務するフルタイムの校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭・講師、実習助手、養護教諭、栄養教諭（再任用・臨時的任用職員を含む。）1,142名 ●県内の公立小学校42校に勤務するフルタイムの校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭・講師、実習助手、養護教諭、栄養教諭（再任用・臨時的任用職員を含む。）894名
広島県教育委員会	教員勤務実態調査	2018年10月15日～10月28日のうち、原則、月曜日を始期とした連続する7日間	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の公立小学校65校に勤務する校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭（助教諭、講師）、養護教諭（養護助教諭）、栄養教諭等1,141名 ●県内の公立中学校40校に勤務する校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭（助教諭、講師）、養護教諭（養護助教諭）、栄養教諭等690名

表2 業務大分類と本調査の業務分類の対応

業務大分類	本調査の業務分類
A-1	授業
A-2	登下校指導等
A-2	部活動・各種大会練習
A-2	補習
A-2	生徒指導（集団）・集会
A-2	個別の面談等
A-2	生徒会指導
A-2	行事（準備・練習を含む）
B	授業準備
B	成績処理
B	学年・学級
C	会議・打合せ
C	会計処理
C	校内研修
C	その他事務（書類作成等）
D	保護者・PTA活動対応
D	地域対応
D	行政・関係機関対応
C	校務としての研修（校外）
A-2	部活動・各種大会関係
C	会議・打合せ・その他（校外）
C	出張に伴う移動
C	コロナ対応業務（消毒等）
C	その他

(注) A-1：児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業）
A-2：児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業外）
B：児童生徒の指導に間接的にかわる業務
C：学校の運営にかかわる業務・その他の校務
D：外部対応

(2) 結果と考察

①小学校教諭

図1は、小学校教諭の勤務日1日の学内勤務時間について、業務大分類に基づいた各調査結果が示す平均値を比較したものである。図1から、本調査が示す埼玉県内で働く公立小学校教諭の特徴として、3点指摘ができる。

第1に、本調査の小学校教諭は勤務日1日の学内勤務時間が短い。すべての平均業務時間を足し合わせると、本調査は10時間38分であった。比較対象である7つの調査のうち、本調査の数値を上回る調査は平成28年の文部科学省「第2回教員勤務実態調査」等の5つであった。

第 2 に、他の調査よりも本調査では、児童生徒の指導に間接的にかかわる業務に費やす時間が長い。児童生徒の指導に間接的にかかわる業務に該当する平均業務時間の合計は、本調査が 2 時間 50 分であった。これは比較対象の 7 調査すべての数値よりも長い。

さらに、図 2 が示すとおり、児童生徒の指導に間接的にかかわる業務について詳細な分析を進めると、当該業務のうち、本調査で平均業務時間が長いのは学年・学級経営であることがわかる。学年・学級経営に関する業務時間は、本調査が勤務日 1 日あたりの平均で 46 分であった。これに対して、他の 7 調査では勤務日 1 日あたりの平均時間が 17 分から 27 分の範囲であった。本調査で学年・学級経営に関する業務時間が長い背景には、本調査が実施された 6 月という時期による影響も考えられるが¹、新型コロナウイルス感染症への学級や学年レベルでの対応に伴う業務量が増大したことも推察される。

第 3 に、児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業以外）に費やす時間が短い。この業務に該当する業務の平均時間をすべて合わせると、本調査の数値は 1 時間 16 分であった。これは比較対象の 7 調査すべての数値よりも短い。

さらに、図 3 のとおり、児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業以外）の内訳でみると、当該業務のうち、特に本調査の平均業務時間が短いのは登下校指導、補習、行事であった。小学校教員の登下校指導時間について、本調査の職名別・勤務日 1 日あたりの業務時間に関する集計結果が示すように、校長の費やす時間が長い。データの制約もあり直接の検証は難しいが、埼玉県内の公立小学校では、教諭よりも校長が登下校指導を担うという特徴がうかがえる。補習と行事について、本調査の実施時期である 6 月がこれら 2 つの業務の閑散期であることが影響したことも考えられる。あわせて、新型コロナウイルス感染拡大による影響も推察される。感染症の流行により社会的距離の確保等が求められるなかで、児童への教育指導に制約が生じ、他の調査と比べて本調査で、小学校教諭の補習や行事に費やす時間が短くなった可能性もうかがえる。

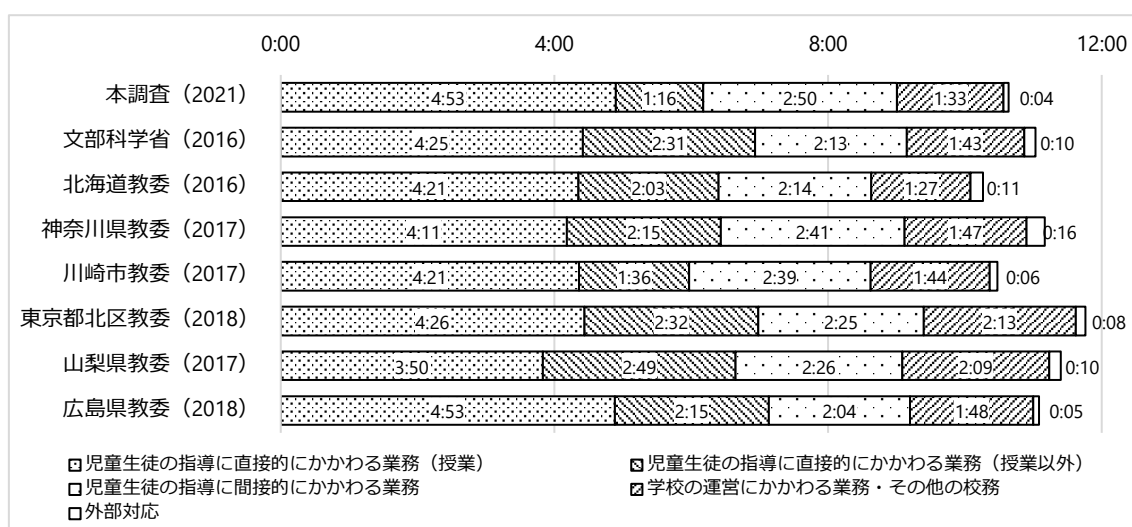


図 1 小学校教諭の学内勤務時間（勤務日 1 日平均）

¹6月 は学級崩壊やクラスでいじめが発生しやすい時期として「6月危機」と呼ばれる（赤坂 2019）。

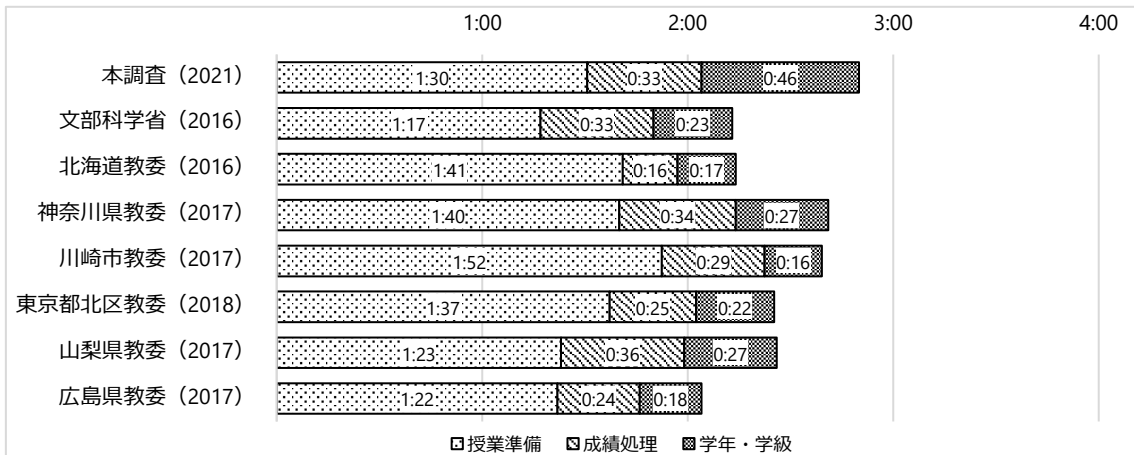


図2 小学校教諭の児童生徒の指導に間接的にかかわる業務の内訳(勤務日1日平均)

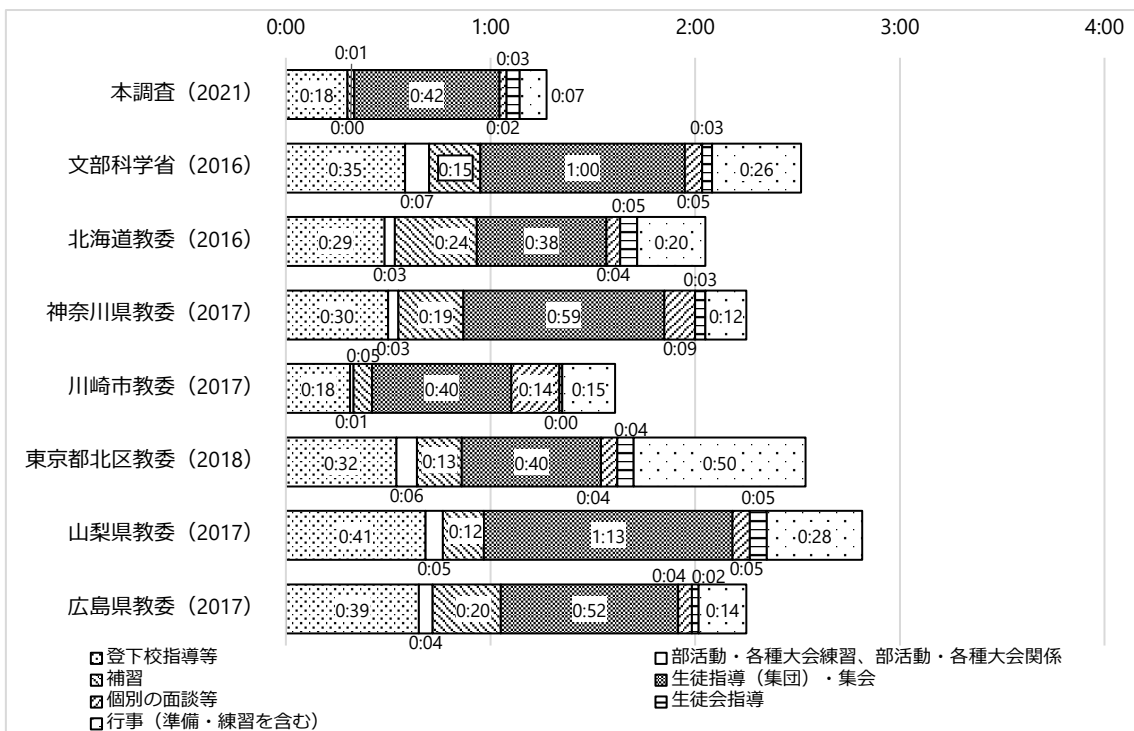


図3 小学校教諭の児童生徒の指導に直接的にかかわる業務(授業以外)の内訳(勤務日1日平均)

②中学校教諭

次に、中学校教諭の結果と考察を記す。図4は、中学校教諭の勤務日1日の学内勤務時間について、業務大分類に基づいた各調査結果が示す平均値を比較したものである。先述した公立小学校教諭の分析結果と同様に、図4から、本調査が示す埼玉県内で働く公立中学校教諭の特徴として、3点指摘ができる。

第 1 に、本調査対象である中学校教諭は勤務日 1 日の学内勤務時間が短い。すべての平均業務時間を足し合わせると、本調査は 10 時間 57 分であった。比較対象である 7 調査のうち、本調査の数値を上回る調査は平成 28 年の文部科学省「第 2 回教員勤務実態調査」等の 5 つであった。

第 2 に、本調査では、児童生徒の指導に間接的にかかわる業務に費やす時間が長い。児童生徒の指導に間接的にかかわる業務に該当する平均業務時間の合計は、本調査が 3 時間 34 分であった。これは比較対象の調査の数値よりも長い。

さらに、図 5 が示すとおり、児童生徒の指導に間接的にかかわる業務について詳細な分析を進めると、当該業務のうち、本調査で平均業務時間が長いのは学年・学級経営であることがわかる。学年・学級経営に関する業務時間は、本調査が勤務日 1 日あたりの平均で 1 時間 8 分であった。これに対して、他の 7 調査では勤務日 1 日あたりの平均時間が 30 分から 47 分の範囲であった。小学校教諭の分析・考察と同様に、中学校教諭も調査時期と新型コロナウイルス感染拡大双方からの影響を受けて、本調査が示す結果が得られたと考えられる。

第 3 に、児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業以外）に費やす時間が短い。これに該当する業務の平均時間をすべて合わせると、本調査の数値は 2 時間 18 分であった。これは比較対象の 7 調査すべての数値よりも短い。

さらに、図 6 のとおり、児童生徒の指導に直接的にかかわる業務（授業以外）の内訳でみると、当該業務のうち、特に本調査の平均業務時間が短いのは登下校指導、補習、生徒指導（集団）・集会、個別の面談、行事であった。職名別の勤務日 1 日あたりの平均業務時間に関する集計が示すように、小学校と同様に、中学校の登下校指導に費やす時間は校長で長い。中学校でも校長が登下校指導に時間を費やす代わりに、教諭が登下校指導に費やす時間は短いという特徴がうかがえる。補習、生徒指導（集団）・集会、行事については、小学校と同様の理由が考えられる。すなわち、上記のような分析結果が得られた背景には、本調査の実施時期（6 月）がこれらの業務の閑散期であること、新型コロナウイルス感染拡大に伴い生徒への教育指導に制約が生じたことがあると思われる。

他方で、図 6 をみると、本調査では部活動関連の業務時間が長い。この背景には調査時期による影響が考えられる。本調査が実施された令和 3 年 6 月と、その翌月である 7 月には、埼玉県中学校体育連盟主催の学校総合体育大会（中学校の部）が開催された²。この大会に向けた練習や準備を行う時期が本調査時期と重なり、本調査が示す中学校教諭の部活動関連業務の長さにつながったと思われる。

² 埼玉県中学校体育連盟「令和 3 年度 埼玉県学校総合体育大会＜中学校の部＞実施要項」（入手先 URL：<https://www.saitama-chuutairen.jp/%E7%9C%8C%E5%A4%A7%E4%BC%9A/>、最終アクセス日：2021 年 11 月 8 日）。

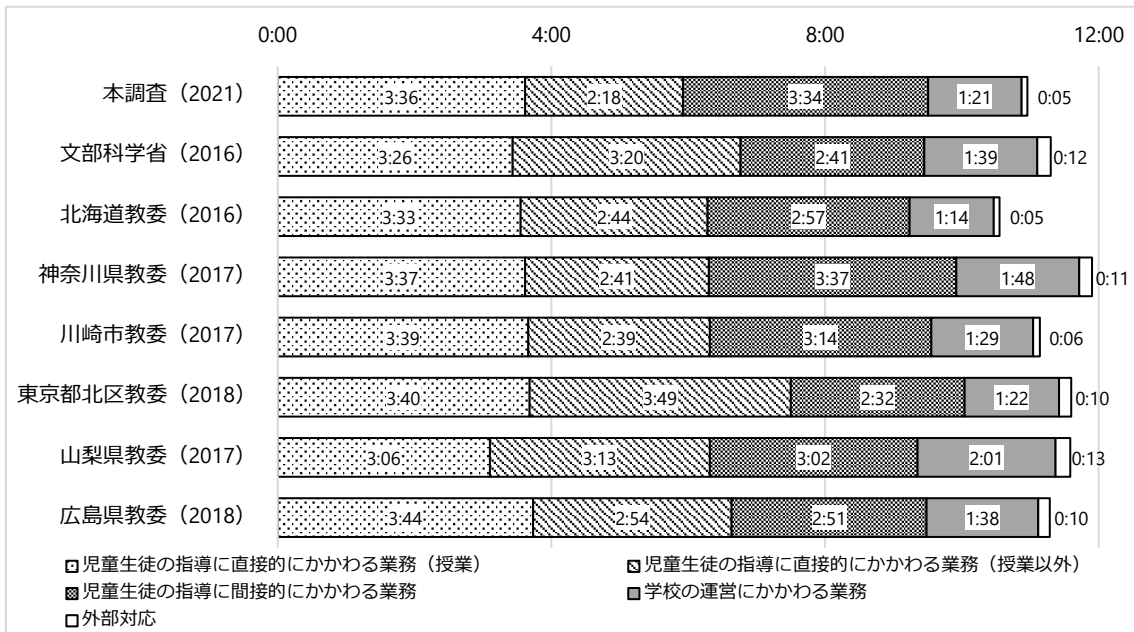


図4 中学校教諭の学内勤務時間(勤務日1日平均)

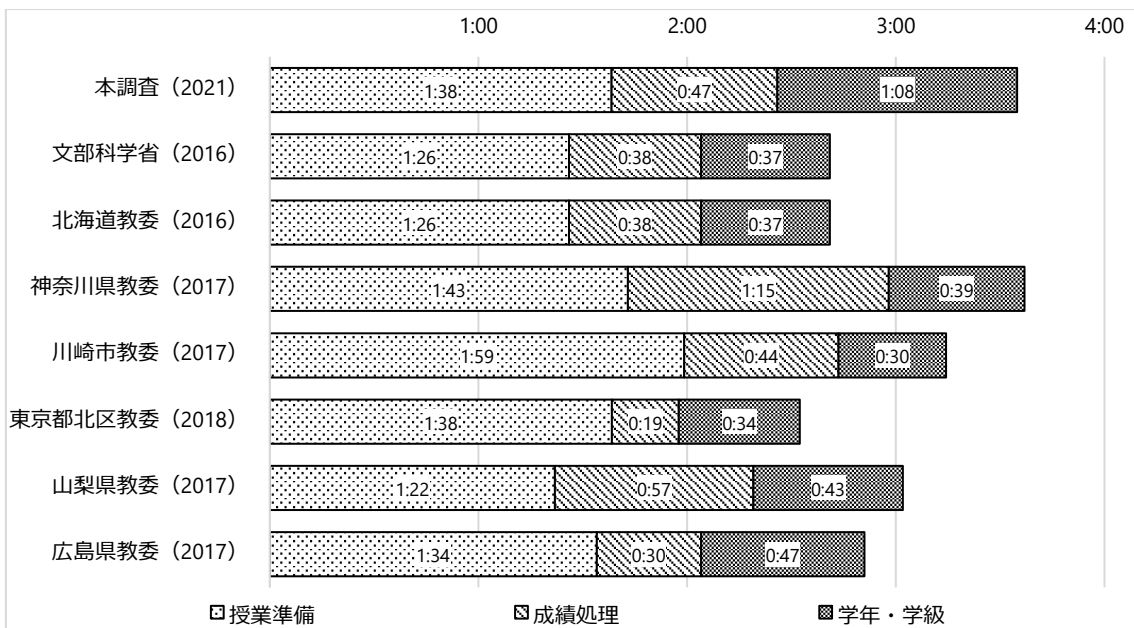


図5 中学校教諭の児童生徒の指導に間接的にかかわる業務の内訳(勤務日1日平均)

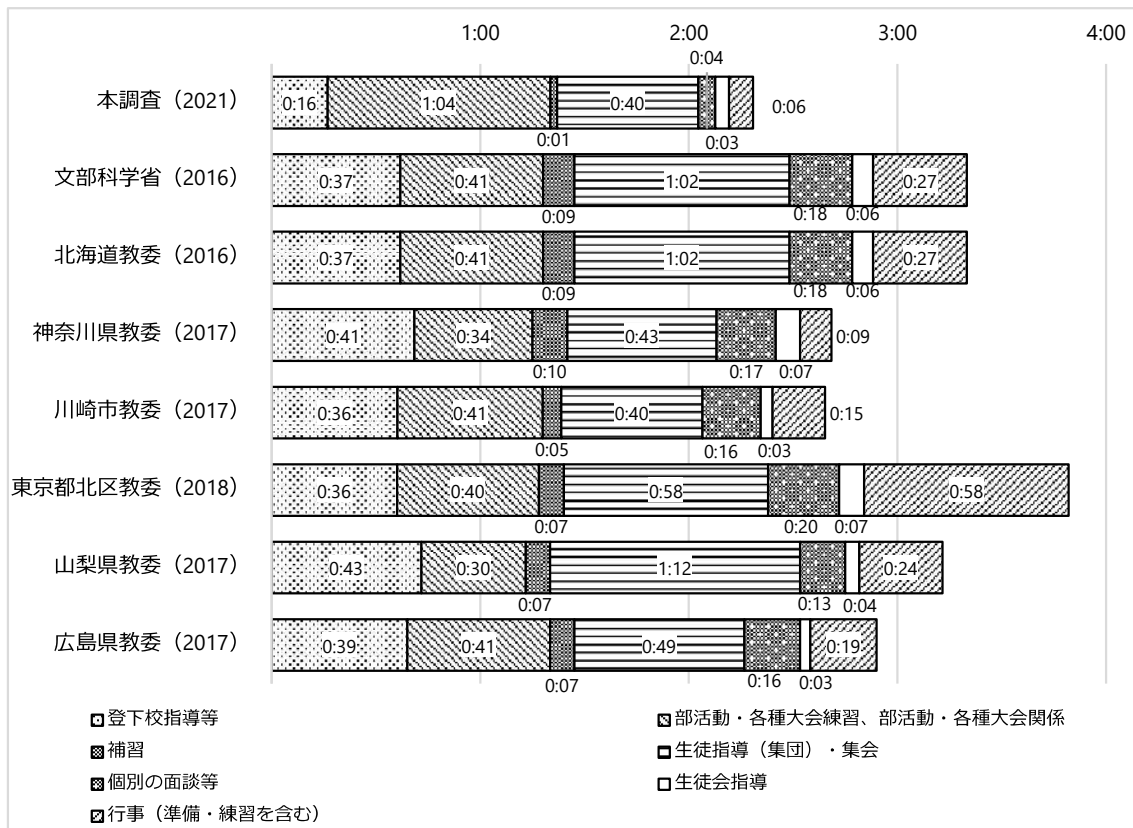


図6 中学校教諭の児童生徒の指導に直接的にかかわる業務(授業以外)の内訳(勤務日1日平均)

3 分析Ⅱ—小・中学校教諭の労働時間削減に有効な取り組みの探索

(1) 方法

各学校での働き方改革に関する取組として、本調査では27の実施状況を調査した。これら27の取組の中から、「業務改善スタンダード」に掲載された関連施策は、表3のようにまとめられる。本分析では小・中学校教諭の労働時間削減に有効な取組を探索するために、小学校の10施策、中学校の9施策それぞれと小・中学校教諭の時間外在校時間との関係を分析する。具体的には分散分析を行い、各施策と教諭の時間外勤務との関係について有意性の検定を行う。さらに、各施策の教諭の時間外在校時間に対する効果量(偏イータ二乗)を算出し、小・中学校教諭の時間外在校時間と結びつきが強い施策を探る。

なお、分析にあたっては、今回着目する施策以外に教諭の時間外在校時間に影響を与える要因を統制する必要がある。本分析では、学校規模、教諭の年齢、性別、部活動顧問担当の有無(中学校のみ)を統制要因として設定したうえで、上記施策と教諭の時間外在校時間の関係を分析する。

表3 本分析が着目する学校の働き方改革に関する施策

小学校	中学校
持ち時数の見直しを行うなど、指導体制の工夫	部活動の朝練平均時間
職員会議等の効率化	職員会議等の効率化
教科担任制や交換授業などの導入	持ち時数の見直しを行うなど、指導体制の工夫
教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の導入・活用	行事の精選や運営方法の工夫・改善
行事の精選や運営方法の工夫・改善	退勤時間の目標設定・徹底
退勤時間の目標設定・徹底	業務改善に係る会議の実施
学年・学級事務に関する取組の工夫・改善	教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の導入・活用
留守番電話導入・活用	学校運営協議会で働き方改革について議論
登校時の児童生徒の見守り活動等に関する体制	教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ
教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ	

(2) 結果と考察

分析結果は表4のとおりである。まず、小学校教諭の分析で用いた10施策のうち、小学校教諭の時間外在校時間と5%水準で有意な関連が確認されたもので、効果量である偏イータ二乗の値が大きい順に並べると、「留守番電話導入・活用」「教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ」「退勤時間の目標設定・徹底」「学年・学級事務に関する取組の工夫・改善」「持ち時数の見直しを行うなど、指導体制の工夫」「職員会議等の効率化」の6つであった。

次に、中学校教諭の分析で用いた9施策のうち、中学校教諭の時間外在校時間と5%水準で有意な関連が確認されたもので、効果量である偏イータ二乗の値が大きい順に並べると、「業務改善に係る会議の実施」「退勤時間の目標設定・徹底」「教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ」「教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の導入・活用」「学校運営協議会で働き方改革について議論」「行事の精選や運営方法の工夫・改善」の6つであった。また、10%水準で中学校教諭の時間外在校時間と有意な関連が確認されたものが「職員会議等の効率化」であった。

以上の分析結果を踏まえて、本分析で着目した施策の中で、教諭の時間外在校時間の削減効果が大きいのは、小学校では「留守番電話の導入・活用」「教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ」「退勤時間の目標設定・徹底」といえる。

これら3施策の実施状況別に、教諭の性別、年齢、担当学級、勤務校の学校規模等を統制した上で小学校教諭の時間外在校時間の平均値を算出したものが図7である。「留守番電話の導入・活用」を「行っていない」という小学校に勤務する教諭の勤務日1日あたり時間外在校時間は、「よく行っている」という教諭と比べて平均して0.232時間長く、「どちらかといえば行っている」という教諭よりも0.762時間長かった（図7）。実施状況による一貫した効果は確認できないが、留守番電話の導入を行っているか否かという大きな違いにより、小学校教諭の時間外在校時間が異なる現状がうかがえる。「教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ」については、「よく行っている」という小学校教諭は「どちらかといえば行っている」という教諭よりも0.208時間、「どちらかといえば行っていない」という教諭よりも0.298時間だけ時間外在校時間が短かった。「退勤時間の目標設定・徹底」については、「よく行っている」という小学校教諭は「ど

らかといえは行っている」という教諭よりも 0.186 時間、「どちらかといえは行っていない」という教諭よりも 0.341 時間だけ時間外在校時間が短かった。

中学校では「業務改善に係る会議の実施」「退勤時間の目標設定・徹底」「教員業務支援員（カール・ポト・スツ）の導入・活用」による教諭の時間外在校時間の削減効果が大きいといえる。これら 3 施策の実施状況別に、教諭の性別、年齢、担当学級、勤務校の学校規模等を統制した上での中学校教諭の時間外在校時間の平均値を算出したものが図 8 である。「業務改善に係る会議の実施」については、実施状況による一貫した結果が得られていないものの、「どちらかといえは行っている」という教諭は、「よく行っている」という教諭よりも 0.377 時間、「どちらかといえは行っていない」という教諭よりも 0.199 時間、「行っていない」という教諭よりも 0.449 時間だけ時間外在校時間が短かった。「退勤時間の目標設定・徹底」については、「よく行っている」という教諭は、「どちらかといえは行っていない」という教諭よりも 0.289 時間、「行っていない」という教諭よりも 0.550 時間だけ時間外在校時間が短かった。

なお、図 8 が示すとおり、「教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ」については、多重比較で「行っていない」という教諭の時間外勤務時間が他の教諭よりも短いという結果が得られた。しかし、これは教諭の時間外勤務が短いことから、そもそも教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけが不要という逆因果の実態を示すものと考えられる。したがって、中学校教諭で「教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ」の効果量は相対的に大きいものの、当該施策は中学校教諭の時間外在校時間縮減に効果があるとは評価できない。

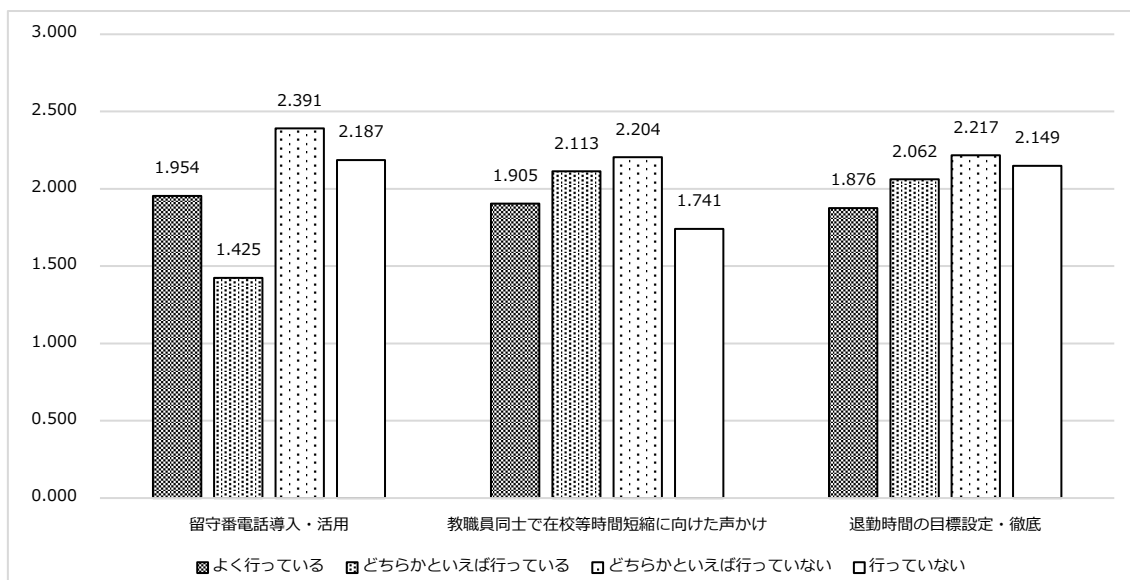
「教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ」に次いで、偏イータ二乗の値が大きかったのは「教員業務支援員（カール・ポト・スツ）の導入・活用」であった。図 9 が示すように、平均値比較の結果、教員業務支援員（カール・ポト・スツ）の導入・活用で「活用していない」という中学校に勤務する教諭に比べて、「活用している」という中学校に勤務する教諭では、0.209 時間だけ時間外在校時間が短かった。したがって、中学校教諭の時間外勤務時間削減には教員業務支援員（カール・ポト・スツ）の活用は有効な施策と考えられる。

最後に、本分析の課題について言及する。本分析はクロスセクションの観察データに基づくものである。より厳密な施策の効果を検証するためには、介入研究が今後必要である。

表4 小・中学校教諭の時間外在校時間に対する学校の働き方改革に関する施策の効果量

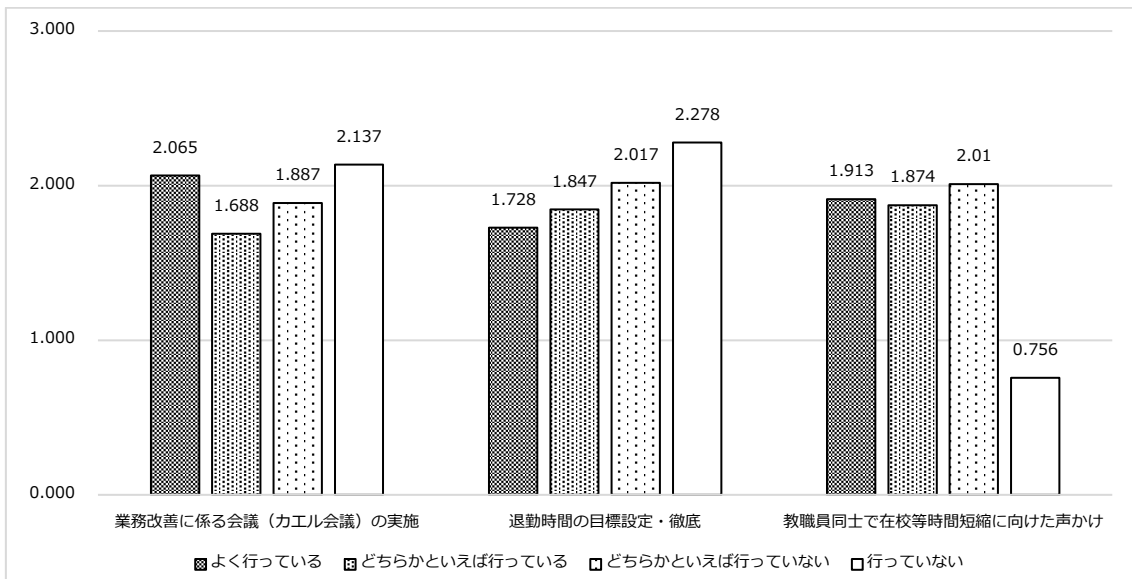
	小学校		中学校	
	偏イータ二乗		偏イータ二乗	
教科担任制や交換授業などの導入	.005			
学年・学級事務に関する取組の工夫・改善	.013 **			
留守番電話導入・活用	.040 ***			
登校時の児童生徒の見守り活動等に関する体制	.003			
部活動の朝練平均時間			.001	
業務改善に係る会議の実施			.034 ***	
学校運営協議会で働き方改革について議論			.012 **	
持ち時数の見直しを行うなど、指導体制の工夫	.008 *		.003	
職員会議等の効率化	.007 **		.003 †	
教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の導入・活用	.002		.014 ***	
行事の精選や運営方法の工夫・改善	.001		.005 *	
退勤時間の目標設定・徹底	.021 ***		.018 ***	
教職員同士で在校等時間短縮に向けた声かけ	.023 ***		.018 ***	

(注) *** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$, † $p < .10$.



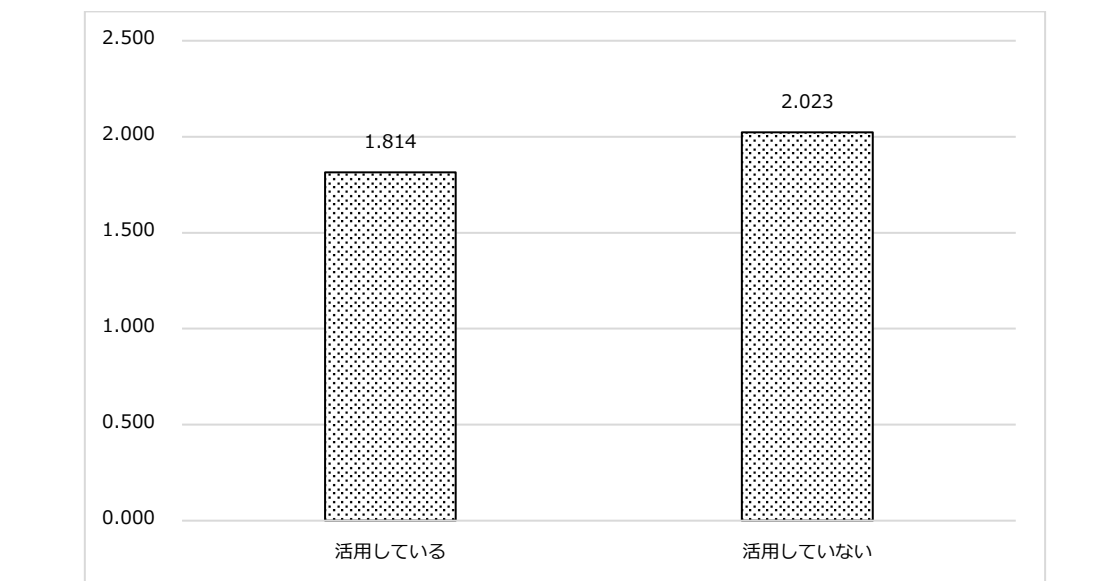
(注) 上記は、性別、年齢、担任担当の有無、勤務校の児童数を統制したうえでの数値（児童数459.78名の学校の推計値）を表す。

図7 教諭の時間外在校時間(勤務日1日)への効果量が大きかった学校の働き方改革施策 (小学校)



(注) 上記は、性別、年齢、担任担当の有無、勤務校の生徒数を統制したうえでの数値（生徒数469.71名の学校の推計値）を表す。

図8 教諭の時間外在校時間(勤務日1日)への効果量が大きかった学校の働き方改革施策
(中学校)



(注) 上記は、性別、年齢、担任担当の有無、勤務校の生徒数を統制したうえでの数値（生徒数469.71名の学校の推計値）を表す。

図9 教諭の時間外在校時間(勤務日1日)と教員業務支援員(スクールサポートスタッフ)の活用状況
(中学校)

引用文献

赤坂真二(2019)「学級経営ガイドブック(1)ー『6月危機』を考える」『教育 zine』(入手先 URL : <https://www.meijitoshoco.jp/sp/eduzine/guide/?id=20190379>、最終アクセス日 : 2021年11月8日)。

神林寿幸（2017）『公立小・中学校教員の業務負担』大学教育出版。
株式会社リベルタス・コンサルティング〔編〕（2018）『「公立小学校・中学校等教員勤務実態調査研究」調査研究報告書』（平成 29 年度文部科学省委託研究報告書）。
国立大学法人東京大学〔編〕（2007）『教員勤務実態調査（小・中学校）報告書』（平成 18 年度文部科学省委託調査研究報告書）。
みずほ情報総研株式会社〔編〕（2018）『過労死等に関する実態把握のための労働・社会面の調査研究事業報告書（教職員に関する調査）』（平成 29 年度厚生労働省・文部科学省委託調査）。

参照資料

北海道教育委員会（2017）『教職員の時間外勤務等に係る実態調査』。
神奈川県教育委員会（2018）『市町村立学校勤務実態調査の調査結果について』。
川崎市教育委員会（2019）『教職員の勤務実態調査（最終報告）』。
東京都北区教育委員会（2019）『北区立学校教員勤務実態調査（集計結果）』。
山梨県教育委員会（2018）『山梨県教員勤務実態調査の集計結果について』。
広島県教育委員会（2019）『教員勤務実態調査の結果について（平成 30 年度）』。

Ⅶ おわりに

本調査結果から、平日における教職員の時間外在校等時間については、平成28年度に実施した勤務状況調査から、改善傾向にあり、これまで、県教育委員会、市町村教育委員会、各学校が実施してきた働き方改革に関する取組が一定の成果を上げていることが明らかとなった。

しかし、依然として教職員の時間外在校等時間は長く、特に校長、教頭、主幹教諭、教諭等については平日1日平均2時間を越える状況にある。

また、今回、週休日等における教職員の在校時間や業務の持ち帰りの内容も明らかとなった。教諭等を例にとると、週休日等における教職員の在校時間については、小学校で1日平均13分、中学校で1日平均1時間22分、業務の持ち帰りについては、小学校で1日平均37分、中学校で29分となっており、勤務時間外についても多くの業務を行っていることがわかる。

一方、市町村教育委員会及び各学校においては、働き方改革に関する様々な取組が行われており、本調査によってどのような取組が高いのかを明らかとすることができた。一例として、小・中学校ともに、学校で退校時間を設定・徹底する取組や職員会議等の効率化の取組については、時間外在校等時間の縮減に効果があることがわかった。また、小学校においては、留守番電話の導入など、中学校においては、部活動の朝練習の縮減なども効果があることが分かった。これら効果のあった取組については、「埼玉県業務改善スタンダード」として、市町村教育委員会や各学校において活用しやすい形にまとめた。

本調査の中で実施した管理職対象のアンケートにもあるとおり、まず、教職員の勤務実態を明らかとし、改善の指標としていくことは、働き方改革を進める上で非常に重要である。また、平均値を把握するだけでなく、自校の職員の在校等時間について分散図を作成して自校の勤務実態を把握し、在校等時間の平準化を図ることも重要である。その際には、在校等時間が長くなっている原因について職員一人一人から事情をよく聞き取り、画一的に平準化を図るのではなく、個々の事情に合わせた対応を行っていく必要がある。

現在、県内すべての市町村で客観的な在校時間の把握ができる状況となっていることから、各市町村教育委員会及び各学校においては、把握した勤務実態とあわせ、本調査結果および本調査結果をもとに作成した「業務改善スタンダード」を活用し、教職員の負担軽減に取り組むことを期待する。

(0) 回答者の情報

学校名 年代 性別 種別 担任 個人番号 部活 職名 任用形態 正規の勤務開始時刻 時 分 正規の勤務終了時刻 時 分

(1) アンケート

① 日付

令和3年 月 日 曜日

③ 今日の実際の出退勤時間を入力してください。(週休日に部活・残務処理等で学校に来た場合も入力)

(例) 退勤時間が午後6時5分の場合 → 18時5分と入力してください。

出勤をしなかった場合は、**出勤時間及び退勤時間を0時0分と入力**してください。

実際の出勤時刻 時 分 実際の退勤時刻 時 分

② 今日、どれに当たりますか

- ・勤務日：通常通り勤務(休暇等を取った場合を含む)
- ・週休日(出勤なし)：週休日で学校に来なかった場合
- ・週休日(出勤あり)：週休日だけど部活や残務処理のため学校に来た場合

④ 今日、あなたが授業を行った時数を整数で入力してください。

授業時数 時間 ※ 週休日や1日年休等については「0」と入力

※ 自習監督や補欠授業を行った時間を含む

(2) 在校中の業務記録

時間	児童・生徒の指導にかかわる業務									学校の運営にかかわる業務				外部対応			出張			その他	休憩・補食等	重複チェック					
	授業	登下校指導等	部活動・各種大会練習	補習	生徒指導(集団・集会)	個別の面談等	生徒会指導	行事(準備・練習を含む)	授業準備	成績処理	学年・学級経営	会議・打合せ	会計処理	校内研修	その他事務(書類作成等)	保護者・PTA活動対応	地域対応	行政・関係機関対応	校務としての研修(校外)				部活動・各種大会関係	会議・打合せ・その他(校外)	出張に伴う移動	コロナ対応業務(消毒等)	
5:00																									5:00	OK	
5:30																										5:30	OK
6:00																										6:00	OK
6:30																										6:30	OK
7:00																										7:00	OK
7:30																										7:30	OK
8:00																										8:00	OK
8:30																										8:30	OK
9:00																										9:00	OK
9:30																										9:30	OK
10:00																										10:00	OK
10:30																										10:30	OK
11:00																										11:00	OK
11:30																										11:30	OK
12:00																										12:00	OK
12:30																										12:30	OK
13:00																										13:00	OK
13:30																										13:30	OK
14:00																										14:00	OK
14:30																										14:30	OK
15:00																										15:00	OK
15:30																										15:30	OK
16:00																										16:00	OK
16:30																										16:30	OK
17:00																										17:00	OK
17:30																										17:30	OK
18:00																										18:00	OK
18:30																										18:30	OK
19:00																										19:00	OK
19:30																										19:30	OK
20:00																										20:00	OK
20:30																										20:30	OK
21:00																										21:00	OK
21:30																										21:30	OK
22:00																										22:00	OK
22:30																										22:30	OK
23:00																										23:00	OK
23:30																										23:30	OK

(3) 持ち帰り業務の時間数

今日、あなたが学校から退勤した後に業務(持ち帰り業務)を行った場合に記入してください。(3.0分単位で入力)

授業準備 時間 分 成績処理 時間 分 行事準備 時間 分 学年・学級経営事務 時間 分
 会議・打合せ準備 時間 分 研修準備 時間 分 外部対応準備 時間 分 その他 時間 分

(調査B) 在校等時間調査【個人調査票】

1 学校名等

学校名 _____ 立 _____ 小学校 _____ 職名 _____ 個人番号 _____
 勤続年数 _____ 年 _____ 性別 _____ 年代 _____ 担任等 _____
 勤務開始時刻 _____ 勤務終了時刻 _____
 週当たりの持ち授業時数 _____ 部活動 _____

←各学校で定められている通常の勤務日の勤務時間を入力
セルが赤くなった場合、勤務時間が8:30となっているか確認

2 在校時間等

日付	曜日	在校時間		勤務時間を除く 在校時間	当日の勤務 ※休暇等を取得した 場合も「勤務日」と入 力	当該日に対象教員が 授業を行ったコマ数 (整数で入力)	児童生徒への部活動等指導時 間※市町村の陸上大会等を含む (70分の場合は1:10と入力)	在校時間のうち、 勤務時間外 に行った休憩等の時間 (70分の場合は1:10と入力) 正規の勤務時間内の休憩は除く
		出勤時刻	退勤時刻					
6/14	月							
15	火							
16	水							
17	木							
18	金							
19	土							
20	日							
21	月							
22	火							
23	水							
24	木							
25	金							
26	土							
27	日							
28	月							
29	火							
30	水							
7/1	木							
2	金							
3	土							
4	日							
5	月							
6	火							
7	水							
8	木							
9	金							
10	土							
11	日							

3 集計 (自動集計)

6/14~7/11
の勤務日数 _____ 0 _____ 日

勤務日	勤務時間を除く在校時間合計	0:00
	自己研鑽等の時間合計	0:00
	勤務時間と自己研鑽等を除いた 在校時間の平均 (1日平均)	#DIV/0!
	授業を行った時数の平均 (1日 平均)	#DIV/0!
	部活動等指導時間の平均 (1日 平均)	#DIV/0!

週休日等	在校時間合計	0:00
	自己研鑽等の時間合計	0:00
	自己研鑽等を除いた在校時間の 平均 (1日平均)	#DIV/0!
	部活動等指導時間の平均 (1日 平均)	#DIV/0!

4 アンケート(1) 働き方改革の取組のうち、負担感軽減に効果があると思うものを選び、右の欄に丸を付けてください。(3つ以内)

①学校全体での出退勤時間の徹底や年休の計画的取得などの取組の実施	←○は3つ以内 (4つ以上丸を付けるとセル全体が赤くなりま す。)
②行事の精選、運営方法の工夫改善	
③業務改善に係る会議(かえる会議)の実施	
④校内研修等研修の精選・運営方法の工夫	
⑤会議や打ち合わせの精選・運営方法の工夫	
⑥校務支援システムの導入・活用	
⑦学年だよりや通知表見直しなど事務に関する取組の工夫・改善	
⑧教務や担任外との協力体制や事務負担・持ち時数の見直し	
⑨留守番電話の導入	
⑩地域行事や登校指導など時間外業務の精選・工夫	
⑪部活動の制限(休養日の設定など)	
⑫スクール・サポ-ト・スタッフの導入	
⑬その他 ↓下の欄に内容を入力してください	

4 アンケート(2)

次の項目について、今の状況を①~④の番号で回答してください

	回答
1 朝、目が覚めると、さあ仕事へ行こうという気持ちになる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	
2 自分の仕事に誇りを感じる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	
3 仕事に楽しさややりがいを感じる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	
4 仕事は私に活力を与えてくれる ①いつも感じる ②時々感じる ③めったに感じない ④全くない	
5 仕事等について同僚や管理職に相談しやすい ①しやすい ②どちらかといえばしやすい ③どちらかといえばしにくい ④しにくい	

調査C

働き方改革取組状況調査【学校質問紙】

R3.6

貴校の実施している働き方改革への取組について以下のとおり回答してください。

①「1 学校の基本情報について」には、貴校の情報について記入してください。

②「2 勤務時間の実態について」については、貴校の教職員勤務実態に最も近いものを「質問および回答選択肢」の欄にある①～④の内から1つ選び、「回答」欄にその番号を入力してください。

※入力されたセルはピンクから黄色に変わります。

1 学校の基本情報について(5月1日現在で記入)

1	学校名		
2	学校コード(40B99など5桁のもの)		
3	学校種		
4	回答者職名・氏名		
5	児童・生徒数		
6	通常学級の学級数		学級
7	特別支援学級の学級数		学級
8	常勤県費負担教職員の人数 (5/1現在)		人
9	上記7の職員の平均年齢		歳
10	学校運営協議会の設置		
11	教員1人当たりの1週間の平均授業持ちコマ数 (県費負担の常勤教員の平均)		コマ
12	就学援助家庭の割合(%)		%
13	部活動の数(※小学校は「0」を入力)		
14	部活動の朝練平均時間(●分) 部活動の数(※小学校は「0」を入力)		分
15	通常学級の1クラスの児童・生徒数が35人以下の割合(①～④から選択し、右の欄に記入) ①全て35人以下 ②半数以上の学級が35人以下 ③学級の半数未満が35人以下 ④小学1・2年以外36人以上		
16	スクール・サポート・スタッフを導入し、教員の負担軽減に活用していますか (①、②から選択し、右の欄に記入) ①活用している ②活用していない		
17	障害者会計年度任用職員を配置し、教員の負担軽減のために活用していますか (①、②から選択し、右の欄に記入) ①活用している ②活用していない		

2 働き方に関する実態について

(1) 教職員の健康を意識した働き方の推進について

No	質問及び回答選択肢	回答
1	客観的方法での在校等時間把握をどのように行っていますか ①タイムカード・ICカード ②校務支援システムを利用 ③Excel等ソフトを利用 ④その他	
2	長時間勤務者に対し、管理職が在校等時間の短縮について働き掛けを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
3	長時間勤務者に対し、教職員同士で在校等時間の短縮について声を掛け合っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	

調査C

働き方改革取組状況調査【学校質問紙】

R3.6

4	長時間勤務者について、産業医との面談を実施していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
5	ノー残業デー、ふれあいデーを徹底して実施していますか ①時間を決め、徹底して実施 ②可能な範囲で実施 ③どちらかといえば徹底されていない ④徹底していない	
6	普段から退勤時間の目標設定、徹底などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
7	年休の計画的な取得について取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
8	衛生推進者などを活用して、業務改善を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない・設置していない	

(2) 教職員の専門性を踏まえた総業務量の削減

No	質問及び回答選択肢	回答
9	働き方改革のため、行事の精選や運営方法の工夫・改善などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
10	業務改善に係る会議(いわゆるカエル会議)を実施していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
11	給食および学級・学年費を銀行口座への振り込み等に行っていますか ①両方とも行っている ②給食費のみ行っている ③学級・学年費のみ行っている ④行っていない	
12	校内研修等の研修の精選や運営方法の工夫・改善などを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
13	日課表の見直しを行い、教材研究や事務処理の時間等を確保していますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
14	出張回数の見直しや偏りの解消など出張等に関する取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
15	職員会議等について運営方法を工夫するなどして効率化を図っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	

(3) 教職員の負担軽減のための条件整備

No	質問及び回答選択肢	回答
16	校務支援システムを導入・活用し、負担軽減を図っていますか ①よく活用している ②どちらかといえば活用している ③どちらかといえば活用していない ④導入・活用していない	
17	学年だよりや通知表の見直しなど、学年・学級事務に関する取組の工夫・改善を行っている ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	

調査C

働き方改革取組状況調査【学校質問紙】

R3.6

18	持ち時数の見直しを行うなど、指導体制の工夫・改善を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
19	教務や担任外等と協力した担任の負担軽減の取組を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
20	(小学校のみ)教科担任制や交換授業などを導入していますか ①全学年で導入している ②高学年のみで導入 ③中・高学年で導入 ④導入していない ⑤中学校	
21	(中学校のみ)部活動補助員や外部指導者を導入し、教員の負担軽減を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない ⑤小学校	

(4) 保護者や地域の理解と連携の促進

No	質問及び回答選択肢	回答
22	学校運営協議会を設置し、教職員の働き方改革について話し合いを行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
23	勤務時間外の電話対応について留守番電話を導入し、活用していますか ①よく活用している ②どちらかといえば活用している ③どちらかといえば活用していない ④導入・活用していない	
24	地域の行事等への教職員の参加について、負担軽減のための精選や工夫を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
25	登校時の児童生徒の見守り活動等についてどのような体制で行っていますか ①地域等に任せている ②地域等と教職員と一緒にいる ③教職員のみが行っている ④行っていない	
26	学校応援団等による学習補助や環境整備などを実施し、教職員の負担軽減を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	
27	PTA活動への教職員の参加について、負担軽減のための精選や工夫を行っていますか ①よく行っている ②どちらかといえば行っている ③どちらかといえば行っていない ④行っていない	

3 効果のあった取組について

★1～27の中で特に効果のあった取組の番号を半角で記入してください(3つ以内)	

4 その他

その他、効果のあった取組等ありましたら、ご記入ください。

--